

誰でもできる 作曲ソフト2

取り扱い説明書

シリアルナンバーは大切に保管してください。

IRT0350

※ソフトインストール時や最新版アップデートの際に必要となります。

製品ご利用の前に必ずお読みください。
この取り扱い説明書は大切に保管してください。
※本書及びシリアルナンバーを再発行することはできません。



目次

動作環境・その他	2
インストール方法とアンインストール方法	3~6
起動方法	7~8
画面・各部の説明	
メイン画面	9~18
リズムパターン画面・ベースパターン画面	19
ベースパターンを編集画面	20
ドラムパターン画面	21
ドラムパターンを編集画面	22
アルペジオパターン画面・テンポ画面・メロディーの音色画面	23
コードの音色画面・ベースの音色画面	24
アルペジオの音色画面・メロディーの音量画面	25
コードの音量画面・ベースの音量画面・ドラムの音量画面	26
アルペジオの音量画面・メロディーのステレオ画面	27
コードのステレオ画面・ベースのステレオ画面	28
ドラムのステレオ画面・アルペジオのステレオ画面	29
自動コード画面	30
小節の挿入と削除画面	31
コードを作成画面	32
小節ごとの設定 メロディー画面・小節ごとの設定 メロディーページ画面	33
小節ごとの設定 コード画面・小節ごとの設定 コードページ画面	34
小節ごとの設定 ベース画面・小節ごとの設定 ベースページ画面	35
小節ごとの設定 ドラム画面・小節ごとの設定 ドラムページ画面	36
小節ごとの設定 アルペジオ画面・小節ごとの設定 アルペジオページ画面	37
音符入力画面	38~40
小節の選択画面・メロディーのコピー貼り付け画面	41
音符の長さを調整画面	42
Crystalchord画面	43~47
曲を作成・保存する	
1から曲を作成して、保存する	48~68
自動作曲機能をつかって、曲を作成、保存する	69~77
その他の機能・操作説明	
小節の削除	78
メロディーのコピーと貼り付け	79~80
自動コードを設定する	81~82
サンプルコード進行を使用して曲を作る	83~85
各小節ごとに音色を設定する	86~87
各小節ごとに音量を設定する	88
各小節ごとにベースパターンを設定する	89~90
各小節ごとにドラムパターンを設定する	91~92
曲全体のアルペジオパターンを設定する	93
各小節ごとにアルペジオパターンを設定する	94~95
ステレオの調節で曲全体の音の出る方向を設定する	96
ステレオの調節で各小節の音の出る方向を設定する	97
ドラムパターンを編集する	98~101
パワードラムを設定する	102
パワードラムをデータとして保存する	103~105
パワーベースを設定する	106
パワーベースをデータとして保存する	107~109
歌詞を音符に1つずつ設定する	110
クリスタルコードを作成する	111~116
楽器チャンネルを設定する	117~120
連続した小節の音色をまとめて変更する	121~122
コードを作成する	123~124
楽譜を画像として保存する	125
作成、保存した曲のデータを開く	126
三連符を作成する	127~129
よくあるお問い合わせ	130~133
お問い合わせ窓口	134~裏表紙

動作環境

- 対応OS : Windows XP / Vista / 7 / 8 ※Macには対応しておりません。
※日本語版32ビットOSのみの対応です。Windows 7 / 8 64bitでは、WOW64(32bit互換モード)で動作します。
各種ServerOS等には対応しておりません。
- サービスパック : 最新のサービスパック(SP)及び各種パッチが適用されている環境が前提です。
- CPU : Intel プロセッサ 1GHz以上 (または同等の互換プロセッサ)
- メモリ : 1GB以上 (Windows 8 64bitの場合、2GB以上)
- モニター : 1280×1024以上の解像度で色深度32bit True Color以上の表示をサポートしている環境
- CD-ROM : 倍速以上
- ハードディスク : 1GB以上の空き容量 (インストール時)
※これ以外にシステムドライブ上にデータ保存の為の空き容量が必要です。
- その他 : インターネット環境必須
Windows対応のオーディオ・インターフェースまたはサウンド・カード必須
- 対応ファイル形式 : 保存形式 : MIDI / WAVE 画像保存 : BMP

※本ソフトの最新情報の確認、アップデートを行う際にインターネット接続環境が必要です。
※上記OSが正常に機能し、OSの最低動作環境を満たしていることが前提です。
※Windows 8 では、デスクトップモードのみ対応です。
※管理者権限を持ったユーザーでお使いください。
※マイクロソフトのサポート期間が終了したOSでの動作は保証いたしません。

■ご注意

- ※誰でもできる作曲ソフトを除く激安革命シリーズや他のソフトとの互換性はありません。
- ※パソコン環境によっては、パソコンの動作に遅延等が見られる場合もありますのでご注意ください。
- ※歌詞の入力はひらがな文字のみとなります。カタカナ、漢字、アルファベット等は使用できません。
- ※MIDI / WAVE / BMP以外の形式で保存はできません。
- ※全てのファイルの入力、出力を保証するものではありません。
- ※メロディーを作成するには先にコードの作成が必須となります。メロディーだけを作成することはできません。
- ※WAVE形式で保存する際は歌詞・歌声付きで保存されます。
- ※楽譜の印刷機能はありません。
- ※1小節に複数のコードを設定することはできません。
- ※小節ごとに異なるコード数を入れることはできません。
- ※著作権を遵守してご利用ください。
- ※本ソフトをご利用して発生したトラブル等につきまして、弊社では一切の責任を負いかねます。
予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

機能について :

- ※複数のパソコン間でのデータ管理には対応しておりません。
- ※パソコン環境によっては、パソコンの動作に遅延等が見られる場合もありますのでご注意ください。
- ※OSの動作・設定等は弊社サポート対象外となりますので、メーカーサポートを受けることのできるパソコンでのご利用をおすすめいたします。
- ※パソコン本体や各種周辺機器等のお問い合わせ、サポート等は、各メーカーにお問い合わせください。
- ※本製品は、株式会社アイアールティーのオリジナル製品です。

その他

Microsoft、Windows、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
Macは米国および他国のApple Inc.の登録商標です。
Pentium はアメリカ合衆国および他国におけるIntel Corporationの登録商標または商標です。
その他記載されている各会社名、商品名等は各社の商標または登録商標です。
製品の仕様、パッケージ、画面内容等は予告無く変更することがありますので予めご了承ください。
本ソフトを著作者の許可無く賃貸業等の営利目的で使用する事を禁止します。改造、リバースエンジニアリングすることを禁止します。本ソフトを複数のパソコン上で使用するには台数分のソフトを必要とします。本ソフトを運用された結果の影響につきましては、当社は一切の責任を負いかねます。また、本ソフトに瑕疵が認められる場合以外の返品はお受け致しかねますので予めご了承ください。

インストール方法とアンインストール方法

インストール方法

お使いのパソコンに『誰でもできる作曲ソフト2』をインストールします。

本ソフトをインストールする前に、次の項目をご確認ください。

○ハードディスクの空き容量

インストール時には、ハードディスクの空き容量が1GB以上必要（左記以外にシステムドライブ上にデータ保存の為に空き容量が必要）です。

○管理者権限について

インストールするパソコンの管理者権限を持っているユーザーがインストールを行ってください。

○アプリケーションソフトの停止

インストールする前にウイルス対策ソフトなどの常駐ソフトや他のアプリケーションを停止してください。

※Windows OSやお使いのパソコンそのものが不安定な場合も、正常にインストールが行われない場合があります。

1 本ソフトのCD-ROMをCD-ROMドライブに入れてください。

CD-ROMが認識されましたら、自動でセットアップが始まります。右のような画面が表示されましたら、**次へ** ボタンをクリックしてください。

パソコンの設定によっては自動でセットアップが始まらない場合があります。その場合は、[コンピューター※]→[CDまたはDVDドライブ]→[SETUP.EXE]をダブルクリックしてください。また、あわせて6ページを参照してください。

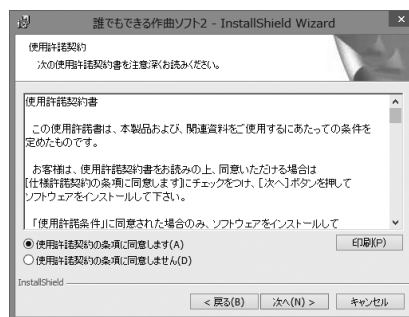
※Windows XPの場合は[マイコンピュータ]、

Windows Vistaの場合は[コンピュータ]



2 使用許諾契約の内容を確認してください。

使用許諾契約書の内容を確認し、**使用許諾契約の条項に同意します**をクリックして選択した後、**次へ** ボタンをクリックしてください。



3 インストール先のフォルダーを確認してください。

この画面からインストール先を選択できます。インストール先を変更しない場合は **次へ** ボタンをクリック、インストール先を変更する場合は **変更** ボタンをクリックしてください。

※通常は、インストール先を変更しなくても結構です。



インストール方法とアンインストール方法

4 設定の内容を確認してください。

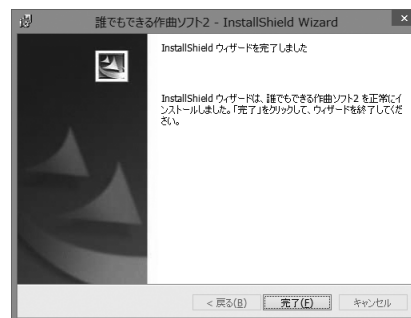
確認用の画面が表示されます。
よろしければ **インストール** ボタンをクリックしてください。

インストールが始まります。



5 インストール完了！

インストールが正常に終了すると右のような画面が表示されますので **完了** ボタンをクリックしてください。

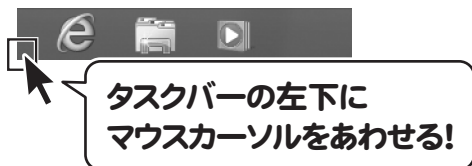


インストール方法とアンインストール方法

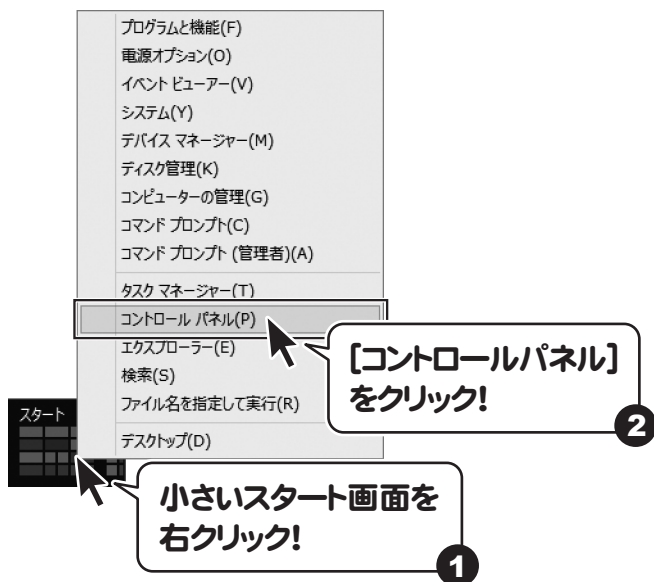
アンインストール方法

お使いのパソコンから『誰でもできる作曲ソフト2』をアンインストール（削除）します。

本ソフトを完全に終了して、
タスクバーの左下あたりにマウスカーソルを合わせます。



小さいスタート画面が表示されますので、右クリックをして、表示されるメニューから



「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」で
一覧表示されるプログラムの中から「誰でもできる作曲ソフト2」を選択して「アンインストール」を
クリックすると、確認メッセージが表示されますので、**はい** ボタンをクリックするとアンインストールが
実行されます。

※Windows OSが7の場合、 ボタン→「コントロールパネル」→
「プログラムのアンインストール」を選択してアンインストールを行ってください。

※Windows OSがVistaの場合、 ボタン→「コントロールパネル」→
「プログラムのアンインストールと変更」を選択してアンインストールを行ってください。

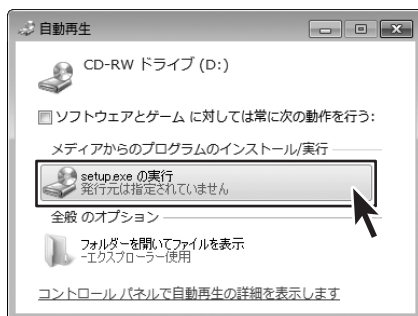
※Windows OSがXPの場合、「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」を
選択してアンインストールを行ってください。

インストール方法とアンインストール方法

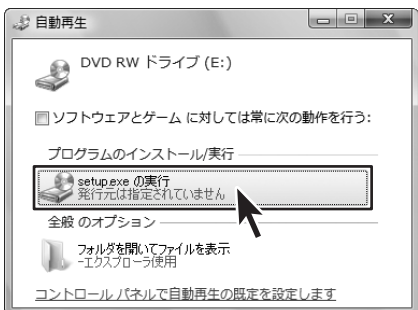
インストール中、またはアンインストール中に下のような画面が表示された場合
次の手順で作業を続けてください。



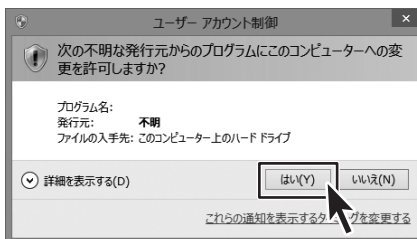
Windows 8で[自動再生]画面が表示された場合
[setup.exeの実行]をクリックしてください。



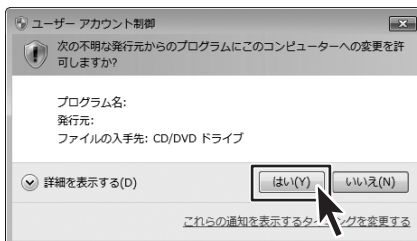
Windows 7で[自動再生]画面が表示された場合
[setup.exeの実行]をクリックしてください。



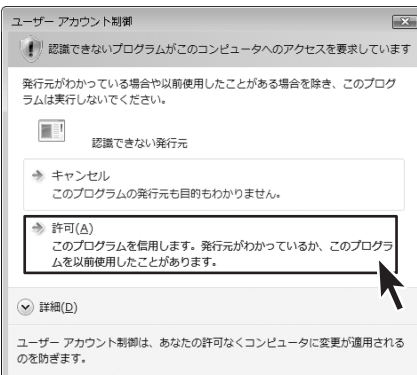
Windows Vistaで[自動再生]画面が
表示された場合
[setup.exeの実行]をクリックしてください。



Windows 8で[ユーザーアカウント制御]画面が
表示された場合
はい ボタンをクリックしてください。



Windows 7で[ユーザーアカウント制御]画面が
表示された場合
はい ボタンをクリックしてください。



Windows Vistaで[ユーザーアカウント制御]画面が
表示された場合
[許可]をクリックしてください。

起動方法

より良い環境でソフトを使用していただくために、**IRTホームページ** (<http://irtnet.jp/>) をご確認ください、アップデートを行うことをおすすめいたします。アップデートはソフト上で発生している問題等の修正や、より使いやすく改良が行われている場合があります。

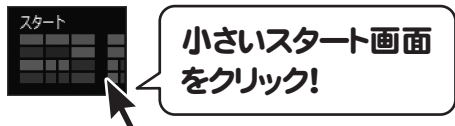
スタート画面 (Windows 8) からの起動



タスクバーの左下あたりにマウスカースルをあわせませう。



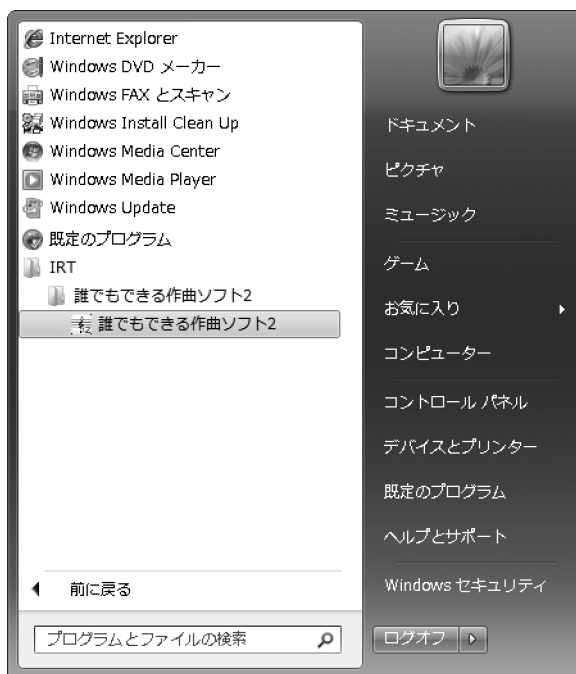
小さいスタート画面が表示されますので、クリックをします。



スタート画面が表示されますので、スタート画面上で右クリックして、 をクリックして「IRT」→「誰でもできる作曲ソフト2」をクリックしますと、本ソフトが起動します。

起動方法

スタートメニュー (Windows XP、Windows Vista、Windows 7) からの起動



デスクトップ左下の



ボタン (Windows Vistaの場合は  ボタン、Windows XPの場合は[スタート]ボタン) をクリックして

「すべてのプログラム」→「IRT」→「誰でもできる作曲ソフト2」→「誰でもできる作曲ソフト2」をクリックしますと、本ソフトが起動します。

デスクトップショートカットからの起動

本ソフトをインストールすると、デスクトップ上に「誰でもできる作曲ソフト2」のショートカットアイコンが作成されます。



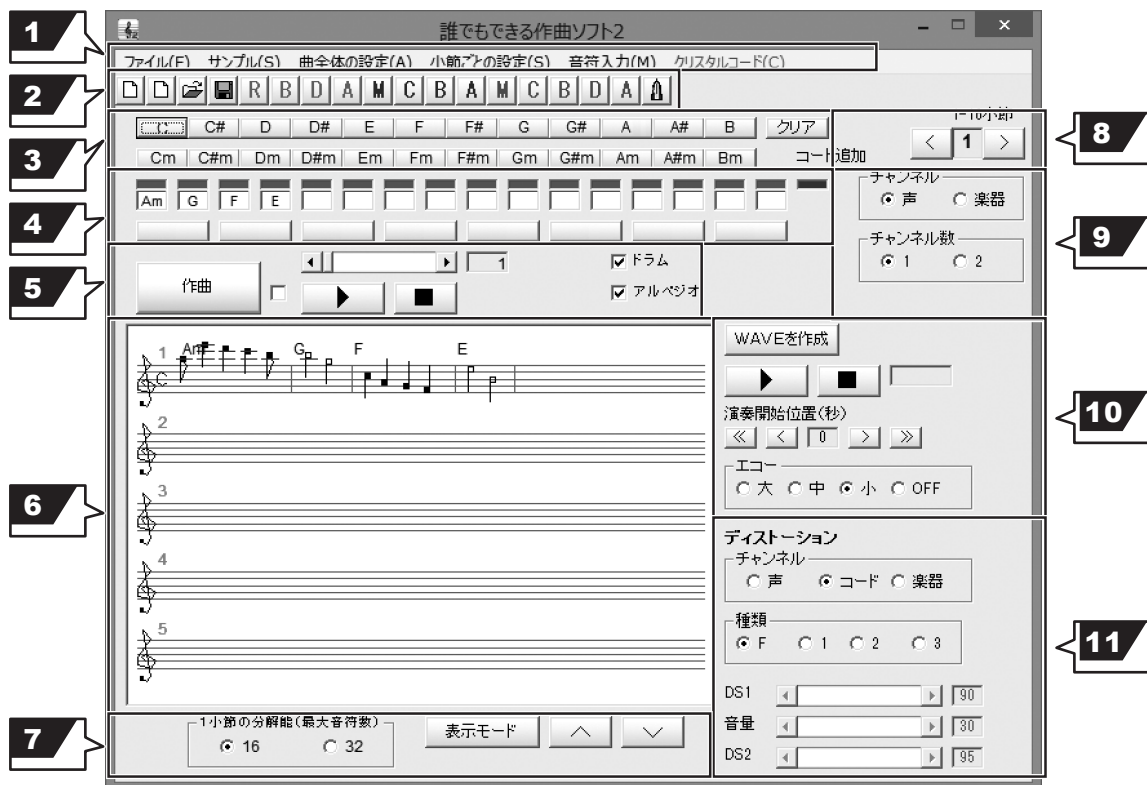
誰でもできる作曲ソフト2
デスクトップショートカットアイコン

誰でもできる作曲ソフト
2

画面・各部の説明

メイン画面

「誰でもできる作曲ソフト2」を起動(方法は7～8ページ参照)すると下のような画面が表示されます。



1 メニューバー (10ページ～)

2 ツールバー (13ページ～)

3 コードボタン (14ページ)

4 コード表示エリア (15ページ)

5 MIDIファイル編集設定 (16ページ)

6 楽譜表示エリア (16ページ)

7 楽譜表示設定 (17ページ)

8 ページ選択ボタン (17ページ)

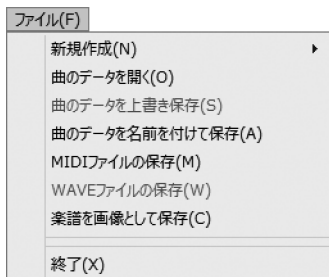
9 チャンネル設定 (17ページ)

10 WAVEファイル編集設定 (18ページ)

11 ディストーション設定 (18ページ)

画面・各部の説明

1 メニューバー



ファイルメニュー

新規作成

新しい曲を作るときにクリックします。

►にマウスをあわせて、3拍子の曲を作るか4拍子の曲を作るかを選択します。

曲のデータを開く

保存した曲のデータを開きます。

曲のデータを上書き保存

名前を付けて保存している曲のデータに上書き保存します。

曲のデータを名前を付けて保存

作曲した曲を名前を付けて保存します。(保存形式：dmu)

MIDIファイルの保存

MIDIファイルを保存します。(保存形式：mid)

WAVEファイルの保存

WAVEファイルを保存します。(保存形式：wav)

楽譜を画像として保存

作曲した曲を画像として保存します。(保存形式：BMP)

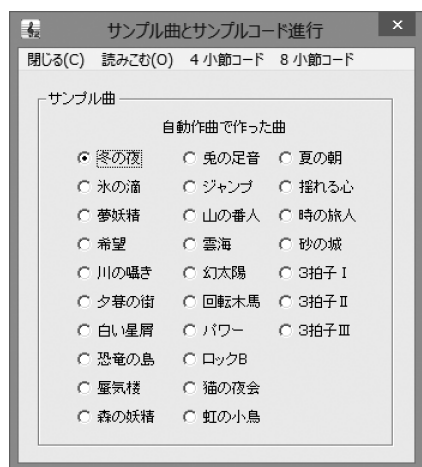
終了

ソフトを終了します。

サンプル(S)

サンプルメニュー

サンプルメニューをクリックすると、サンプル曲とサンプルコード進行画面が表示されます。



サンプル曲とサンプルコード進行画面

閉じる

画面を閉じます。

読み込む

サンプル曲をメイン画面に読み込みます。

4小節コード

4小節コードのサンプルコードをメイン画面に読み込みます。

8小節コード

8小節コードのサンプルコードをメイン画面に読み込みます。

サンプル曲

収録されたサンプル曲、27曲をリスト表示します。

1曲選択してメニューの[読み込む]をクリックすると、メイン画面に選択したサンプル曲が読み込まれます。

画面・各部の説明

曲全体の設定(A)

リズム(R)	
ベース(B)	
ドラム(D)	
アルペジオ(A)	
テンポ(T)	
音色(O)	▶
音量(V)	▶
ステレオ(S)	▶
調を変える(K)	▶
自動コード(A)	
小節の挿入と削除(C)	
コードを作成(E)	

曲全体の設定メニュー

リズム

リズムパターン画面を表示します。(詳細は19ページ)

ベース

ベースパターン画面を表示します。(詳細は19ページ)

ドラム

ドラムパターン画面を表示します。(詳細は21ページ)

アルペジオ

アルペジオパターン画面を表示します。(詳細は23ページ)

テンポ

テンポ画面を表示します。(詳細は23ページ)

音色

メロディー

メロディーの音色画面を表示します。(詳細は23ページ)

コード

コードの音色画面を表示します。(詳細は24ページ)

ベース

ベースの音色画面を表示します。(詳細は24ページ)

アルペジオ

アルペジオの音色画面を表示します。(詳細は25ページ)

音量

メロディー

メロディーの音量画面を表示します。(詳細は25ページ)

コード

コードの音量画面を表示します。(詳細は26ページ)

ベース

ベースの音量画面を表示します。(詳細は26ページ)

ドラム

ドラムの音量画面を表示します。(詳細は26ページ)

アルペジオ

アルペジオの音量画面を表示します。(詳細は27ページ)

ステレオ

メロディー

メロディーのステレオ画面を表示します。(詳細は27ページ)

コード

コードのステレオ画面を表示します。(詳細は28ページ)

ベース

ベースのステレオ画面を表示します。(詳細は28ページ)

ドラム

ドラムのステレオ画面を表示します。(詳細は29ページ)

アルペジオ

アルペジオのステレオ画面を表示します。(詳細は29ページ)

画面・各部の説明

曲全体の設定(A)

- リズム(R)
- ベース(B)
- ドラム(D)
- アルペジオ(A)
- テンポ(T)
- 音色(O) ▶
- 音量(V) ▶
- ステレオ(S) ▶
- 調を変える(K) ▶
- 自動コード(A)
- 小節の挿入と削除(C)
- コードを作成(E)

曲全体の設定メニュー

小節ごとの設定(S)

- メロディー(M)
- コード(H)
- ベース(B)
- ドラム(D)
- アルペジオ(A)
- 固定小節の解除(K) ▶

曲全体の設定メニュー

調を変える

半音上げる

表示された楽譜の音階を半音上げます。

半音下げる

表示された楽譜の音階を半音下げます。

1オクターブ下げる

表示された楽譜の音階を1オクターブ下げます。

自動コード

自動コード画面を表示します。(詳細は30ページ)

小節の挿入と削除

小節の挿入と削除画面を表示します。(詳細は31ページ)

コードを作成

コードを作成画面を表示します。(詳細は32ページ)

メロディー

小節ごとのメロディーの音色を設定します。

コード

小節ごとのコードの音色を設定します。

ベース

小節ごとのベースの音色を設定します。

ドラム

小節ごとのドラムの音色を設定します。

アルペジオ

小節ごとのアルペジオの音色を設定します。

固定小節の解除

固定小節を解除します。

※固定小節とは、曲全体の音量などを変えても変化しない小節です。

メロディーの音色・音量、リズムパターン、コードの音色、音量
ベースパターン、ベースの音色、音量、ドラムパターン、ドラムの音量
アルペジオパターン、アルペジオの音色、音量
から選択します。

画面・各部の説明

音符入力(M)

音符入力メニュー

音符入力画面を表示します。(詳細は38ページ)

クリスタルコード(C)

クリスタルコードメニュー

Crystalchord画面を表示します。(詳細は43ページ～)

2 ツールバー



3拍子の曲を作る

3拍子の曲を新規作成します。

[ファイル]→[新規作成]→[3拍子の曲を作る]と同じ動作をします。



開く

保存した曲のデータを開きます。

[ファイル]→[曲のデータを開く]と同じ動作をします。



リズムパターン

リズムパターン画面を表示します。

(詳細は19ページをご覧ください)

[曲全体の設定]→[リズム]と同じ動作をします。



ドラムパターン

ドラムパターン画面を表示します。

(詳細は21ページをご覧ください)

[曲全体の設定]→[ドラム]と同じ動作をします。



メロディーの音色

メロディーの音色画面を表示します。

(詳細は23ページをご覧ください)

[曲全体の設定]→[音色]→[メロディー]と同じ動作をします。



4拍子の曲を作る

4拍子の曲を新規作成します。

[ファイル]→[新規作成]→[4拍子の曲を作る]と同じ動作をします。



上書き保存

名前を付けて保存している曲のデータに

現在開いているファイルを上書き保存します。

[ファイル]→[曲のデータを名前を付けて保存]と同じ動作をします。



ベースパターン

ベースパターン画面を表示します。

(詳細は19ページをご覧ください)

[曲全体の設定]→[ベース]と同じ動作をします。



アルペジオパターン

アルペジオパターン画面を表示します。

(詳細は23ページをご覧ください)

[曲全体の設定]→[アルペジオ]と同じ動作をします。



コードの音色

コードの音色画面を表示します。

(詳細は24ページをご覧ください)

[曲全体の設定]→[音色]→[コード]と同じ動作をします。

画面・各部の説明



ベースの音色

ベースの音色画面を表示します。
(詳細は24ページをご覧ください)
[曲全体の設定]→[音色]→[ベース]と同じ動作をします。



メロディーの音量

メロディーの音量画面を表示します。
(詳細は25ページをご覧ください)
[曲全体の設定]→[音量]→[メロディー]と同じ動作をします。



ベースの音量

ベースの音量画面を表示します。
(詳細は26ページをご覧ください)
[曲全体の設定]→[音量]→[ベース]と同じ動作をします。



アルペジオの音量

アルペジオの音量画面を表示します。
(詳細は27ページをご覧ください)
[曲全体の設定]→[音量]→[アルペジオ]と同じ動作をします。



アルペジオの音色

アルペジオの音色画面を表示します。
(詳細は25ページをご覧ください)
[曲全体の設定]→[音色]→[アルペジオ]と同じ動作をします。



コードの音量

コードの音量画面を表示します。
(詳細は26ページをご覧ください)
[曲全体の設定]→[音量]→[コード]と同じ動作をします。



ドラムの音量

ドラムの音量画面を表示します。
(詳細は26ページをご覧ください)
[曲全体の設定]→[音量]→[ドラム]と同じ動作をします。



テンポ

テンポ画面を表示します。
(詳細は23ページをご覧ください)
[曲全体の設定]→[テンポ]と同じ動作をします。

3 コードボタン

C	C#	D	D#	E	F	F#	G	G#	A	A#	B	クリア
Cm	C#m	Dm	D#m	Em	Fm	F#m	Gm	G#m	Am	A#m	Bm	

C C# D D# E F F# G G# A A# B

Cm C#m Dm D#m Em Fm F#m Gm G#m Am A#m Bm

24種類のコードがボタン表示されています。

各コードボタンをクリックすると、「小節表示エリア」のコードに1小節から順に設定されます。

小節ごとに使われるコードを設定します。

クリア

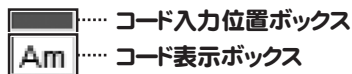
設定したコードを設定されている後ろのコードから順にクリアしていきます。

画面・各部の説明

4 コード表示エリア



コード入力位置表示ボックス (インジケータ)



コード入力位置ボックス

茶色に表示されていて、クリックすると緑色に変わります。

緑色表示の状態では、コード一覧のコードボタンをクリックすると、小節にコードが入力されます。

コード表示ボックス

コード一覧からクリックで設定されたコードが表示されます。

1番左に1小節目のコードが表示され、順に右方向に小節が増えていきます。

ここを左クリックすると、表示されているコードの色が青-赤-黒と変化します。

色が変わるとコードが変化します。

Cコードを例にすると、青はC7、赤はCmaj7、黒はCを表します。

ここを右クリックすると、この小節に対応した音符入力画面が表示されます。

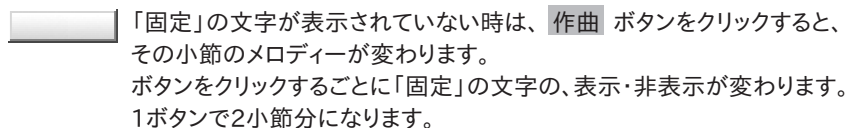
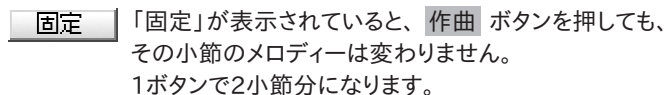
コード追加チェック欄

クリックすると緑色に表示されます。緑色に表示されている時は、

コードボタンをクリックする度に、曲の終了位置にコードが追加表示され、曲が長くなっていきます。

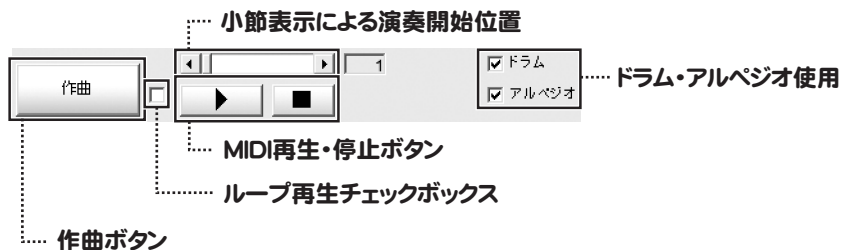
固定設定ボタン

メロディーが変更されないように固定するボタンです。(自動作曲機能が適用されません)



画面・各部の説明

5 MIDIファイル編集設定



作曲

作曲ボタン

クリックすると、MIDIファイルの曲が更新されます。
各種設定を変更したら、曲を聴く前にボタンをクリックします。

小節表示による演奏開始位置

MIDIファイルの曲の何小節目から演奏を開始するかを表示します。

MIDI再生・停止ボタン



クリックすると、MIDIファイルで作られた曲を再生します。



クリックすると、再生中のMIDIファイルで作られた曲を停止します。

ボタンの右隣の余白には、演奏中に小節数と演奏時間(秒)が表示されます。

小節は分数で表示されます。

分子は現在演奏されている小節、分母は全小節数です。

ループ再生チェックボックス

チェックを入れると、MIDIファイルの曲を繰り返し再生します。

ドラムとアルペジオ使用

ドラムとアルペジオを使用する場合は、クリックしてチェックマークを入れます。

6 楽譜表示エリア

設定したコード・音符が楽譜で表示されます。曲が編集される度に表示が変わります。

画面・各部の説明

7 楽譜表示設定



1小節の分解能(最大音符数)

○をクリックして、1小節に分解可能な最大音符数を選択します。

1小節に2つのコードを付ける曲の場合、「32」を選択します。

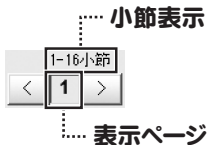
表示モードボタン

楽譜の高音部だけを表示するか、低音部も一緒に表示するかを選択します。

へ 楽譜表示切替ボタン

長い楽譜を作成した場合に画面外の楽譜を表示します。

8 ページ選択ボタン



小節表示

現在表示されているページの小節番号を表示します。

<

現在表示されているページのひとつ前のページを表示します。

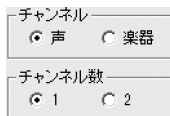
表示ページ

現在表示されている小節番号を表示します。

>

現在表示されているページのひとつ後のページを表示します。

9 チャンネル設定



チャンネル

○をクリックして、編集するチャンネルを選択します。

チャンネル数

メロディーに「声」だけを使う場合はチャンネル数を「1」にします。

メロディーに「歌声」と「楽器」を使う場合はチャンネル数を「2」にします。

メロディーに歌声と楽器を使う曲でも、一時的に楽器を使わない場合はチャンネル数を「1」にします。

画面・各部の説明

10 WAVEファイル編集設定



WAVEファイル作成中の状態表示ボックス

WAVEを作成ボタン

MIDIファイルと歌詞データ、設定した音色などを元にWAVEファイルを作成します。

WAVEファイル再生ボタン

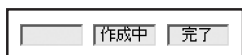
WAVEファイルで作られた曲を再生します。

WAVEファイル停止ボタン

再生したWAVEファイルで作られた曲を停止します。

WAVEファイル作成中の状態表示ボックス

「WAVEを作成」ボタンをクリックすると、「作成中」から「完了」と表示が変わります。



演奏開始位置(秒)

WAVEファイルの演奏開始位置を秒単位で設定します。

エコー

歌声にエコーをかけます。

エコーのレベルは、大中小の3段階とOFFで設定します。

11 ディストーション設定



ディストーション

歪みを発生させて、音色を加工する効果のことを指します。

チャンネル

○をクリックして、選択した項目(歌声・コード・楽器)にそれぞれディストーションをかけます。

種類

○をクリックして、使用するディストーションを選択します。

ディストーション1を使う場合は、「種類」は「1」にチェックを入れます。

ディストーション2を使う場合は、「種類」は「2」にチェックを入れます。

ディストーション1と2を同時に使う場合は、「種類」は「3」にチェックを入れます。

ディストーションを使わない場合は、「種類」は「F」にチェックを入れます。

DS1

つまみをドラッグ、もしくは◀▶をクリックして、ディストーション1の振幅を調節します。

音量

つまみをドラッグ、もしくは◀▶をクリックして、ディストーション1の音量を調節します。

※ディストーション2には、音量の設定はありません。

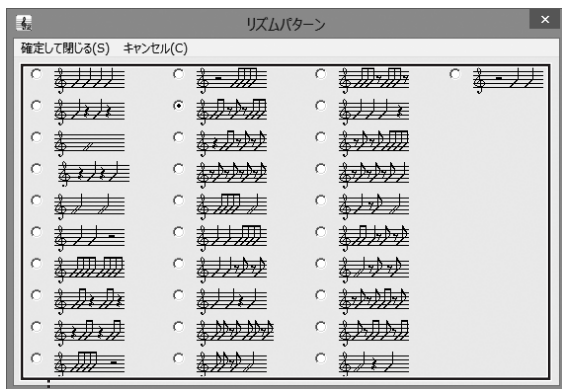
DS2

つまみをドラッグ、もしくは◀▶をクリックして、ディストーション2の振幅を調節します。

画面・各部の説明

リズムパターン画面

[曲全体の設定]メニュー→[リズム]を選択すると、下記のような画面が表示されます。



..... リズムパターン一覧

確定して閉じる

選択したリズムパターンに確定して画面を閉じます。

キャンセル

リズムパターンの変更をキャンセルします。

リズムパターン一覧

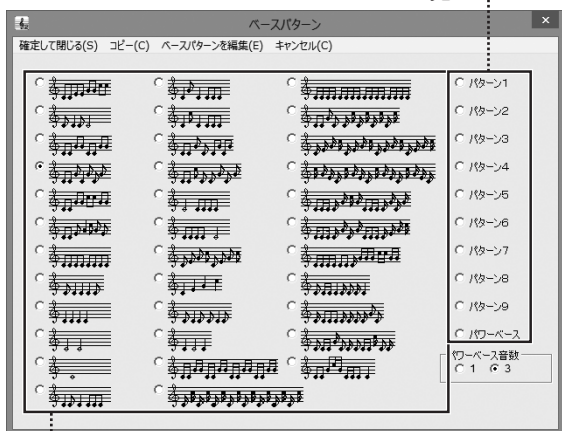
31種類のリズムパターンが表示されています。

使用するリズムパターンの○をクリックして、選択します。

ベースパターン画面

[曲全体の設定]メニュー→[ベース]を選択すると、下記のような画面が表示されます。

オリジナルベースパターン一覧



..... ベースパターン一覧

確定して閉じる

選択したベースパターンを確定して画面を閉じます。

コピー

ベースパターン一覧から選択したパターンをパターン1～9の中の選択したパターンにコピーします。

ベースパターンを編集

ベースパターンを編集画面を表示します。

(詳細は20ページをご覧ください)

キャンセル

ベースパターンの変更をキャンセルして画面を閉じます。

ベースパターン一覧

ベースパターンのサンプルの一覧が表示されます。

○をクリックして選択、[確定して閉じる]を選択すると、作曲中の曲にベースパターンが適用されます。

オリジナルベースパターン一覧

[ベースパターンを編集]で作成したベースパターンを選択します。

パワーベース音数

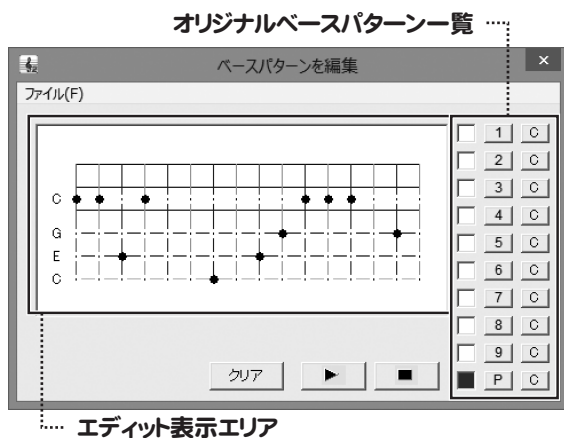
○をクリックして、パワーベースの音数を

[1]・[3]から選択します。

画面・各部の説明

ベースパターンを編集画面

[曲全体の設定]メニュー→[ベース]→[ベースパターンを編集]を選択すると、下記のような画面が表示されます。



ファイルメニュー

ファイル(F)

- ベースパターンを読み込む(O)
- 上書き保存(S)
- 名前を付けて保存(A)
- 閉じる(C)

ベースパターンの読み込み

作成したベースパターンデータを読み込みます。

上書き保存

現在表示しているベースパターンデータに上書き保存します。

名前を付けて保存

現在表示しているベースパターンデータを名前を付けて保存します。

閉じる

ベースパターンを編集画面を閉じます。

エディット表示エリア

クリックして、ベースパターンを編集します。

オリジナルベースパターン一覧

オリジナルで作成したベースパターンを1～9まで登録して、選択できます。

1 ~ **9**

クリックして、ベースパターンを編集するパターンを選択します。

C

ベースパターンをコピーします。

P

パワーベースのパターンを表示します。

クリア

表示しているベースパターンをクリアします。

▶

表示しているベースパターンを再生します。

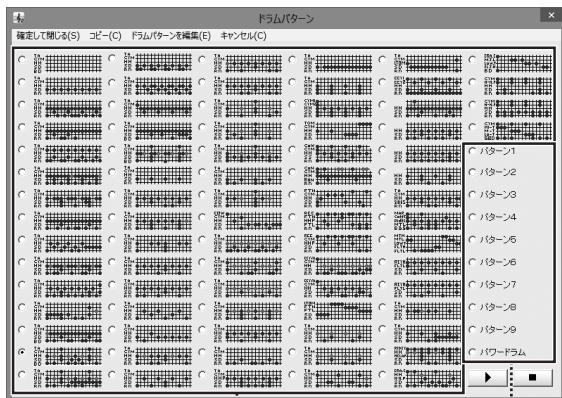
■

再生しているベースパターンを停止します。

画面・各部の説明

ドラムパターン画面

[曲全体の設定]メニュー→[ドラム]を選択すると、下記のような画面が表示されます。



..... ドラムパターン一覧

オリジナルドラムパターン一覧

確定して閉じる

選択したドラムパターンを確定して画面を閉じます。

コピー

ドラムパターン一覧から選択したパターンをパターン1～9の中の選択したパターンにコピーします。

ドラムパターンを編集

ドラムパターンを編集画面を表示します。
(詳細は22ページをご覧ください)

キャンセル

ドラムパターンの変更をキャンセルして画面を閉じます。

ドラムパターン一覧

ドラムパターンのサンプルの一覧が表示されます。
○をクリックして選択、[確定して閉じる]を選択すると、作曲中の曲にドラムパターンが適用されます。

オリジナルドラムパターン一覧

[ドラムパターンを編集]で作成したドラムパターンを選択します。



選択しているドラムパターンを再生します。



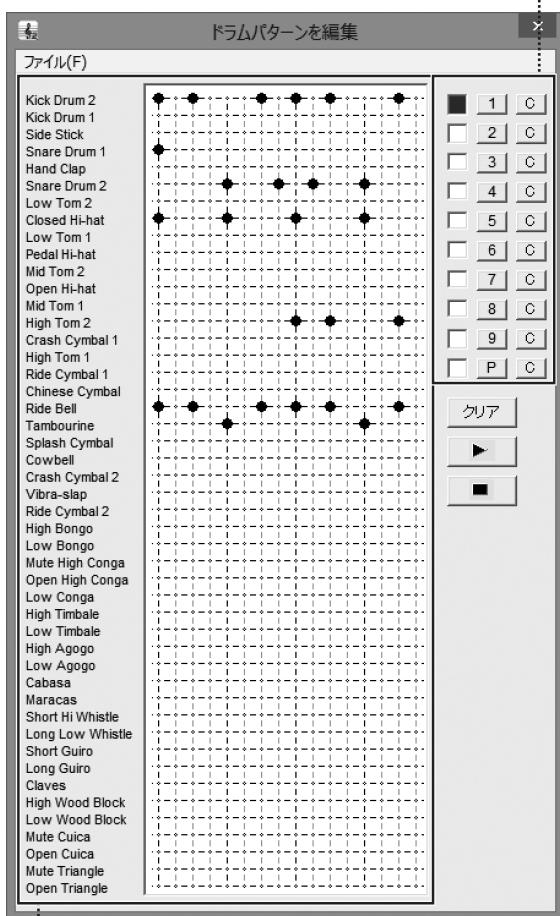
再生中のドラムパターンを停止します。

画面・各部の説明

ドラムパターンを編集画面

[曲全体の設定]メニュー→[ドラム]→[ドラムパターンを編集]を選択すると、下記のような画面が表示されます。

オリジナルドラムパターン一覧



エディット表示エリア

ファイルメニュー

ファイル(F)

ドラムパターンを読み込む(O)

上書き保存(S)

名前を付けて保存(A)

閉じる(C)

ドラムパターンの読み込み

作成したドラムパターンデータを読み込みます。

上書き保存

現在表示しているドラムパターンデータに上書き保存します。

名前を付けて保存

現在表示しているドラムパターンデータを名前を付けて保存します。

閉じる

ドラムパターンを編集画面を閉じます。

エディット表示エリア

クリックして、ドラムパターンを編集します。

オリジナルベースパターン一覧

オリジナルで作成したドラムパターンを1～9まで登録して、選択できます。

1 ~ 9

クリックして、ドラムパターンを編集するパターンを選択します。

C

ドラムパターンをコピーします。

P

パワードラムのパターンを表示します。

クリア

表示しているドラムパターンをクリアします。

▶

表示しているドラムパターンを再生します。

■

再生しているドラムパターンを停止します。

画面・各部の説明

アルペジオパターン画面

[曲全体の設定]メニュー→[アルペジオ]を選択すると、下記のような画面が表示されます。



アルペジオパターン一覧

確定して閉じる

選択したアルペジオパターンに確定して画面を閉じます。

キャンセル

アルペジオパターンの変更をキャンセルします。

アルペジオパターン一覧

8種類のアルペジオパターンが表示されています。

使用するアルペジオパターンの○をクリックして、選択します。

テンポ画面

[曲全体の設定]メニュー→[テンポ]を選択すると、下記のような画面が表示されます。



テンポ表示欄

テンポ調節バー

閉じる

調節したテンポ数を確定して、画面を閉じます。

テンポ調節バー

つまみをドラッグで左右に移動して、テンポ速度を調節します。

テンポ表示欄

テンポ調節バーで調節したテンポ表示欄が表示されます。右の入力欄でテンポの小数点を設定できます。

メロディーの音色画面

[曲全体の設定]メニュー→[音色]→[メロディー]を選択すると、下記のような画面が表示されます。



メロディーの音色一覧

確定して閉じる

選択したメロディーの音色を確定して画面を閉じます。

キャンセル

メロディーの音色の変更をキャンセルして画面を閉じます。



メロディーの音色を再生します。

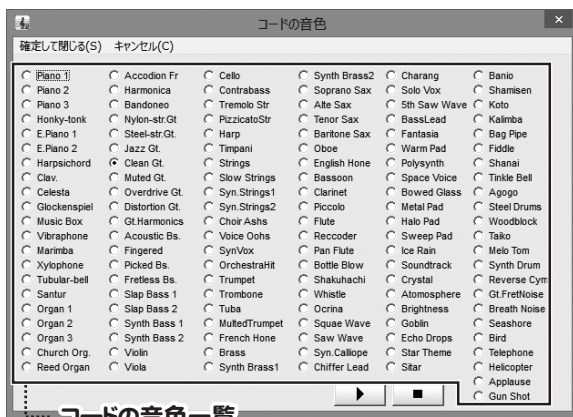


再生したメロディーの音色を停止します。

画面・各部の説明

コードの音色画面

[曲全体の設定]メニュー→[音色]→[コード]を選択すると、下記のような画面が表示されます。



確定して閉じる

選択したコードの音色を確定して画面を閉じます。

キャンセル

コードの音色の変更をキャンセルして画面を閉じます。



コードの音色を再生します。



再生したコードの音色を停止します。

ベースの音色画面

[曲全体の設定]メニュー→[音色]→[ベース]を選択すると、下記のような画面が表示されます。



確定して閉じる

選択したベースの音色を確定して画面を閉じます。

キャンセル

ベースの音色の変更をキャンセルして画面を閉じます。



ベースの音色を再生します。



再生したベースの音色を停止します。

画面・各部の説明

アルペジオの音色画面

[曲全体の設定]メニュー→[音色]→[アルペジオ]を選択すると、下記のような画面が表示されます。



確定して閉じる

選択したアルペジオの音色を確定して画面を閉じます。

キャンセル

アルペジオの音色の変更をキャンセルして画面を閉じます。



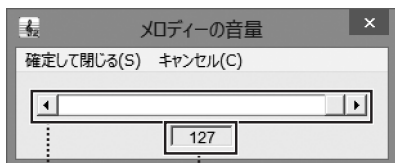
アルペジオの音色を再生します。



再生したアルペジオの音色を停止します。

メロディーの音量画面

[曲全体の設定]メニュー→[音量]→[メロディー]を選択すると、下記のような画面が表示されます。



確定して閉じる

調節したメロディーの音量を確定して、画面を閉じます。

キャンセル

メロディーの音量の変更をキャンセルして、画面を閉じます。

音量調節バー

つまみをドラッグで左右に移動させて、音量調節をします。

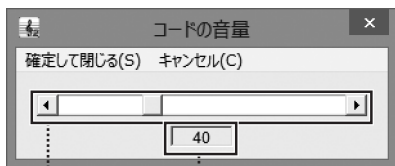
音量数

音量調節バーで調節した音量数が表示されます。

画面・各部の説明

コードの音量画面

[曲全体の設定]メニュー→[音量]→[コード]を選択すると、下記のような画面が表示されます。



音量数
音量調節バー

確定して閉じる

調節したコードの音量を確定して、画面を閉じます。

キャンセル

コードの音量の変更をキャンセルして、画面を閉じます。

音量調節バー

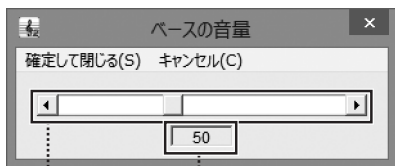
つまみをドラッグで左右に移動させて、音量調節をします。

音量数

音量調節バーで調節した音量数が表示されます。

ベースの音量画面

[曲全体の設定]メニュー→[音量]→[ベース]を選択すると、下記のような画面が表示されます。



音量数
音量調節バー

確定して閉じる

調節したベースの音量を確定して、画面を閉じます。

キャンセル

ベースの音量の変更をキャンセルして、画面を閉じます。

音量調節バー

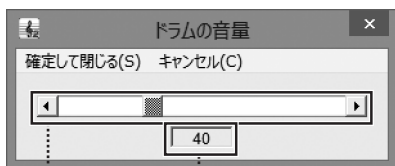
つまみをドラッグで左右に移動させて、音量調節をします。

音量数

音量調節バーで調節した音量数が表示されます。

ドラムの音量画面

[曲全体の設定]メニュー→[音量]→[ドラム]を選択すると、下記のような画面が表示されます。



音量数
音量調節バー

確定して閉じる

調節したドラムの音量を確定して、画面を閉じます。

キャンセル

ドラムの音量の変更をキャンセルして、画面を閉じます。

音量調節バー

つまみをドラッグで左右に移動させて、音量調節をします。

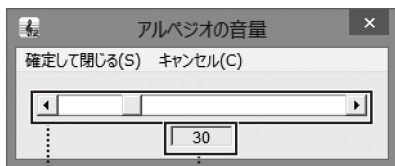
音量数

音量調節バーで調節した音量数が表示されます。

画面・各部の説明

アルペジオの音量画面

[曲全体の設定]メニュー→[音量]→[アルペジオ]を選択すると、下記のような画面が表示されます。



音量調節バー

音量数

確定して閉じる

調節したアルペジオの音量を確定して、画面を閉じます。

キャンセル

アルペジオの音量の変更をキャンセルして、画面を閉じます。

音量調節バー

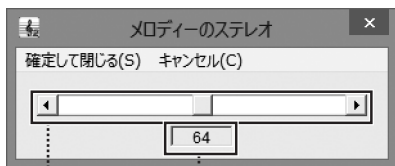
つまみをドラッグで左右に移動させて、音量調節をします。

音量数

音量調節バーで調節した音量数が表示されます。

メロディーのステレオ画面

[曲全体の設定]メニュー→[ステレオ]→[メロディー]を選択すると、下記のような画面が表示されます。



ステレオバランス調節バー

ステレオバランス数

確定して閉じる

調節したメロディーのステレオバランスを確定して、画面を閉じます。

キャンセル

メロディーのステレオの変更をキャンセルして、画面を閉じます。

ステレオバランス調節バー

つまみをドラッグで左右に移動させて、ステレオバランスの調節をします。

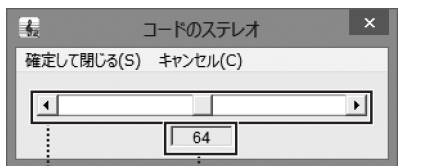
ステレオバランス数

ステレオバランス調節バーで調節した音量数が表示されます。

画面・各部の説明

コードのステレオ画面

[曲全体の設定]メニュー→[ステレオ]→[コード]を選択すると、下記のような画面が表示されます。



..... ステレオバランス数
..... ステレオバランス調節バー

確定して閉じる

調節したコードのステレオバランスを確定して、画面を閉じます。

キャンセル

コードのステレオの変更をキャンセルして、画面を閉じます。

ステレオバランス調節バー

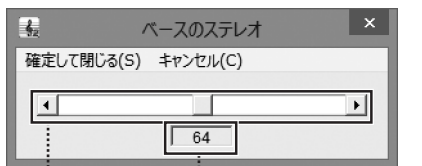
つまみをドラッグで左右に移動させて、ステレオバランスの調節をします。

ステレオバランス数

ステレオバランス調節バーで調節した音量数が表示されます。

ベースのステレオ画面

[曲全体の設定]メニュー→[ステレオ]→[ベース]を選択すると、下記のような画面が表示されます。



..... ステレオバランス数
..... ステレオバランス調節バー

確定して閉じる

調節したベースのステレオバランスを確定して、画面を閉じます。

キャンセル

ベースのステレオの変更をキャンセルして、画面を閉じます。

ステレオバランス調節バー

つまみをドラッグで左右に移動させて、ステレオバランスの調節をします。

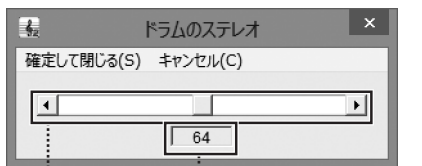
ステレオバランス数

ステレオバランス調節バーで調節した音量数が表示されます。

画面・各部の説明

ドラムのステレオ画面

[曲全体の設定]メニュー→[ステレオ]→[ドラム]を選択すると、下記のような画面が表示されます。



..... ステレオバランス数

..... ステレオバランス調節バー

確定して閉じる

調節したドラムのステレオバランスを確定して、画面を閉じます。

キャンセル

ドラムのステレオの変更をキャンセルして、画面を閉じます。

ステレオバランス調節バー

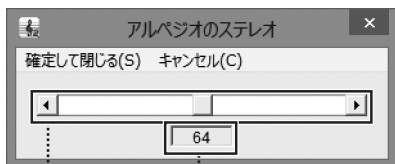
つまみをドラッグで左右に移動させて、ステレオバランスの調節をします。

ステレオバランス数

ステレオバランス調節バーで調節した音量数が表示されます。

アルペジオのステレオ画面

[曲全体の設定]メニュー→[ステレオ]→[アルペジオ]を選択すると、下記のような画面が表示されます。



..... ステレオバランス数

..... ステレオバランス調節バー

確定して閉じる

調節したアルペジオのステレオバランスを確定して、画面を閉じます。

キャンセル

アルペジオのステレオの変更をキャンセルして、画面を閉じます。

ステレオバランス調節バー

つまみをドラッグで左右に移動させて、ステレオバランスの調節をします。

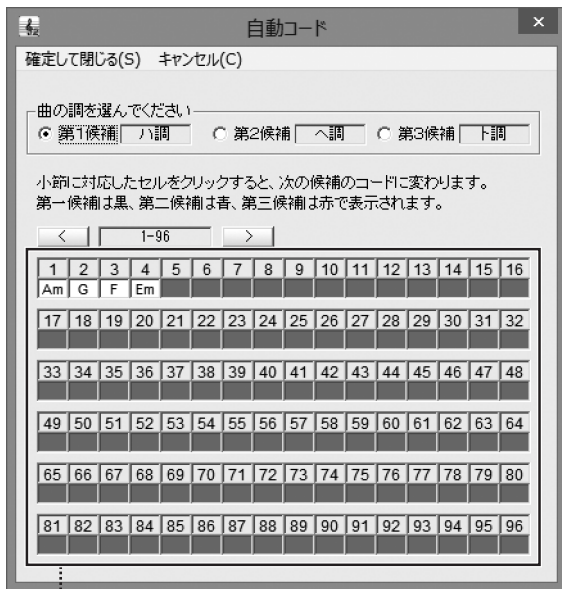
ステレオバランス数

ステレオバランス調節バーで調節した音量数が表示されます。

画面・各部の説明

自動コード画面

[曲全体の設定]メニュー→[自動コード]を選択すると、下記のような画面が表示されます。



小節のコード表示

確定して閉じる

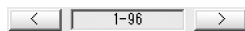
選択した自動コードを確定して画面を閉じます。

キャンセル

自動コードの変更をキャンセルして画面を閉じます。

曲の調を選んでください

第一候補「ハ調」・第二候補「ヘ調」・第三候補「ト調」から、チェックを入れて和音を選択します。



<・> で、ページの変更をします。

3ページ(1～254コード 254小節分)まで表示されます。

小節のコード表示

小節番号



コード

小節番号

小節番号を表示します。

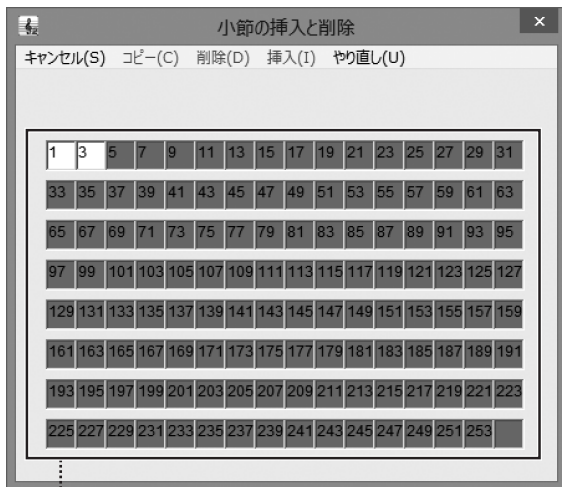
コード

曲の調を選ぶと、コード表示が変わります。

画面・各部の説明

小節の挿入と削除画面

[曲全体の設定]メニュー→[小節の挿入と削除]を選択すると、下記のような画面が表示されます。



小節表示エリア

キャンセル

小節の挿入と削除をキャンセルして画面を閉じます。

コピー

選択した小節をコピーします。

削除

選択した小節を削除します。

挿入

コピーした小節を選択した小節に挿入します。

やり直し

小節の選択を解除します。

小節表示エリア

小節が表示されます。

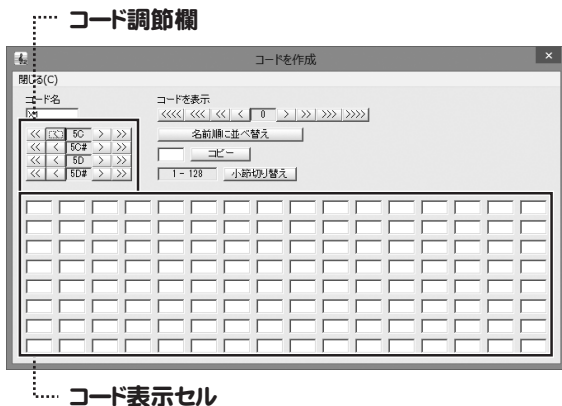
小節をクリックして、ピンク色になると、選択された状態で、小節のコピーや削除ができます。

黄色になると、その小節にコピーした小節を挿入することができます。

画面・各部の説明

コードを作成画面

[曲全体の設定]メニュー→[コードを作成]を選択すると、下記のような画面が表示されます。



閉じる

コードを作成画面を閉じます。

コード名

任意のコード名を入力して、新規コードの名前を設定します。

※コード名は、半角文字で8文字以内にしてください。

コード調節欄

新規コードのコード内容を調節します。

※コードの構成音は、必ず4音で作らなくてはなりません。

※4オクターブの「C」(ド)から6オクターブの「B」(シ)までを使います。

コードを表示

新規コードには名前が格納するため番号が割り振れます。0～999までのコード番号が表示されます。

名前順に並べ替えボタン

コード名をアルファベット順に並べ替えます。

コピーボタン

作成したコードを別の登録番号(入力欄に入力した登録番号)にコピーします。

小節切り替えボタン

画面下の128個のセルを1～128小節に対応させるか、129～254小節に対応させるかを選択します。

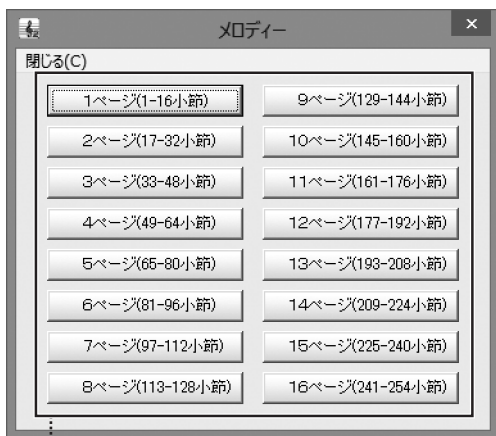
コード表示セル

作成したコードを楽譜に読み込みます。入力欄に作成したコード名を入力して、楽譜に反映させます。

画面・各部の説明

小節ごとの設定 メロディー画面

[小節ごとの設定]メニュー→[メロディー]を選択すると、下記のような画面が表示されます。



ページボタン

閉じる

メロディー画面を閉じます。

ページボタン

クリックするとページごとの小節設定画面が表示されます。

小節ごとの設定 メロディーページ画面

[小節ごとの設定]メニュー→[メロディー]→[ページボタン]をクリックすると、下記のような画面が表示されます。



閉じる

メロディーページ画面を閉じます。

固定

チェックを入れると、曲全体の設定などで設定が変更されないように、設定を固定します。

小節

クリックすると、メロディーの音色画面を表示します。
※23ページを参照してください。

音色

[小節]で設定した音色が表示されます。

音量

調節バーをドラッグで調節して音量を設定します。

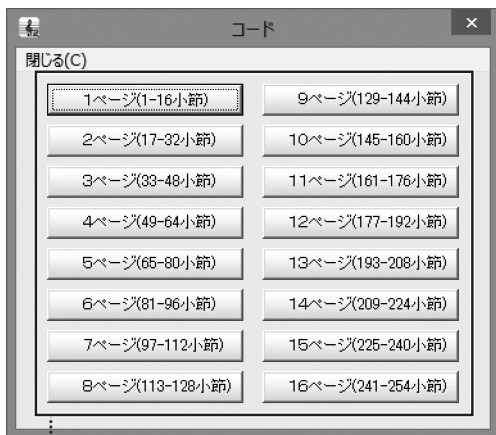
ステレオ

調節バーをドラッグで調節してステレオバランスを調節します。

画面・各部の説明

小節ごとの設定 コード画面

[小節ごとの設定]メニュー→[コード]を選択すると、下記のような画面が表示されます。



ページボタン

閉じる

コード画面を閉じます。

ページボタン

クリックするとページごとの小節設定画面が表示されます。

小節ごとの設定 コードページ画面

[小節ごとの設定]メニュー→[コード]→[ページボタン]をクリックすると、下記のような画面が表示されます。



閉じる

コードページ画面を閉じます。

コードパターン設定欄

固定

チェックを入れると、曲全体の設定などでコードの設定が変更されないように設定を固定します。

小節

クリックすると、リズムパターン画面を表示します。

(詳細は19ページをご覧ください)

音量・ステレオ設定欄

固定

チェックを入れると、曲全体の設定などでコードの設定が変更されないように設定を固定します。

小節

クリックすると、コードの音色画面を表示します。

(詳細は24ページをご覧ください)

音色

[小節]で設定した音色が表示されます。

音量

調節バーをドラッグで調節して音量を設定します。

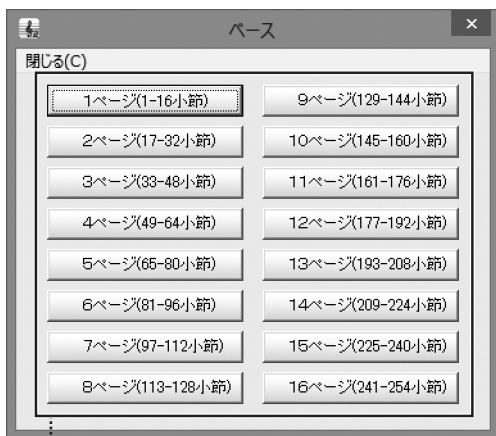
ステレオ

調節バーをドラッグで調節してステレオバランスを調節します。

画面・各部の説明

小節ごとの設定 ベース画面

[小節ごとの設定]メニュー→[ベース]を選択すると、下記のような画面が表示されます。



ページボタン

閉じる

ベース画面を閉じます。

ページボタン

クリックするとページごとの小節設定画面が表示されます。

小節ごとの設定 ベースページ画面

[小節ごとの設定]メニュー→[ベース]→[ページボタン]をクリックすると、下記のような画面が表示されます。



閉じる

ベースページ画面を閉じます。

コードパターン設定欄

固定

チェックを入れると、曲全体の設定などでコードの設定が変更されないように設定を固定します。

小節

クリックすると、ベースパターン画面を表示します。

(詳細は19ページをご覧ください)

音量・ステレオ設定欄

固定

チェックを入れると、曲全体の設定などでコードの設定が変更されないように設定を固定します。

小節

クリックすると、ベースの音色画面を表示します。

(詳細は24ページをご覧ください)

音色

[小節]で設定した音色が表示されます。

音量

調節バーをドラッグで調節して音量を設定します。

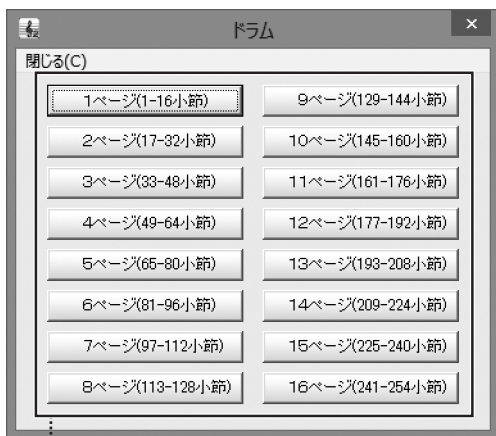
ステレオ

調節バーをドラッグで調節してステレオバランスを調節します。

画面・各部の説明

小節ごとの設定 ドラム画面

[小節ごとの設定]メニュー→[ドラム]を選択すると、下記のような画面が表示されます。



ページボタン

閉じる

ドラム画面を閉じます。

ページボタン

クリックするとページごとの小節設定画面が表示されます。

小節ごとの設定 ドラムページ画面

[小節ごとの設定]メニュー→[ドラム]→[ページボタン]をクリックすると、下記のような画面が表示されます。



閉じる

ドラムページ画面を閉じます。

コードパターン設定欄

固定

チェックを入れると、曲全体の設定などでコードの設定が変更されないように設定を固定します。

小節

クリックすると、ドラムパターン画面を表示します。

(詳細は21ページをご覧ください)

音量・ステレオ設定欄

固定

チェックを入れると、曲全体の設定などでコードの設定が変更されないように設定を固定します。

小節

小節番号が表示されます。

音量

調節バーをドラッグで調節して音量を設定します。

ステレオ

調節バーをドラッグで調節してステレオバランスを調節します。

画面・各部の説明

小節ごとの設定 アルペジオ画面

[小節ごとの設定]メニュー→[アルペジオ]を選択すると、下記のような画面が表示されます。



ページボタン

閉じる

アルペジオ画面を閉じます。

ページボタン

クリックするとページごとの小節設定画面が表示されます。

小節ごとの設定 アルペジオページ画面

[小節ごとの設定]メニュー→[アルペジオ]→[ページボタン]をクリックすると、下記のような画面が表示されます。



閉じる

アルペジオページ画面を閉じます。

コードパターン設定欄

固定

チェックを入れると、曲全体の設定などでコードの設定が変更されないように設定を固定します。

小節

クリックすると、アルペジオパターン画面を表示します。

(詳細は23ページをご覧ください)

音量・ステレオ設定欄

固定

チェックを入れると、曲全体の設定などでコードの設定が変更されないように設定を固定します。

小節

クリックすると、アルペジオの音色画面を表示します。

(詳細は25ページをご覧ください)

音色

[小節]で設定した音色が表示されます。

音量

調節バーをドラッグで調節して音量を設定します。

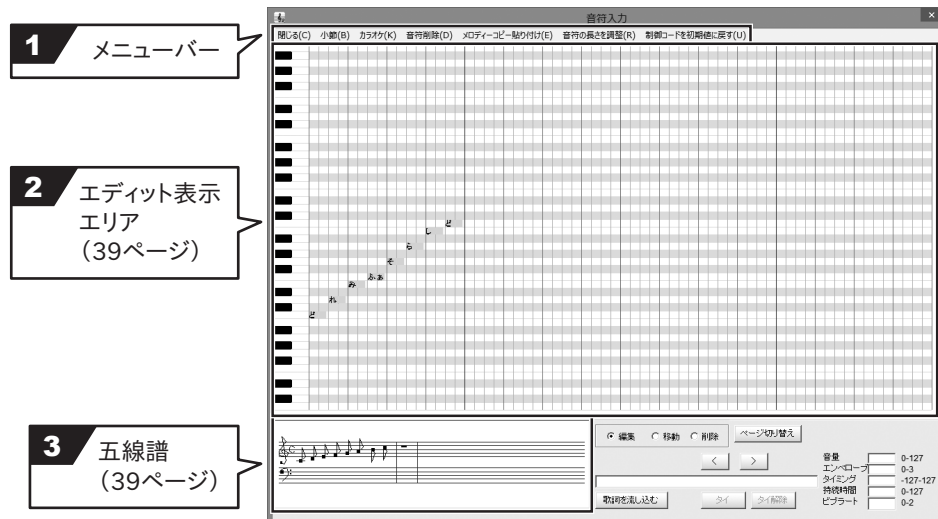
ステレオ

調節バーをドラッグで調節してステレオバランスを調節します。

画面・各部の説明

音符入力画面

[音符入力]メニューを選択すると、下記のような画面が表示されます。



1 メニューバー

閉じる(C) 小節(B) カラオケ(K) 音符削除(D) メロディーコピー貼り付け(E) 音符の長さを調整(R) 制御コードを初期値に戻す(U)

閉じる

音符入力画面を閉じます。

小節

小節の選択画面を開きます。編集する小節を選択します。

カラオケ

「実行」を選択すると、曲全体の音符を削除します。※実行すると、元の状態に戻すことはできません。

音符削除

「実行」を選択すると、エディット表示エリアに表示されている音符を削除します。

※実行すると、元の状態に戻すことはできません。

メロディーコピー貼り付け

メロディーのコピー貼り付け画面を表示します。(詳細は41ページをご覧ください)

小節間でメロディーのコピーができます。

音符の長さを調整

音符の長さを調整画面を表示します。(詳細は42ページをご覧ください)

音符の長さを調整して3連符などを作ります。

制御コードを初期値に戻す

声の調整コードを初期値に戻します。

画面・各部の説明

2 エディット表示エリア

音符、歌詞の入力、表示をします。

緑色の枠が歌詞、黄色の枠が音符を表します。

画面の縦が4オクターブから7オクターブを表し、横が音符の長さを表します。
最小の目盛りは16分音符です。

音符を入力するには、エディットモードを「編集」にして、マウスの左ボタンを押しながら左から右にドラッグします。
音符を消す場合は、右から左にドラッグします。
または、エディットモードを削除にして、マウスでクリックするだけでも消すことができます。
エディット表示エリア上で、音符をドラッグすると音符が移動します。
「Ctrl」キーを押しながらドラッグするとコピーになります。

3 五線譜

エディット表示エリアの音符を五線譜で表示します。
更新するためには、音符の無い部分をダブルクリックします。



○をクリックして、エディットモードを選択します。
「編集」を選択していると、エディット表示エリアに音符や歌詞を入力します。
「移動」を選択していると、エディット表示エリアの音符の移動とコピーをします。
「削除」を選択していると、エディット表示エリアの音符をセル単位で削除します(クリックで削除)。
音符の右端を左にドラッグしても削除できます。

ページ切り替え

エディット表示エリアで、左右のどちらのページを編集するか選択します。



編集する小節を選択します。
ボタンを押すと前のページ、次のページを表示します。



エディット表示エリアの音符に歌詞をつけます。
入力欄に歌詞を入力して、**歌詞を流し込む** ボタンを押します。
入力欄には、全てひらがな、空白なしで書き込みます。

画面・各部の説明



偶数小節の最後の音符と奇数小節の最初の音符をつなげます。

タイ ボタンは、画面中央の小節の最後の音符と最初の音符をつなげて1つの音符にします。

(中央の赤線の左右の音符)

タイ解除 ボタンは、画面中央でつながった音符を2つの音符に分けます。

音符の編集は、[タイ解除]の状態で行ってください。

音量		0-127
エンベロープ		0-3
タイミング		-127-127
持続時間		0-127
ビブラート		0-2

各音符には、声を調整するための制御コードがついています。

エディット表示エリア上で、音符を右クリックすると、その音符の制御コードが画面の右下に表示されます。

数値を更新する場合は、入力欄に数値を直接入力して書き換えます。

音量

音1つ1つに設定する音量です。

セット可能な数値は、0～127です。

初期値は、127にセットされています。

エンベロープ

音量の変化を決めます。

セット可能な数値は、0～3です。

タイミング

音の出だしのタイミングを設定します。セット可能な数値は、-127～127です。

持続時間

音の持続時間を設定します。セット可能な数値は、0～127です。

初期値は、100にセットされています。

ビブラート

母音にビブラートをかけます。セット可能な数値は、0～2です。

画面・各部の説明

小節の選択画面

音符入力画面の[小節]メニューを選択すると、下記のような画面が表示されます。



選択小節表示

小節選択バー

閉じる

小節の選択画面を閉じます。

小節選択バー

小節の選択画面を閉じます。

選択小節表示

現在選択している小節を表示します。

メロディーのコピー貼り付け画面

音符入力画面の[メロディーコピー貼り付け]メニューを選択すると、下記のような画面が表示されます。



小節セル

閉じる

メロディーのコピー貼り付け画面を閉じます。

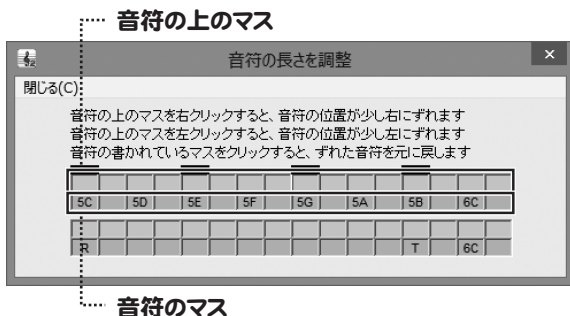
小節セル

小節を一覧でセル表示します。

画面・各部の説明

音符の長さを調整画面

音符入力画面の[音符の長さを調節]メニューを選択すると、下記のような画面が表示されます。



閉じる

音符の長さを調整画面を閉じます。

音符の上のマス

音符の音の再生位置を右、もしくは左にずらすことができます。

このマスをクリックすると、音が少し速く再生されます。

右クリックすると、音が少し遅く再生されます。

音符のマス

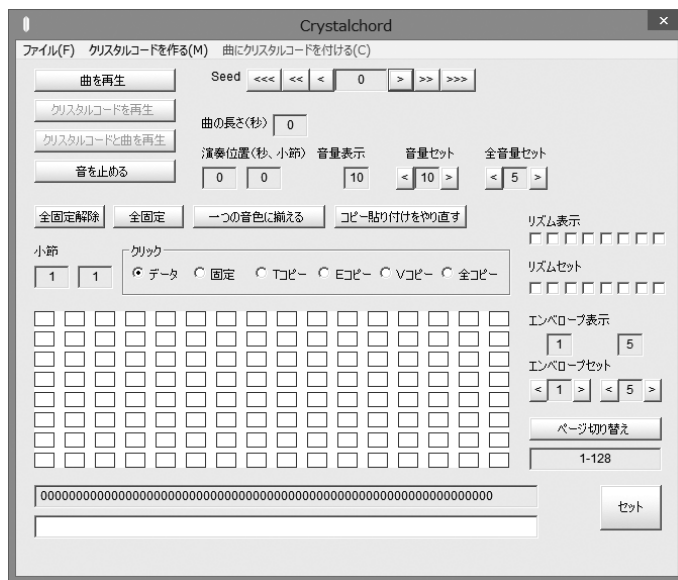
音符入力画面で入力された音符が表示されます。

このマスをクリックすると、ずらした音符を元に戻すことができます。

画面・各部の説明

Crystalchord画面

WAVEファイルを作成してから、メイン画面の[クリスタルコード]メニューを選択すると、下記のような画面が表示されます。



ファイル(F) クリスタルコードを作る(M) 曲にクリスタルコードを付ける(C)

ファイル(F)

クリスタルコードを開く(O)
名前を付けてクリスタルコードを保存(R)
名前を付けてWAVEを保存(A)
WAVEを上書き保存(S)
終了(X)

クリスタルコードを開く

以前に作成、保存したクリスタルコードを開きます。

名前を付けてクリスタルコードを保存

作成したクリスタルコードを名前を付けて保存します。

名前を付けてWAVEを保存

クリスタルコードを付けた曲をWAVE形式で
名前を付けて保存します。

WAVEを上書き保存

クリスタルコードを付けたWAVE形式の曲に
上書き保存します。

終了

Crystalchord画面を閉じます。

クリスタルコードを作る(M)

クリスタルコードを作る

クリスタルコードを作成します。

画面・各部の説明

曲にクリスタルコードを付ける(C)

曲を再生

曲を再生

メイン画面で作った曲(WAVEファイル)を再生します。

クリスタルコードと曲を再生

クリスタルコードと曲を再生

[曲にクリスタルコードを付ける]メニューで作成した曲を再生します。

Seed <<< << < 0 > >> >>>

Seed

音色を作るための乱数の系列を選択します。
数値を変更しながら、気に入った音色を見つけます。

演奏位置(秒、小節)

8 4

演奏位置(秒、小節)

再生中の「秒」と「小節」が表示されます。

音量セット

< 10 >

音量セット

各小節ごとに音量を設定します。
[小節のアイコン表示]内で選択した小節の音量を設定します。

全固定解除

全固定解除

全小節に対して、確定している[音色]を無効にします。
全固定解除 ボタンをクリックして、
[クリスタルコードを作る]メニューをクリックすると、
全小節に新しい音色が作成されます。
Seedを変えて[クリスタルコードを作る]メニューをクリックすると、違う音色になります。

曲にクリスタルコードを付ける

メイン画面で作った曲にクリスタルコードをつけて再生します。

クリスタルコードを再生

クリスタルコードを再生

[クリスタルコードを作る]でメニューで作成したクリスタルコード列を再生します。

音を止める

音を止める

再生中の曲を止めます。

曲の長さ(秒) 8

曲の長さ(秒)

曲の長さ(秒)を表示します。

音量表示

10

音量表示

[小節のアイコン表示]内でマウスカーソルの位置にある小節の音量が表示されます。

全音量セット

< 5 >

全音量セット

メイン画面で作成した曲にクリスタルコードをつける時の音量のバランスの調節をします。
[曲にクリスタルコードを付ける]をクリックする前にセットすると、音量が音に反映します。

全固定

全固定

全小節の音色が固定されます。
全固定 ボタンをクリックして、
[クリスタルコードを作る]メニューをクリックしても音色は変わりません。

画面・各部の説明

一つの音色に揃える

一つの音色に揃える

ある1つの小節の音色を全小節にコピーします。
まず[クリック]内の[Tコピー]を選択し、
[小節のアイコン表示]内でコピーする小節のアイコン
をクリックし、**一つの音色に揃える** ボタンを
クリックします。

小節

115 1

小節

左のボックスには、[小節のアイコン表示]内で
マウスカーソルの位置の小節番号が表示されます。
右のボックスには、[小節のアイコン表示]内でクリックした
アイコンの位置の小節番号が表示されます。

クリック

☒ データ ☐ 固定 ☐ Tコピー ☐ Eコピー ☐ Vコピー ☐ 全コピー

クリック

[小節のアイコン表示]内で小節のアイコンをクリックした場合の操作を選択します。

データ

選択して、[小節のアイコン表示]内で各小節のアイコンをクリックすると、
その小節のコード、リズム、エンベロープ、音色が変更可能になります。

固定

選択して、[小節のアイコン表示]内で小節のアイコンをクリックする度に、音色の「固定」と「非固定」が切り替わります。
小節の右側の色が、青の場合「固定」、赤の場合「非固定」です。



赤の場合「非固定」



青の場合「固定」

Tコピー

選択して、小節間で音色のコピー貼り付けができます。
音色のコピー貼り付けは、まず[小節のアイコン表示]内でコピー元の小節のアイコンをクリックし、
次に[小節のアイコン表示]内でコピー先の小節のアイコンを右クリックします。
音色は、[小節のアイコン表示]内の小節アイコンの左側の色で表されています。
コピー元を間違えて選択した場合は、**コピー貼り付けをやり直す** ボタンで最初からやり直すことができます。

Eコピー

選択して、小節間でエンベロープのコピー貼り付けができます。
エンベロープのコピー貼り付けは、まず[小節のアイコン表示]内でコピー元の小節のアイコンをクリックし、
次に[小節のアイコン表示]内でコピー先の小節のアイコンを右クリックします。
エンベロープは、[小節のアイコン表示]内の小節アイコンの縦線と横線で表されています。
縦線はリズムに対応し、横線はエンベロープに対応しています。
コピー元を間違えて選択した場合は、**コピー貼り付けをやり直す** ボタンで最初からやり直すことができます。

コピー貼り付けをやり直す

コピー貼り付けをやり直す

音色とエンベロープのコピー貼り付け作業を
最初からやり直します。

画面・各部の説明

Vコピー

選択して、小節間で音量のコピー貼り付けができます。

音量のコピー貼り付けは、まず[小節のアイコン表示]内でコピー元の小節のアイコンをクリックし、次に[小節のアイコン表示]内でコピー先の小節のアイコンを右クリックします。

音量は、[小節のアイコン表示]内の小節アイコンの一番下の横線で表されています。

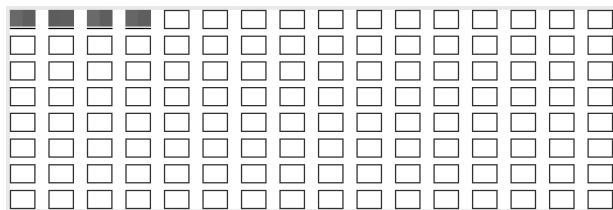
コピー元を間違えて選択した場合は、**コピー貼り付けをやり直す** ボタンで最初からやり直すことができます。

全コピー

選択して、小節間で全パラメータのコピー貼り付けができます。

全コピー貼り付けは、まず[小節のアイコン表示]内でコピー元の小節のアイコンをクリックし、次に[小節のアイコン表示]内でコピー先の小節のアイコンを右クリックします。

コピー元を間違えて選択した場合は、**コピー貼り付けをやり直す** ボタンで最初からやり直すことができます。



小節のアイコン表示

全小節の状態を色で表します。

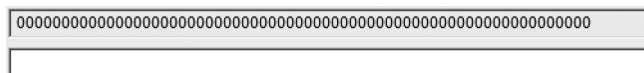
1つのアイコンが1小節に対応しています。

1つのアイコンの左側は音色を表し、右側は音色が固定されているか、いないかを表します。

1つのアイコンの縦線はリズムを表し、横線はエンベロープを表します。



リズムをつけた小節のアイコン



音色表示、音色セット

音色は、64桁の数字で表示されます。

気に入った音色は、コピーして、テキストファイルとして保存し、別の曲に貼り付けることができます。

上のボックスは、[小節のアイコン表示]内でマウスカーソルの位置にある小節の音色の数字を表示します。

下のボックスは、各小節に音色をセットする際に使用します。

リズム表示



リズム表示

[小節のアイコン表示]内でマウスカーソルの位置にある小節のリズムを表示します。

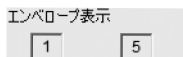
画面・各部の説明



リズムセット

[小節のアイコン表示]内で選択した小節にリズムを設定する場合に使用します。

リズムは、4拍子の場合は1小節を8等分に、3拍子の場合は1小節を6等分にわけることで作ります。



エンベロープ表示

音の波形の前半と後半の形を決めます。

数字が小さいとエンベロープが短く、数字が大きくとエンベロープが長くなります。

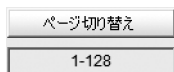
※エンベロープを使うためには、リズムにチェックが入っていなければなりません。

[小節のアイコン表示]内でマウスカーソルの位置にある小節のエンベロープを表示します。



エンベロープセット

[小節のアイコン表示]内で選択した小節にエンベロープを設定する場合に使用します。



ページ切り替え

メイン画面では最大で254小節の曲を作成できますが、
クリスタルコードの画面は128小節ずつのアイコンが表示されます。

ページ切り替え ボタンを使って、全254小節を2分割して表示します。



セット

設定した内容を確認して、「クリスタルコードを作る」メニューでクリスタルコードを作成します。

曲を作成・保存する

1から曲を作成して、保存する

「誰でもできる作曲ソフト2」を使って、1から曲を作成します。

ここでは、下記の操作で「ふるさと」の楽譜の前半4小節の曲を作る説明をします。

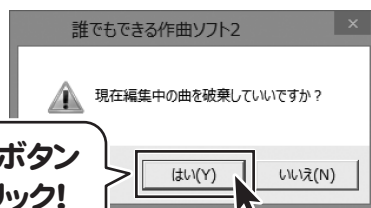
♩=80



1 新規の画面を表示します

「誰でもできる作曲ソフト2」起動時、曲のサンプルデータが入力、表示されていますので、
[ファイル]メニューから[新規作成]をクリックして、表示されるメニューから作成する曲の拍子を選択します。
(ここでは、[3拍子の曲を作る]を選択します)
確認画面が表示されますので、内容を確認して、

はい ボタンをクリックすると、新規の画面が表示されます。

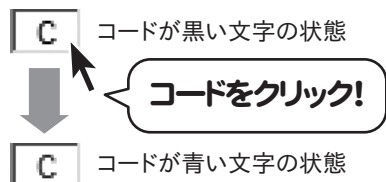


曲を作成・保存する

2 コードを設定します

まずは、曲のコードを設定します。
「F」→「C」→「F」→「F」の順番でコードボタンをクリックします。
そうしますと、コード表示ボックスに選択したコードが表示されます。
「C」は「C7」コードを設定するので、黒い文字で「C」と表示されているところをクリックして、青い文字の「C」にします。

※コード表示ボックスには、
黒い文字でF、青い文字でC、黒い文字でF、
黒い文字でFと表示されます。
違う色の文字で表示されている場合は、
文字の部分をクリックして、文字の色を
変更してください。



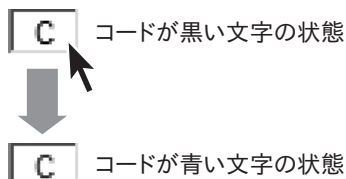
コードの設定が終了しましたら、
作曲 ボタンをクリックして、コードの設定を
確定します。



①「F」→「C」→「F」→「F」の順番で
コードボタンをクリックします



②コードボタンを押した順番に左のボックス
(1小節目)から設定されます



③「C」コードをクリックして、「C7」コードに
設定します



④黒い文字でF、青い文字でC、
黒い文字でF、黒い文字でFと表示されます



曲を作成・保存する

コードの設定を確認すると、
楽譜表示エリアに設定したコードと
自動で作曲したサンプルの音符が表示されます。

※コードは偶数個で設定してください。
奇数個で設定すると、作曲 ボタンを
クリックした後に、最後に設定したコードが
自動で削除されます。

※コードを設定した小節の長さが曲の長さ
になります。



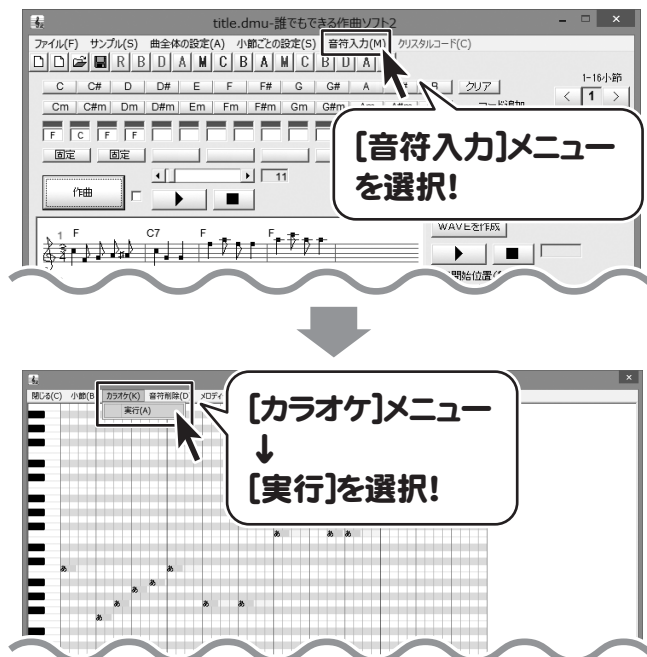
3 音符入力画面で音符を入力します

まずは、音符入力画面を表示します。

[音符入力]メニューをクリックします。

音符入力画面が表示されましたら、**2** で
楽譜に入力された自動で作曲したサンプルの
音符をすべて削除します。

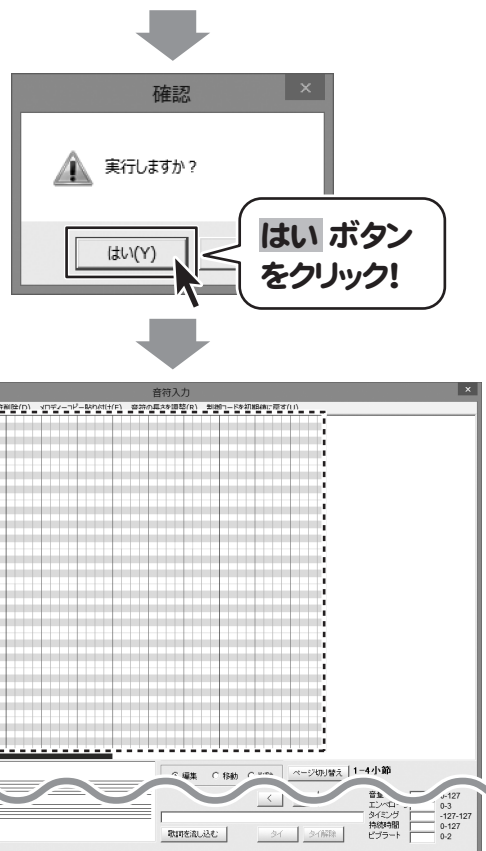
[カラオケ]メニューから[実行]をクリックします。



曲を作成・保存する

確認画面が表示されますので、内容を確認して
はい ボタンをクリックします。

入力されていた音符がすべて削除されます。



入力されていた音符が
すべて削除されました

曲を作成・保存する

音符を入力する前に、以下の2点を確認します。

- 1～2小節の音符が編集できるように、
1～2小節が選択されているか
1～2小節の欄の下に青いバーが表示されて
いれば、選択されています。
- エディットモードが【編集】になっているか

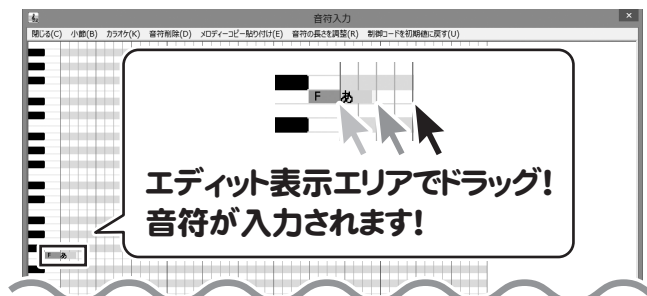
次に、1～2小節の音符を入力します。

「ふるさと」の最初の音符
4分音符の「ファ」を5オクターブの位置に
入力します。

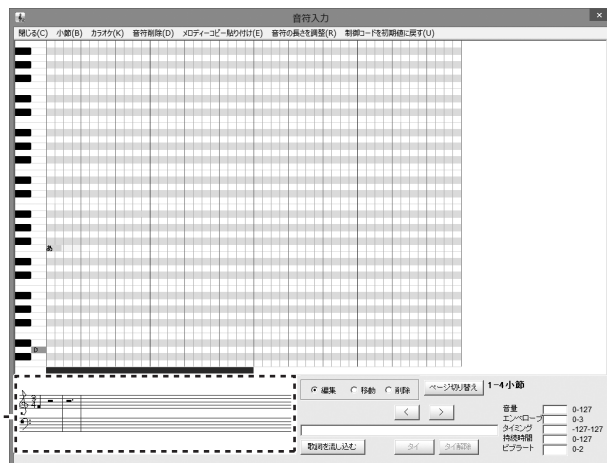
マウスをクリックしたまま
左から右にドラッグして、音符を入力します。

五線譜に入力した音符が表示されます。

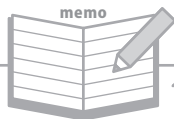
※入力した音符が表示されていない場合、
五線譜の内容を更新するためには、
エディット表示エリアの音符が入力されて
いない部分をダブルクリックします。



音符が入力されました



曲を作成・保存する



音符と休符

音符入力画面に下記のように入力すると、五線譜に下記の音符、休符が入力されます。



音符を入力した状態



何も入力していない状態




16分音符




16分休符




8分音符




8分休符




8分音符+符点




8分休符+符点




4分音符




4分休符




4分音符+符点




4分休符+符点




2分音符




2分休符




2分音符+符点




2分休符+符点




全音符

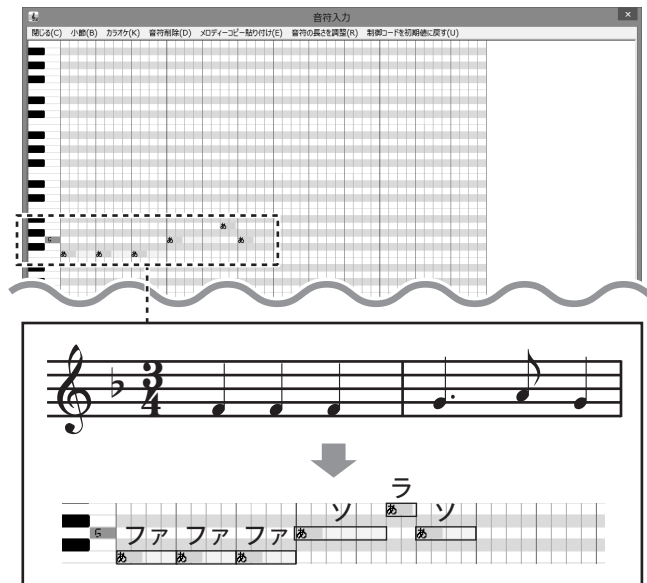



全休符

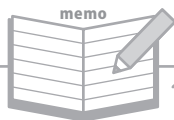
曲を作成・保存する

「ふるさと」の最初の音符

4分音符の「ファ」を5オクターブの位置に
入力する方法(52ページ)を参考に
1～2小節の音符を順番に入力していきます。



真ん中の赤いラインまで、上記のように音符を入力します。



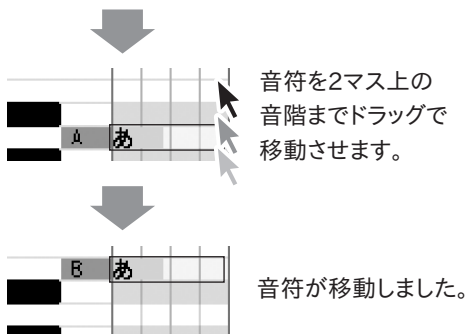
音符と休符

音符の入力位置を変更する場合は、エディットモードを[移動]にして、音符をドラッグすると音符が移動します。また、[削除]にして、音符をクリックすると音符が削除されます。

音符を[移動]する

☐ 編集 ☒ 移動 ☐ 削除

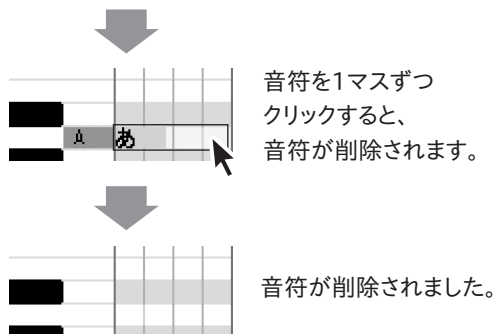
エディットモードを[移動]を選択!



音符を[削除]する

☐ 編集 ☐ 移動 ☒ 削除

エディットモードを[削除]を選択!

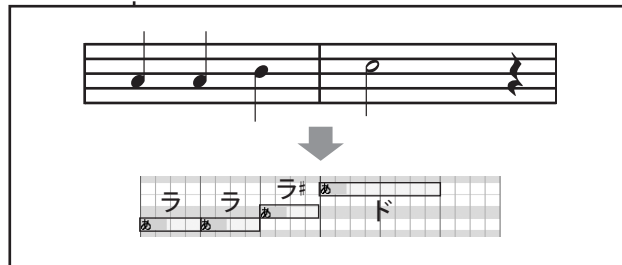
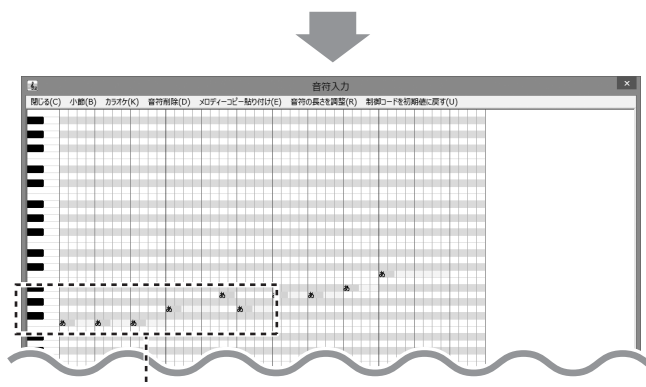
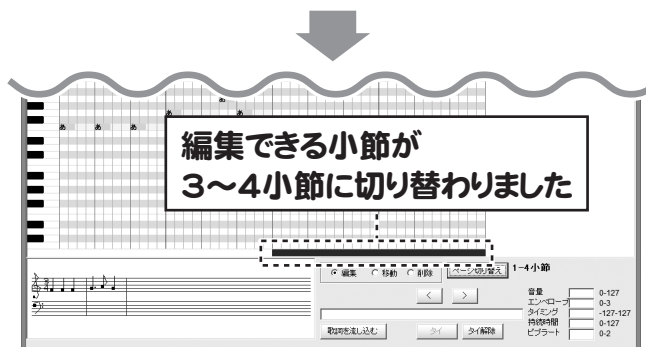
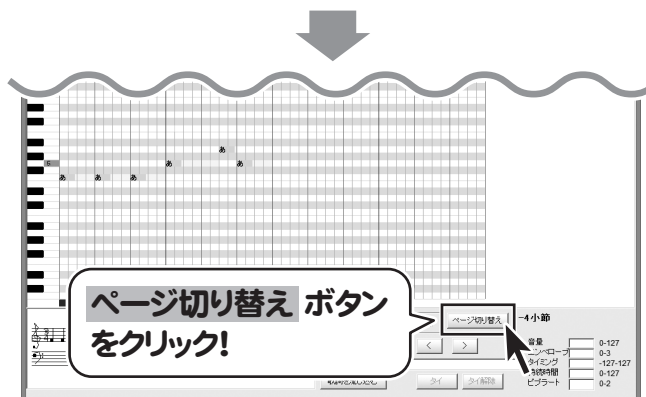


曲を作成・保存する

1～2小節の音符の入力が終わりましたら、
3～4小節の音符の入力をします。

まずは、**ページ切り替え** ボタンをクリックして
編集できる小節を1～2小節から3～4小節に
切り替えます。

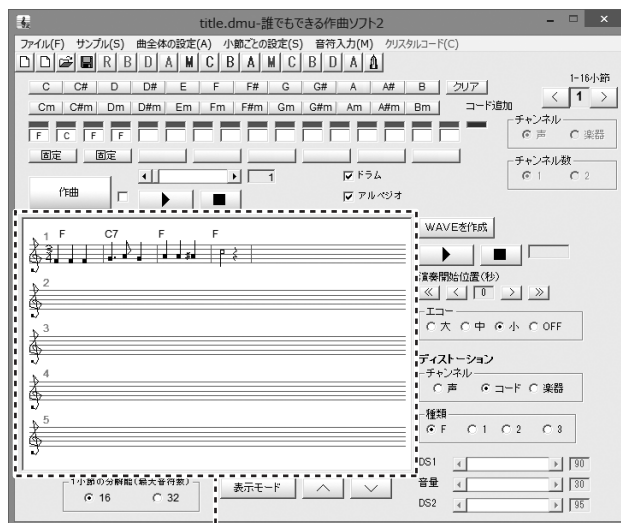
切り替わりましたら、
「ふるさと」の最初の音符**4分音符の「ラ」**を
5オクターブの位置に入力する方法(52ページ)
を参考に3～4小節の音符を順番に入力して
いきます。



上記のように音符を入力します。

曲を作成・保存する

すべての音符入力が終わりましたら、[閉じる]をクリックして、音符入力画面を閉じます。
入力した音符がメイン画面の楽譜に反映されます。



楽譜に音符が反映されました

曲を作成・保存する

4 テンポを設定します

[曲全体の設定]メニュー → [テンポ]をクリックします。

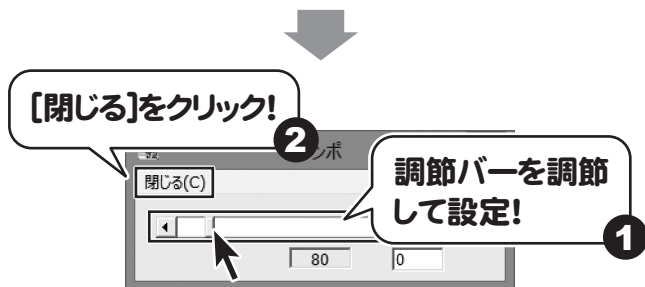
テンポ画面が表示されます。

初期設定では、[120]に設定されています。
調節バーを調節して、
50(遅い)～350(早い)まで、曲のテンポを設定することができます。
ここでは、楽譜と同じ[80]に設定します。

テンポを設定したら、[閉じる]をクリックして
テンポ画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

ここで、作成してきた曲の設定を確認します。

作曲 ボタンをクリックして、
曲の設定を確認します。



曲を作成・保存する

5 曲を視聴します

作成してきた曲の設定を確定することで、あわせてMIDIファイルの曲が作られます。

ここで一度MIDIファイルを視聴をしてみます。

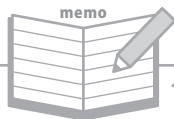


ボタンをクリックすると、入力した音符とコードが再生されます。

※MIDIファイルは、コンパクトなファイルで、楽器音専用です。



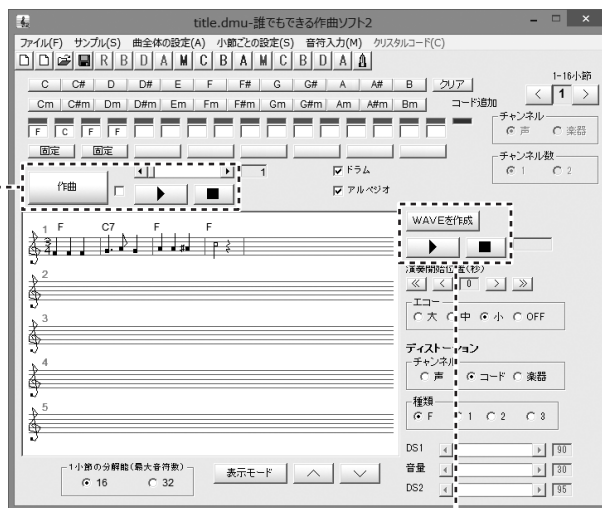
曲を作成・保存する



MIDIファイルとWAVEファイル

本ソフトは、「MIDIファイル」と「WAVEファイル」を作ります。
「MIDIファイル」は、コンパクトなファイルで、楽器音専用です。
「WAVEファイル」は、大きなファイルですが、声と楽器音を同時に出すことができます。

MIDIファイルを作成・再生します



WAVEファイルを作成・再生します

歌声を含む「WAVEファイル」は、「MIDIファイル」を元に作られますので、歌声を再生するためには、最初に「MIDIファイル」を作る必要があります。
「MIDIファイル」は自動的に作られる場合と、
作曲 ボタンをクリックすると作られる場合があります。
メロディーと歌詞を変更した場合は「MIDIファイル」は自動的に作られ、「音量」「音色」「テンポ」などを変えた場合は
作曲 ボタンをクリックすると「MIDIファイル」が作られます。

曲を作成・保存する

6 曲に歌詞を設定します

音符入力画面を表示して、曲に歌詞を設定します。

[音符入力]メニューをクリックして、音符入力画面を表示します。

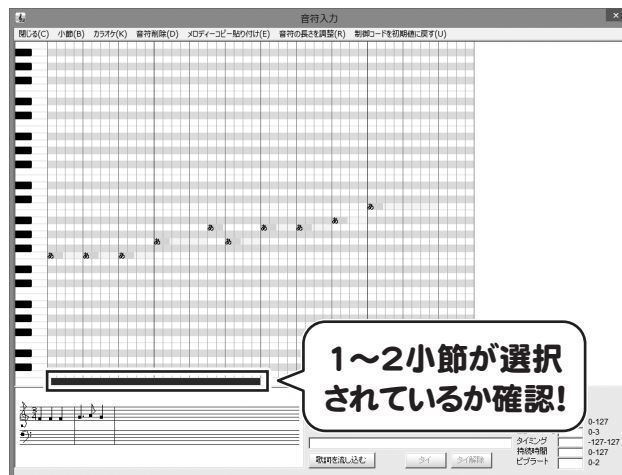
歌詞の入力は、1～2小節から3～4小節の順番で入力していきます。
まずは、1～2小節の音符に歌詞を入力します。

歌詞を入力する前に、以下の点を確認します。

- 1～2小節の音符が編集できるように、
1～2小節が選択されているか
1～2小節の欄の下に青いバーが表示されていれば、選択されています。

次に、歌詞の入力欄に歌詞を入力します。
ここでは、“うさぎおいし”と歌詞を入力します。

※歌詞は空白を入れずに、すべてひらがなで入力してください。



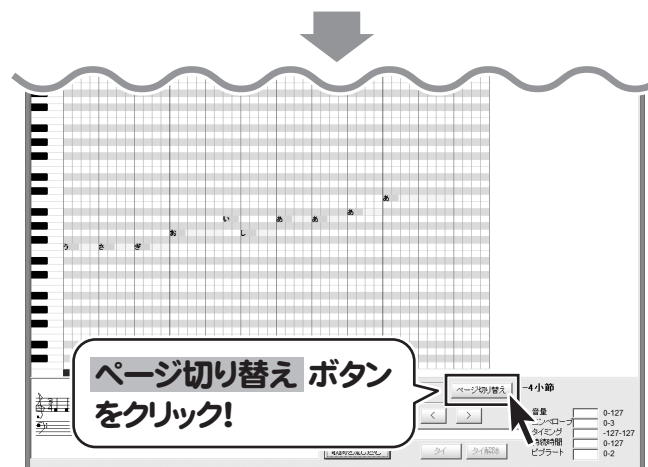
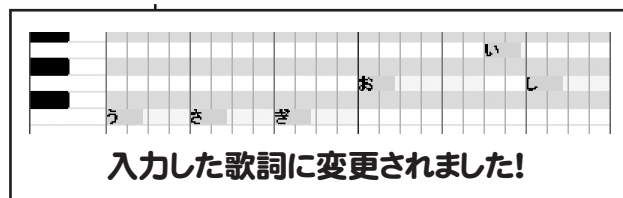
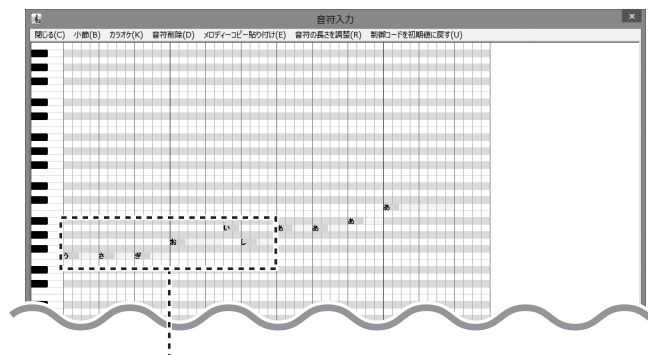
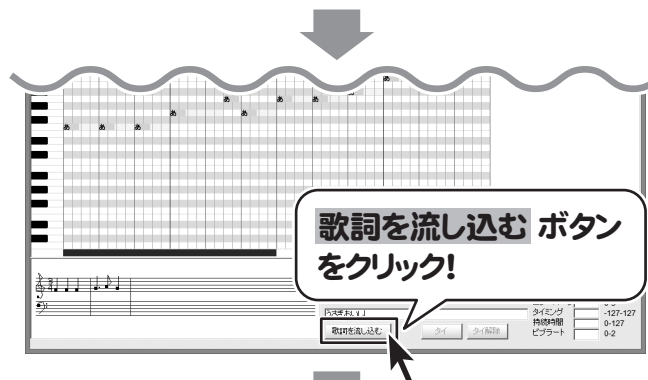
曲を作成・保存する

歌詞の入力が終わりましたら、
歌詞を流し込む ボタンをクリックします。

エディット表示エリアの音符上の文字が、
入力した歌詞に変更されます。

1～2小節の音符の入力が終わりましたら、
同様に3～4小節の歌詞の入力をします。

まずは、**ページ切り替え** ボタンをクリックして
編集できる小節を1～2小節から3～4小節に
切り替えます。

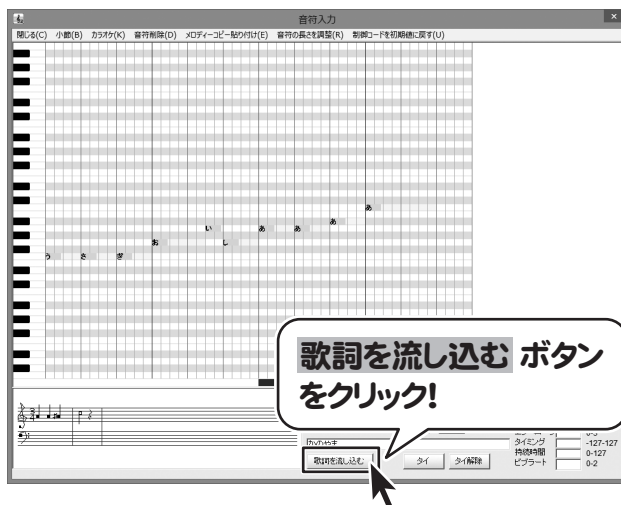
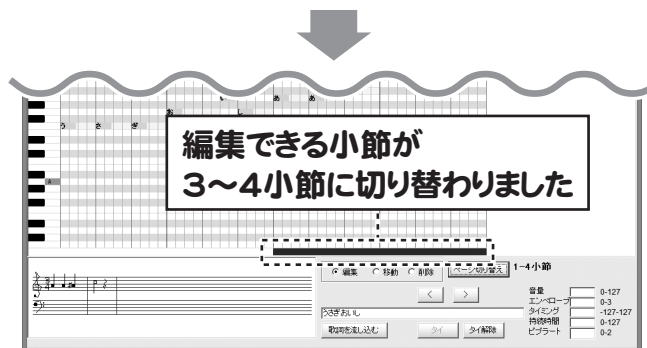


曲を作成・保存する

切り替わりましたら、
歌詞の入力欄に歌詞を入力します。
ここでは、“かのやま”と歌詞を
入力します。

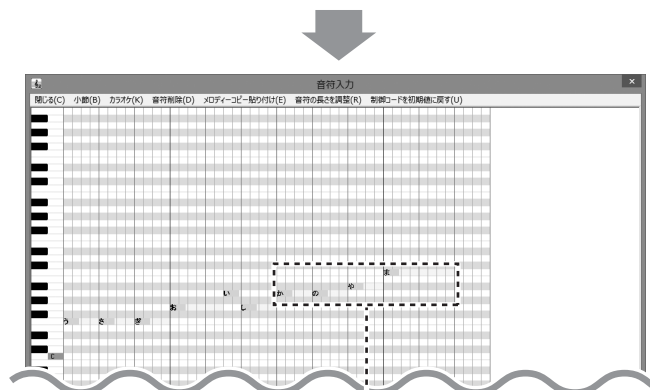
※歌詞は空白を入れずに、すべてひらがなで
入力してください。

歌詞の入力が終わりましたら、
歌詞を流し込む ボタンをクリックします。

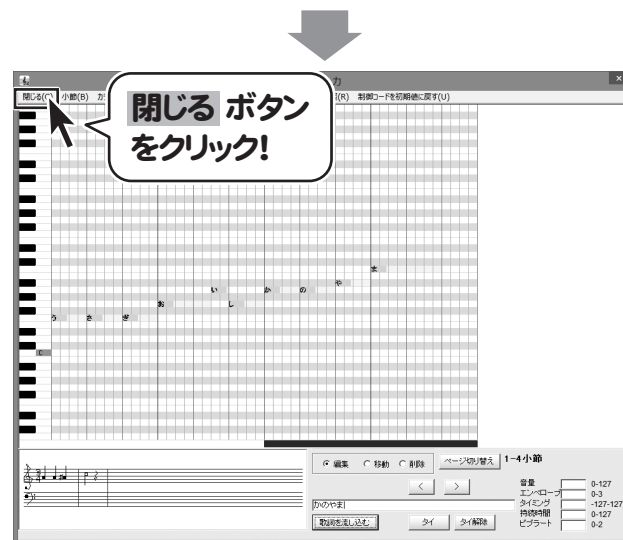


曲を作成・保存する

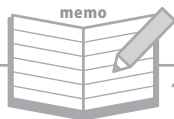
歌詞の入力作業が終わりましたら、
[閉じる]をクリックして、
音符入力画面を閉じて、メイン画面に戻ります。



入力した歌詞に変更されました!



曲を作成・保存する



歌詞に入力可能な文字一覧

歌詞として使用できるのは下記の文字です。(カタカナ、漢字、アルファベットは使えません)

下記の文字に「っ」をつけると、短く発音します。

「あ」と入力すると、長い音符では「あー」と再生されます。

「あっ」と入力すると「あっ」と再生されます。

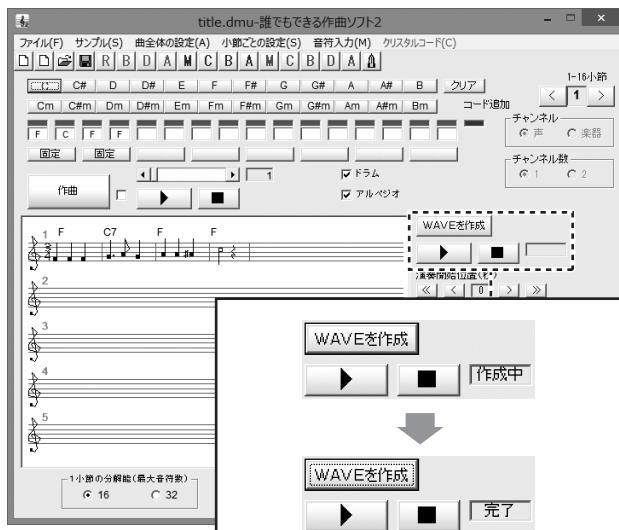
あ	い	う	え	お	が	ぎ	ぐ	げ	ご
か	き	く	け	こ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
さ	し	す	せ	そ	だ	でい	どう	で	ど
た	ち	つ	て	と	ば	び	ぶ	べ	ぼ
な	に	ぬ	ね	の	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
は	ひ	ふ	へ	ほ	きゃ		きゅ	きえ	きよ
ま	み	む	め	も	しゃ		しゅ	しえ	しよ
や		ゆ	いえ	よ	ちゃ		ちゅ	ちえ	ちよ
ら	り	る	れ	ろ	にゃ		にゅ	にえ	にょ
わ	うい		うえ	うお	ひゃ		ひゅ	ひえ	ひよ
ん					みゃ		みゅ	みえ	みよ
					りゃ		りゅ	りえ	りよ
					ぎゃ		ぎゅ	ぎえ	ぎよ
					じゃ		じゅ	じえ	じよ
					びゃ		びゅ	びえ	びよ
					ぴゃ		ぴゅ	ぴえ	ぴよ
					てい		とう		
					ふあ	ふい		ふえ	ふお

曲を作成・保存する

7 歌詞付きのWAVEファイルを作成します

メイン画面に戻ったら、入力した歌詞を含めたWAVEファイルを作成します。

WAVEを作成 ボタンをクリックして、WAVEファイルを作成します。

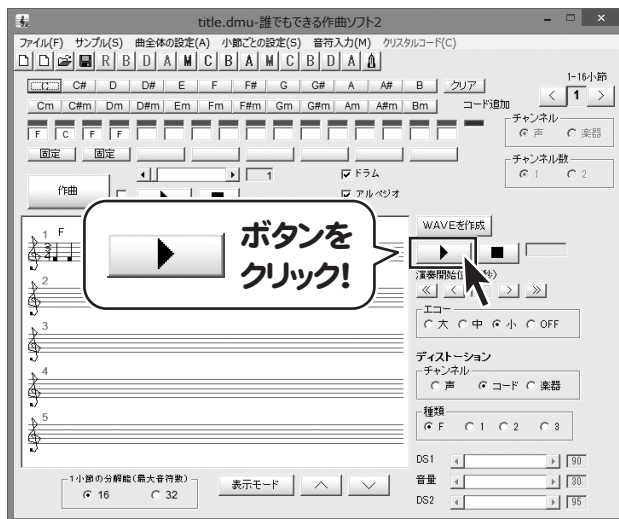


WAVEファイルの作成には少し時間がかかります。表示が[作成中]→[完了]に変わったら作成完了!

8 歌詞付きの曲を視聴します

作成したWAVEファイルを視聴をしてみます。

再生ボタン ボタンをクリックすると、曲と入力した歌詞が再生されます。



曲を作成・保存する

9 作曲した曲を保存します

作曲した曲のデータを保存します

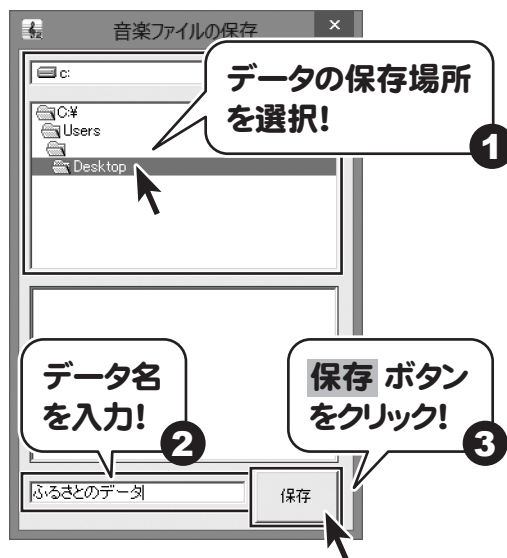
作曲した曲のデータを保存します。

[ファイル]メニュー→[曲のデータを名前を付けて保存]を選択します。

音楽ファイルの保存画面が表示されますので、データを保存する場所を選択して、データ名を入力します。

保存の各設定が終わりましたら、**保存** ボタンをクリックしてください。

データの保存形式は「.dmu」になります。



曲を作成・保存する

作成した曲をMIDIファイルで保存します

作曲した曲のMIDIファイルを保存します。

[ファイル]メニュー→[MIDIファイルの保存]を選択します。

MIDIの保存画面が表示されますので、ファイルを保存する場所を選択して、ファイル名を入力します。

保存の各設定が終わりましたら、**保存** ボタンをクリックしてください。

データの保存形式は「.mid」になります。



曲を作成・保存する

作成した曲をWAVEファイルで 保存します

作曲した曲のMIDIファイルを保存します。

[ファイル]メニュー→[WAVEファイルの保存]を
選択します。

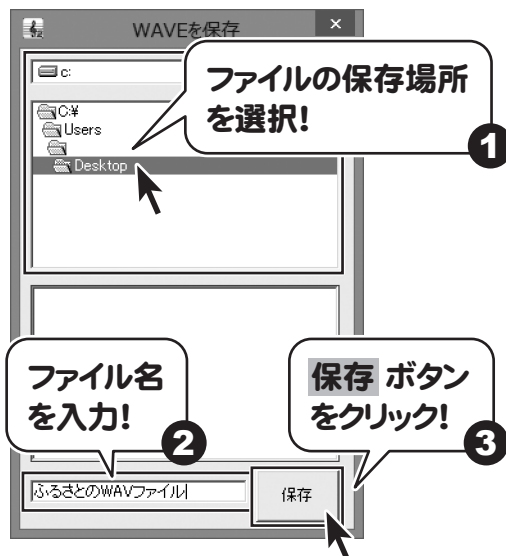
※メニューが灰色の文字で選択できない場合は
「WAVEファイルの作成」を行ってください。
(詳細は65ページをご覧ください)

WAVEを保存画面が表示されますので、
ファイルを保存する場所を選択して、
ファイル名を入力します。

保存の各設定が終わりましたら、
保存 ボタンをクリックしてください。

データの保存形式は「.wav」になります。

※WAVE作成時は、歌声付きで再生されます。



曲を作成・保存する

自動作曲機能をつかって、曲を作成、保存する

「誰でもできる作曲ソフト2」を使って、自動で4小節の曲を作る説明をします。

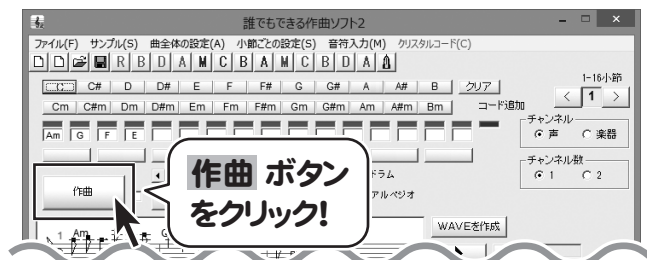
1 4小節の曲のメロディーを作ります

「誰でもできる作曲ソフト2」起動時、曲のサンプルデータが入力、表示されています。

作曲 ボタンをクリックすると、4小節の曲のメロディーが書き換えられます。メロディーが書き換えられましたら、

 ボタンをクリックして、メロディーを確認します。

作曲 ボタンをクリックするたびに、メロディーが書き換えられますので、気に入るメロディーが入力、表示されるまで、同じ操作を繰り返します。



曲を作成・保存する

メロディーが決まりましたら、コード表示エリアの **固定** ボタンをクリックして、[固定]の文字を表示させ、メロディーを変更しないように固定します。

※最初の2小節はそのまま、後の2小節だけメロディーを変更したい場合は、最初の2小節だけ[固定]に設定し、**作曲** ボタンをクリックすると、後の2小節のメロディーが変わります。

[固定]に設定され、**作曲** ボタンをクリックしても、メロディーが変更されなくなりました。



2 メロディーの音色を変更します

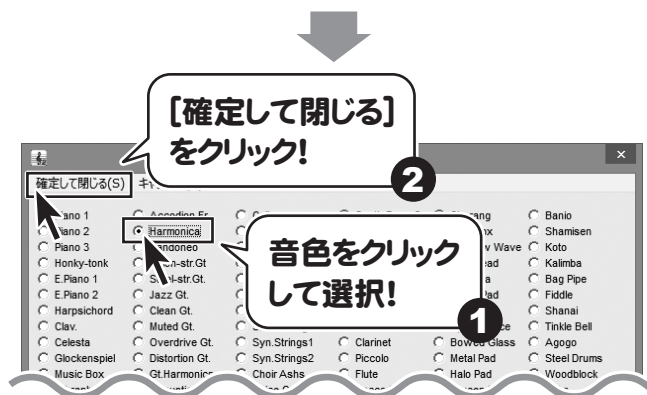
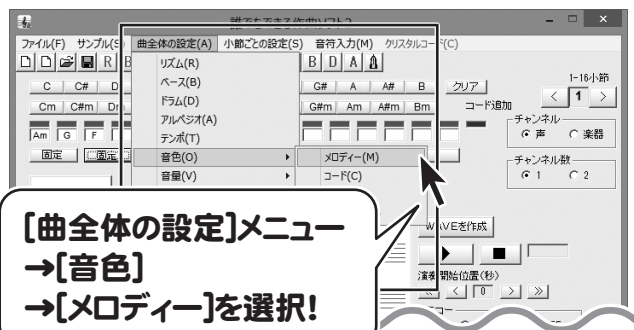
メロディーが決まりましたら、メロディーの音色を変更してみます。

[曲全体の設定]メニュー → [音色] → [メロディー] をクリックします。

メロディーの音色画面が表示されます。

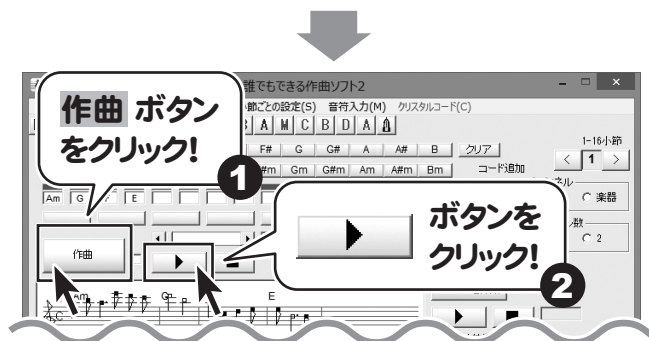
初期設定では、[Piano 2]が選択されています。ここでは、[Harmonica]を選択します。

変更する音色の○をクリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、メイン画面に戻ります。



曲を作成・保存する

メイン画面に戻ったら、
作曲 ボタンをクリックします。
メロディーが選択した音色で再生されますので、
 ボタンをクリックして、
確認します。



3 リズムパターンを変更します

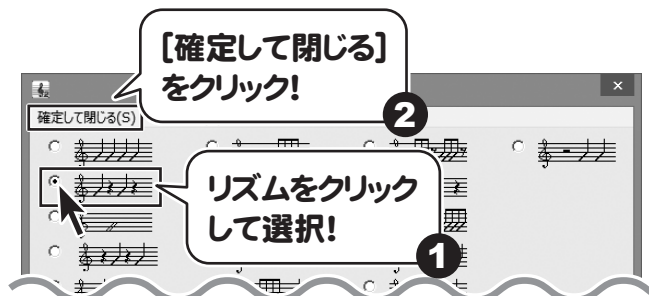
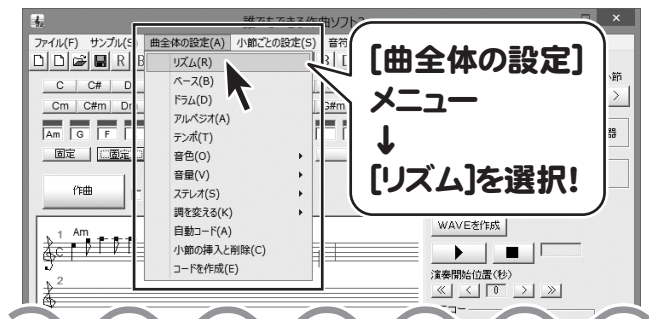
メロディーの音色が決まりましたら、
曲のリズムを変更してみます。

[曲全体の設定]メニュー → [リズム]をクリック
します。
リズムパターン画面が表示されます。

ここでは、[左から1列目の上から2番目のリズム]
を選択します。

変更するリズムの○をクリックして選択、
[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、
メイン画面に戻ります。

メイン画面に戻ったら、
作曲 ボタンをクリックします。
曲が選択したリズムで再生されますので、
 ボタンをクリックして、
確認します。



曲を作成・保存する

4 ベースパターンを変更します

曲のリズムが決まりましたら、
曲のベースパターンを変更してみます。

[曲全体の設定]メニュー → [ベース]をクリック
します。

ベースパターン画面が表示されます。

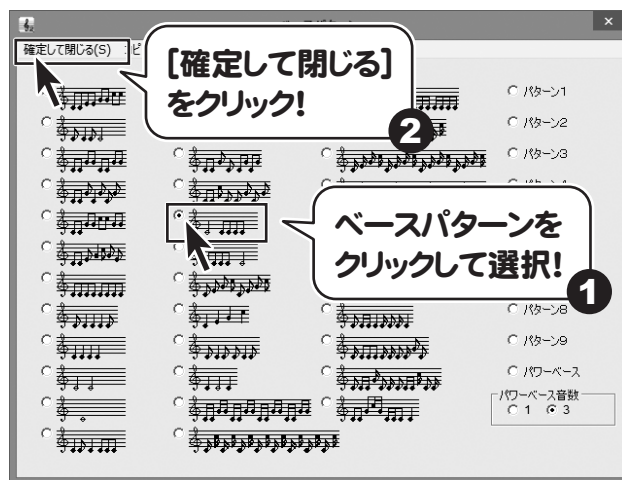
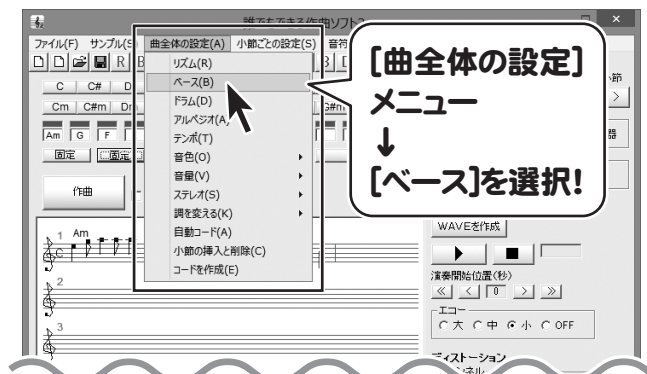
ここでは、[左から2列目の上から5番目のベース
パターン]を選択します。

変更するベースパターンの○をクリックして
選択、[確定して閉じる]をクリックして、
画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

メイン画面に戻ったら、**作曲** ボタンを
クリックします。曲が選択したベースパターンで
再生されますので、



ボタンをクリックして、
確認します。



曲を作成・保存する

5 ドラムパターンを変更します

曲のベースパターンが決まりましたら、曲のドラムパターンを変更してみます。

[曲全体の設定]メニュー → [ドラム]をクリックします。

ドラムパターン画面が表示されます。

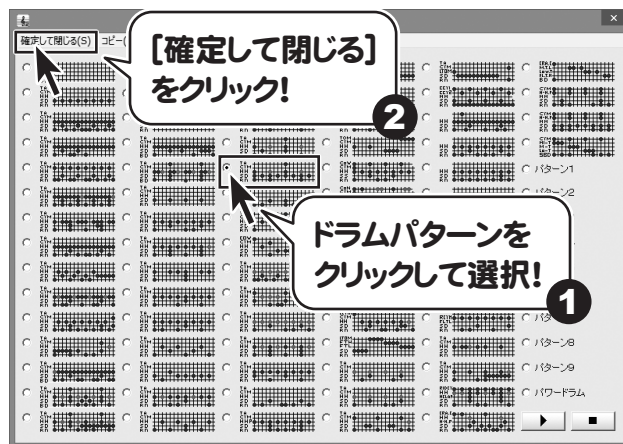
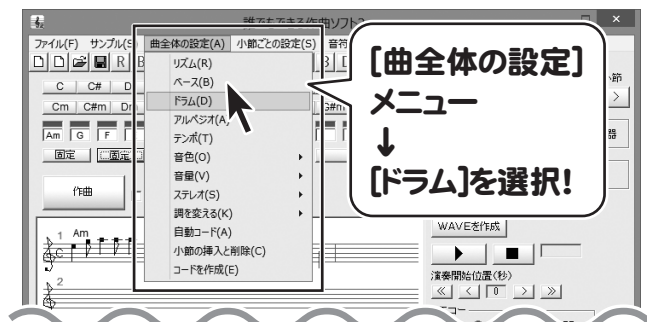
ここでは、[左から3列目の上から5番目のドラムパターン]を選択します。

変更するドラムパターンの○をクリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして、画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

メイン画面に戻ったら、**作曲** ボタンをクリックします。曲が選択したドラムパターンで再生されますので、



ボタンをクリックして、確認します。



曲を作成・保存する

6 音量を変更します

曲のドラムパターンが決まりましたら、曲の音量を変更してみます。

音量は、「メロディー」「ベース」「コード」「ドラム」「アルペジオ」の5つの項目別に設定することができます。

どの項目の音量調節も同様の手順になります。ここでは、「メロディー」の音量を変更する説明をします。

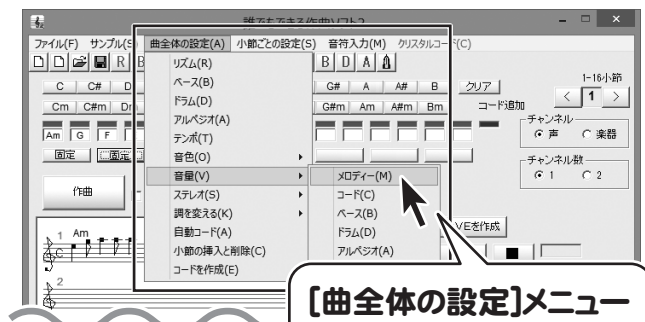
[曲全体の設定]メニュー → [音量] → [メロディー] をクリックします。
メロディーの音量画面が表示されます。

初期設定では、最大音量の[127]に設定されています。調節バーを調整して、0(小さい)～127(大きい)までメロディーの音量を変更することができます。ここでは、[100]に設定します。

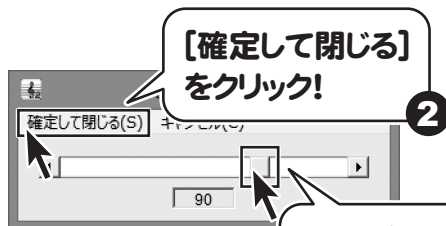
[確定して閉じる]をクリックして、メロディーの音量画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

メイン画面に戻ったら、**作曲** ボタンをクリックします。
設定した音量で曲が再生されますので、

 ボタンをクリックして、確認します。

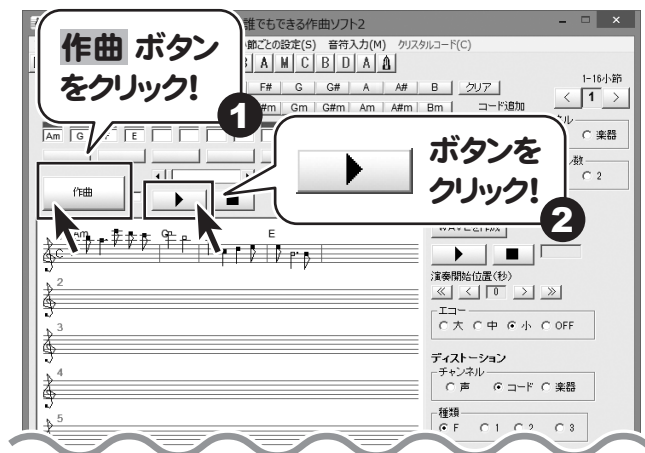


**[曲全体の設定]メニュー
→[音量]
→音量を変更するパート
を選択!**



**[確定して閉じる]
をクリック!**

**調節バーを調節
して設定!**



**作曲 ボタン
をクリック!**

**ボタンを
クリック!**

曲を作成・保存する

7 小節を挿入して作成した曲をコピーします

ここでは、ここまでで作成した4小節の曲をコピーして8小節の曲に編集する方法を説明します。

小節の挿入とコピーを行います。

[曲全体の設定]メニュー → [小節の挿入と削除]
をクリックします。

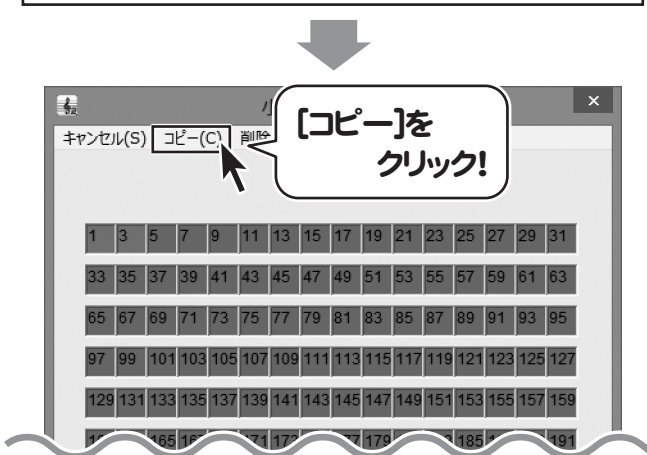
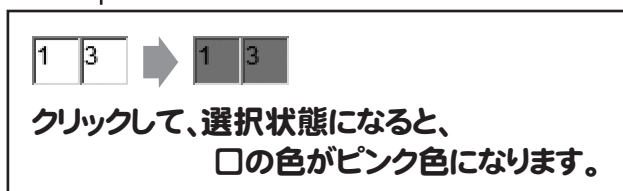
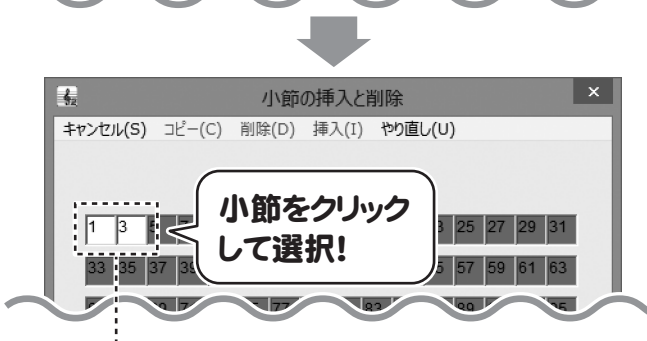
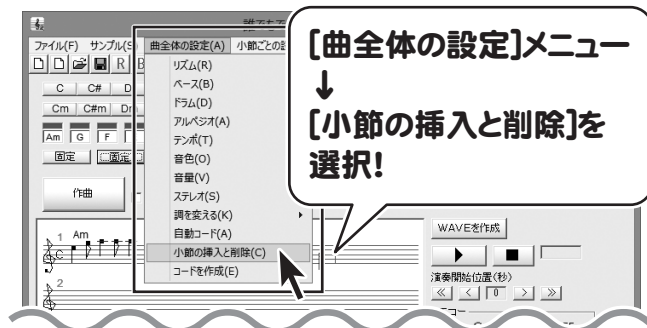
小節の挿入と削除画面が表示されます。

小節の1～253までの数字が書かれています。
曲が入力されている現在使用中の小節は「白色」、
使用されていない小節は「灰色」で表示されます。

ここまでで作成してきた曲は4小節の曲なので、
1 (1, 2小節)と3 (3, 4小節)の小節が
「白色」で表示されています。

ここでは、4小節分コピーをするので、
1 (1, 2小節)と3 (3, 4小節)をクリックして
選択します。
選択されると□の色が「ピンク色」に変わります。

□が選択状態になると、画面上部の[コピー]が
クリックできるようになりますので、
[コピー]をクリックします。



曲を作成・保存する

小節のコピーが完了しますと、挿入が可能な小節「5」が白色で表示されます。

「5」をクリックして、選択状態になると、「黄色」に表示されます。

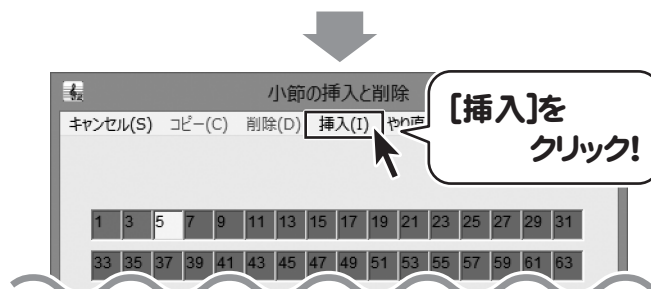
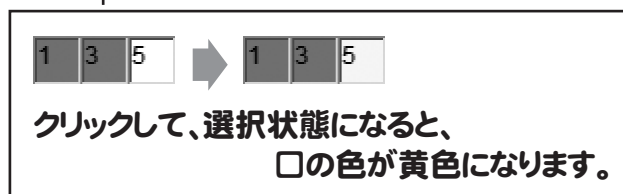
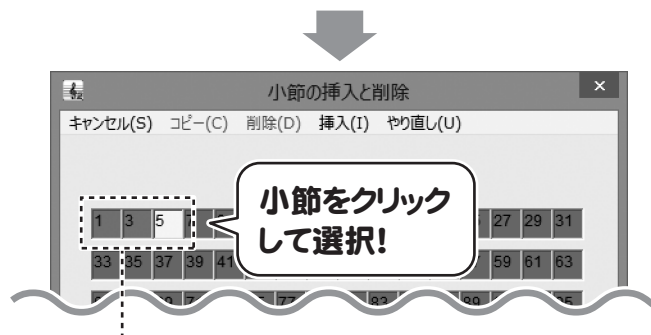
□が選択状態になると、画面上部の[挿入]がクリックできるようになりますので、[挿入]をクリックします。

小節の挿入と削除画面が閉じて、メイン画面に戻ります。

メイン画面に戻ったら、楽譜表示エリアに4小節分の楽譜がコピーされて8小節の曲に編集されているのを確認し、



ボタンをクリックして、コピー、挿入した曲を確認します。



曲を作成・保存する

8 作曲した曲を保存します

作曲した曲のデータを保存します

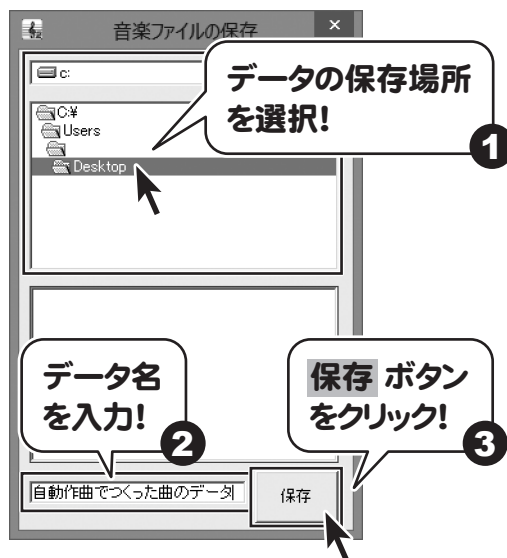
作曲した曲のデータを保存します。

[ファイル]メニュー→[曲のデータを名前を付けて保存]を選択します。

音楽ファイルの保存画面が表示されますので、データを保存する場所を選択して、データ名を入力します。

保存の各設定が終わりましたら、**保存** ボタンをクリックしてください。

データの保存形式は「.hsa」になります。



その他の機能・操作説明

小節の削除

小節の挿入と削除機能を使用すると、曲に前奏をつける作業や、曲を繰り返す作業がかんたんにできます。
小節の挿入、コピーの操作方法は、75～76ページをご覧ください。

小節の削除を行います。
ここでは8小節の曲を例に説明します。

[曲全体の設定]メニュー → [小節の挿入と削除]
をクリックします。

小節の挿入と削除画面が表示されます。

小節の1～253までの数字が書かれています。
曲が入力されている現在使用中の小節は
「白色」、使用されていない小節は「灰色」で
表示されます。

1 (1, 2小節)、3 (3, 4小節)、5 (5, 6小節)、
7 (7, 8小節)の小節が「白色」で表示されて
います。

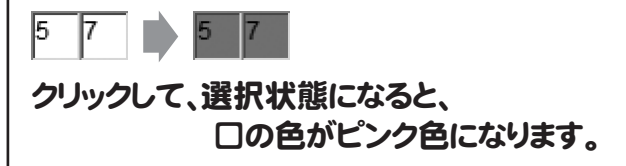
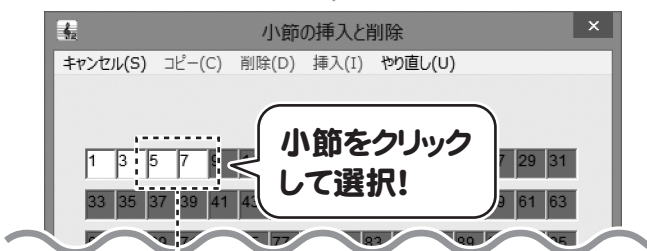
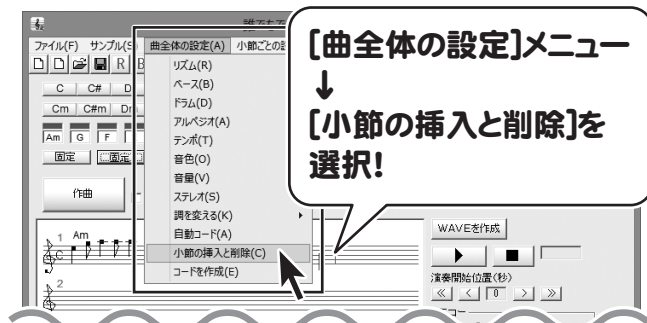
ここでは、5 (5, 6小節)、7 (7, 8小節)の2小節分
を削除するので、
削除するはじめの小節の5 (5, 6小節)、
削除する終わりの小節の7 (7, 8小節)を
クリックして選択します。
選択されると□の色が「ピンク色」に変わります。

※1つの小節を削除する場合は、削除する小節の
はじまりと終わりを設定するので、削除する
小節を2回クリックしてください。

※削除する小節の選択に失敗した場合は、
[やり直し]をクリックして、再度削除の操作を
行ってください。

□が選択状態になると、画面上部の[削除]が
クリックできるようになりますので、
[削除]をクリックします。

小節の削除が実行され、小節の挿入と削除画面
が閉じて、メイン画面に戻ります。



その他の機能・操作説明

メロディーのコピーと貼り付け

音符入力画面から、1小節ごとにメロディーをコピー、貼り付けすることができます。

メロディーのコピー、貼り付けを行います。
ここでは48～68ページで作成した
「ふるさと」4小節を例に説明します。

まずは、音符入力画面を表示します。

[音符入力]メニューをクリックします。

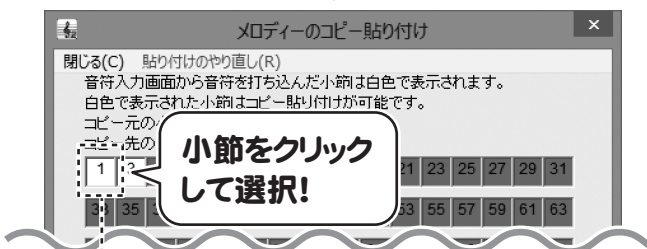
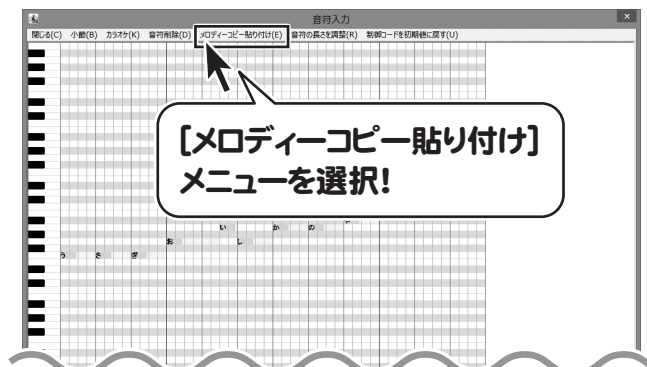
音符入力画面が表示されましたら、
[メロディーコピー貼り付け]メニューを
クリックして、
メロディーのコピー貼り付け画面を表示します。

小節の1～253までの数字が書かれています。
曲が入力されている現在使用中の小節は
「白色」、使用されていない小節は「灰色」で
表示されます。

1(1、2小節)、3(3、4小節)の小節が
「白色」で表示されています。

ここでは、1(1、2小節)の1小節分を
コピーして、3(3、4小節)に貼り付けするので、
1(1、2小節)をクリックして選択します。
選択されると□の色が「ピンク色」に変わります。

※灰色で表示されている小節を白色に変更する
には、事前にコードの設定が必要です。

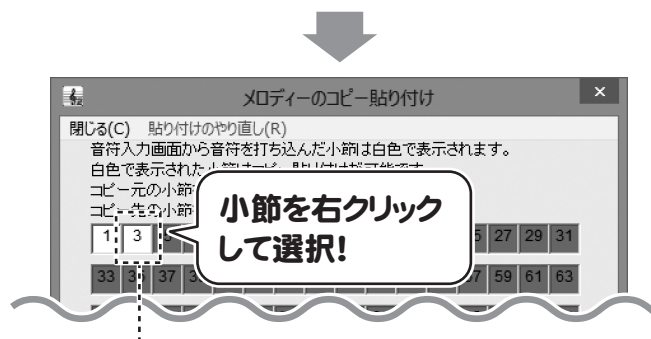


クリックして、選択状態になると、
□の色がピンク色になります。

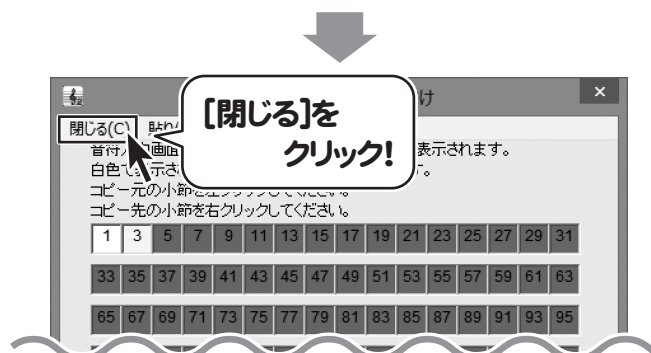
その他の機能・操作説明

次にコピーした小節を貼り付ける小節
3(3,4小節)を右クリックしますと、
□の色が「黄色」に変わり、
コピーした1(1,2小節)のメロディーが
3(3,4小節)に貼り付けられます。

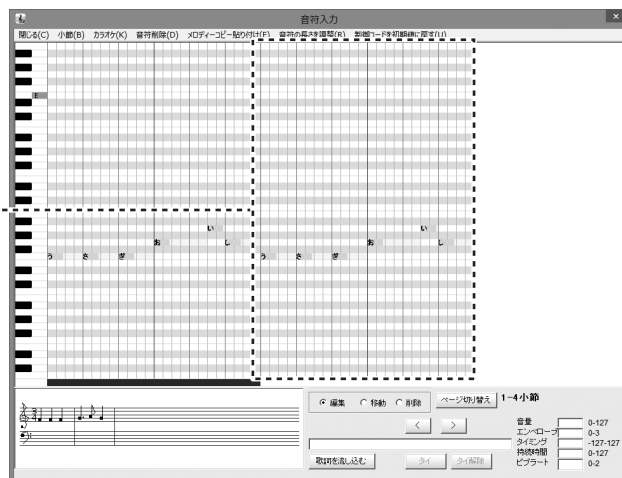
コピー、貼り付けが終了しましたら、
[閉じる]をクリックして、
メロディーのコピー貼り付け画面を閉じます。



クリックして、選択状態になると、
□の色が黄色になります。



1(1,2小節)が3(3,4小節)に
コピー、貼り付けされました



その他の機能・操作説明

自動コードを設定する

メロディーに合ったコード(和音)を自動でつけることができます。

作成したメロディーに自動でコードを設定します。

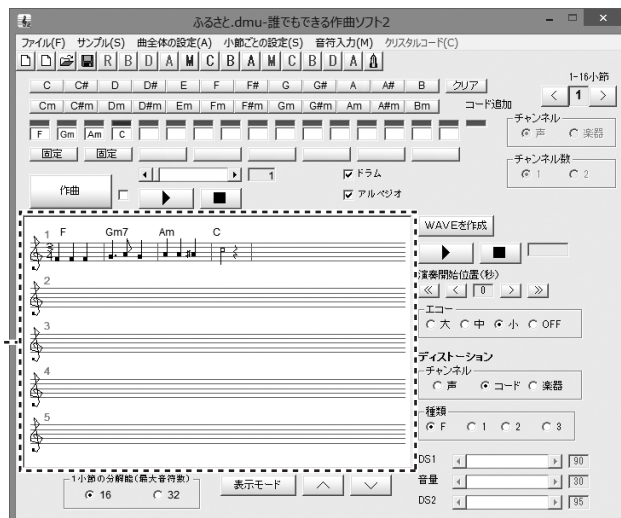
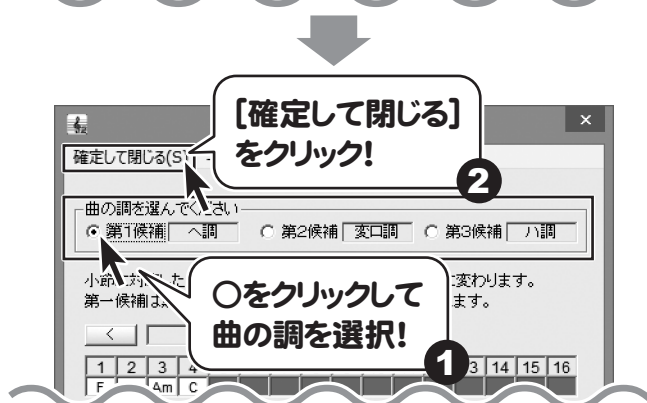
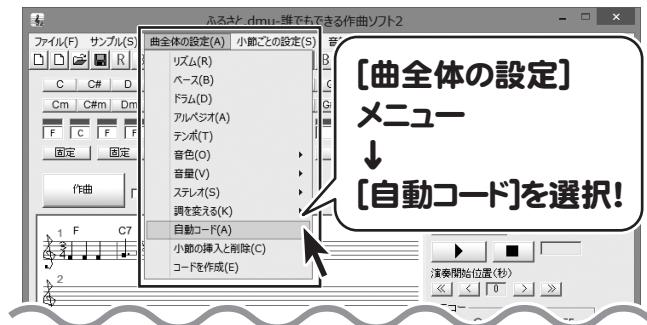
ここでは48～68ページで作成した「ふるさと」4小節を例に説明します。

[曲全体の設定]メニュー → [自動コード]をクリックします。
自動コード画面が表示されます。

小節の1～254までの数字が書かれています。
曲が入力されている現在使用中の小節は「白色」、使用されていない小節は「灰色」で表示されます。
1～4の小節が「白色」で表示されています。

○をクリックして曲の調を選択、
[確定して閉じる]をクリックします。

自動でコードが設定され、自動コード画面が閉じて、メイン画面に戻ります。



自動で設定されたコードに変更されました

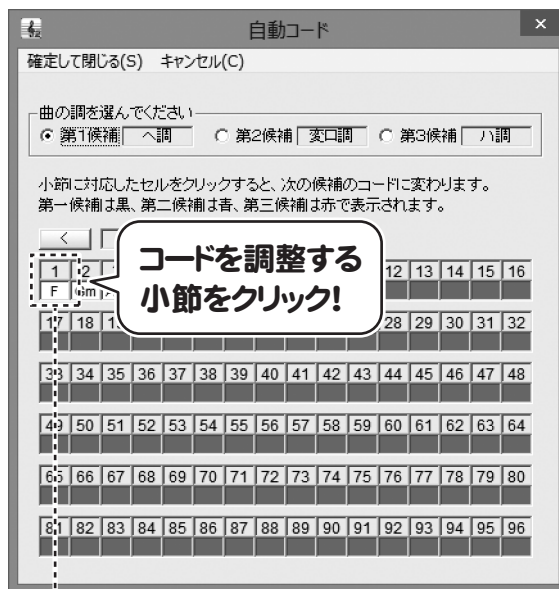
その他の機能・操作説明

自動コードで設定したコードを調整します

自動で設定したコードを調整します。

自動コード画面で、調整する小節のコードをクリックしますと、コードが切り替わります。

1回クリックすると第二候補に、
2回クリックすると第三候補が表示されます。



コードをクリックすると、第二候補、第三候補とコードが切り替わります

その他の機能・操作説明

サンプルコード進行を使用して曲を作る

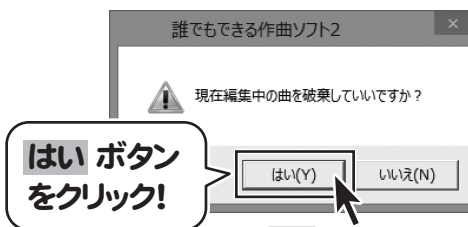
自動作曲機能で曲を作る場合に、はじめに各小節にコードを設定することができます。

「誰でもできる作曲ソフト2」起動時、曲のサンプルデータが入力、表示されていますので、

[ファイル]メニューから[新規作成]をクリックして、表示されるメニューから作成する曲の拍子を選択します。
(ここでは、[3拍子の曲を作る]を選択します)

確認画面が表示されますので、内容を確認して、**はい** ボタンをクリックすると、新規の画面が表示されます。

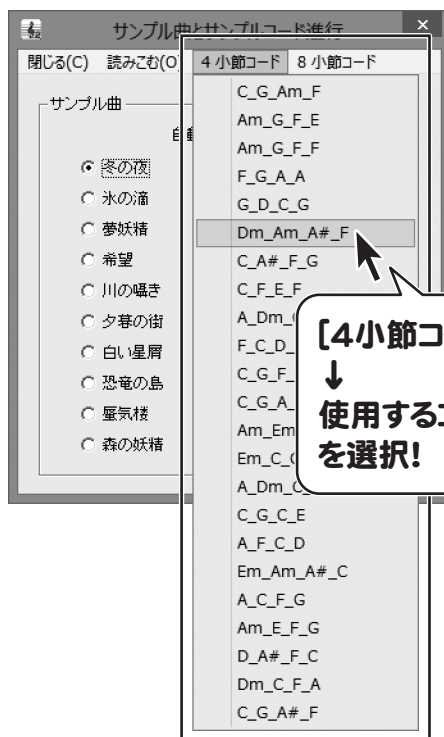
新規の画面が表示されましたら、[サンプル]メニューをクリックして、サンプル曲とサンプルコード進行画面を表示します。



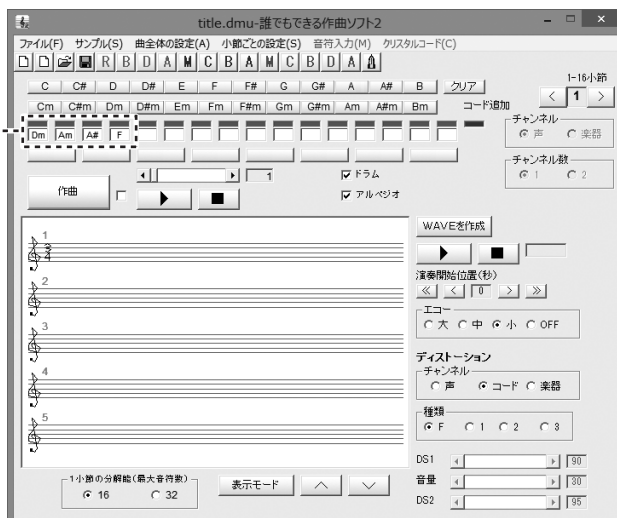
その他の機能・操作説明

画面上部の[4小節コード]をクリックして、表示されるメニューからコードを選択します。ここでは[Dm_Am_A#_F]を選択します。コードを選択すると、メイン画面に戻ります。

コード入力位置表示ボックスに選択したコードが表示されます。



選択したコードが入力されました

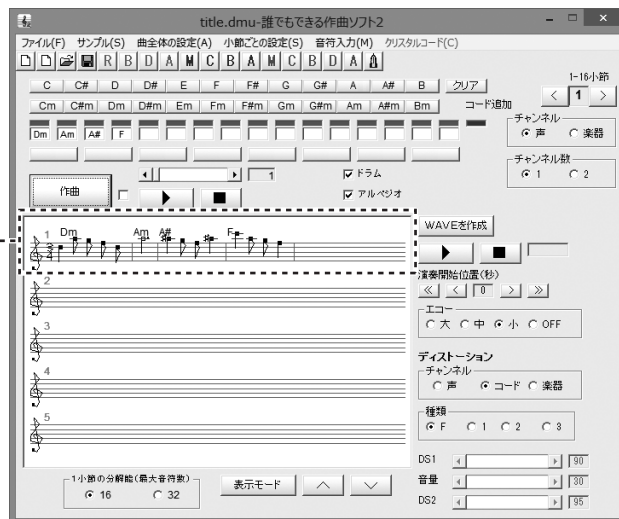


その他の機能・操作説明

作曲 ボタンをクリックすると、
楽譜表示エリアにメロディーが表示されます。



メロディーが入力されました



その他の機能・操作説明

各小節ごとに音色を設定する

1小節ごと、または2小節ごとに音色を設定します。曲全体の音色を設定する方法は70～71ページをご覧ください。

ここでは48～68ページで作成した「ふるさと」4小節を例に説明します。

まずは、[小節ごとの設定]メニューから音色を設定するパートを選択します。ここでは、[メロディー]を選択します。

メロディー画面が表示されましたら、音色を設定する小節のページをクリックします。ここでは、1小節目の音色を設定しますので、[1ページ]をクリックして、選択します。

メロディー1ページ画面が表示されましたら、音色を設定する小節をクリックします。ここでは、1小節目の音色を設定しますので、[1]をクリックして、選択します。



その他の機能・操作説明

メロディーの音色画面が表示されます。

初期設定では、[Piano 2]が選択されています。
ここでは、[Harmonica]を選択します。

変更する音色の○をクリックして選択、
[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、
メロディー1ページ画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、
作曲 ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。



音色が設定されました



その他の機能・操作説明

各小節ごとに音量を設定する

1小節ごと、または2小節ごとに音量を設定します。曲全体の音量を設定する方法は74ページをご覧ください。

ここでは48～68ページで作成した「ふるさと」4小節を例に説明します。

まずは、[小節ごとの設定]メニューから音量を設定するパートを選択します。ここでは、[メロディー]を選択します。

メロディー画面が表示されましたら、音量を設定する小節のページをクリックします。ここでは、1小節目の音量を設定しますので、[1ページ]をクリックして、選択します。

メロディー1ページ画面が表示されましたら、音量を設定する小節の調節バーを調整して、音量を設定します。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、**作曲** ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。



その他の機能・操作説明

各小節ごとにベースパターンを設定する

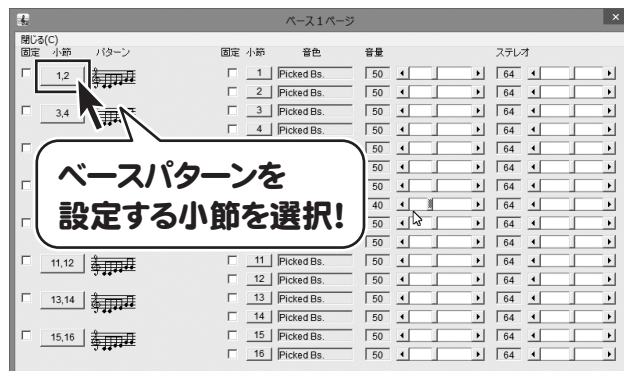
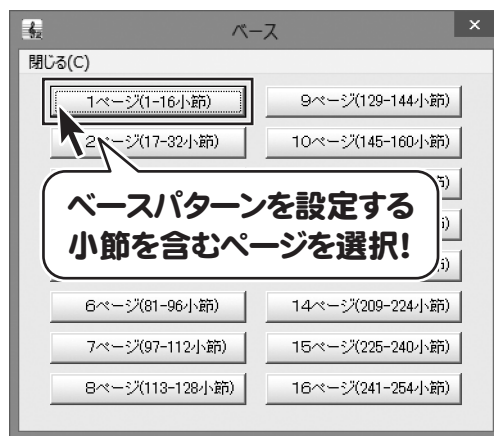
2小節ごとにベースパターンを設定します。曲全体のベースパターンを設定する方法は72ページをご覧ください。

ここでは48～68ページで作成した「ふるさと」4小節を例に説明します。

まずは、[小節ごとの設定]メニューから[ベース]を選択して、ベース画面を表示します。

ベース画面が表示されましたら、ベースパターンを設定する小節のページをクリックします。
ここでは、1、2小節目のベースパターンを設定しますので、[1ページ]をクリックして、選択します。

ベース1ページ画面が表示されましたら、ベースパターンを設定する小節をクリックします。
ここでは、1、2小節目のベースパターンを設定しますので、[1,2]をクリックして、選択します。



その他の機能・操作説明

ベースパターン画面が表示されます。

ここでは、[左から1列目の上から3番目のベースパターン]を選択します。

変更するベースパターンの○をクリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、ベース1ページ画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、**作曲** ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。



ベースパターンが設定されました



その他の機能・操作説明

各小節ごとにドラムパターンを設定する

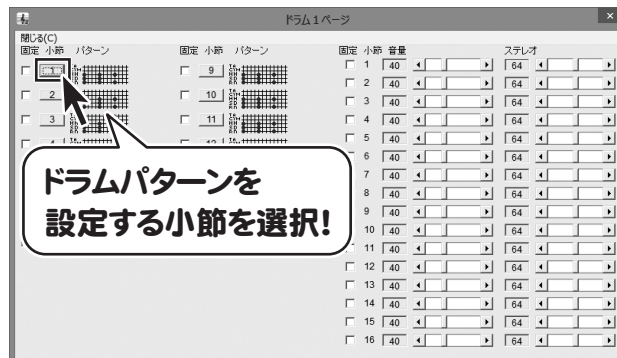
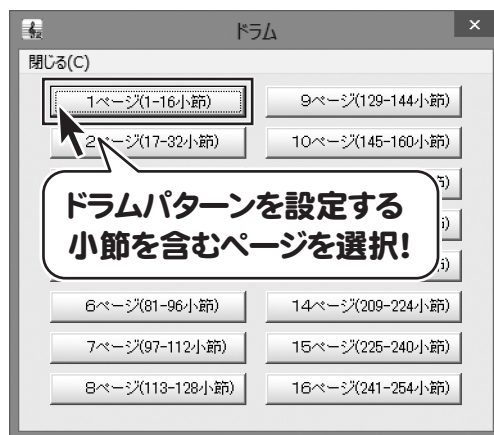
1小節ごとにドラムパターンを設定します。曲全体のドラムパターンを設定する方法は73ページをご覧ください。

ここでは48～68ページで作成した「ふるさと」4小節を例に説明します。

まずは、[小節ごとの設定]メニューから[ドラム]を選択して、ドラム画面を表示します。

ドラム画面が表示されましたら、ドラムパターンを設定する小節のページをクリックします。
ここでは、1小節目のドラムパターンを設定しますので、[1ページ]をクリックして、選択します。

ドラム1ページ画面が表示されましたら、ドラムパターンを設定する小節をクリックします。
ここでは、1小節目のドラムパターンを設定しますので、[1]をクリックして、選択します。



その他の機能・操作説明

ドラムパターン画面が表示されます。

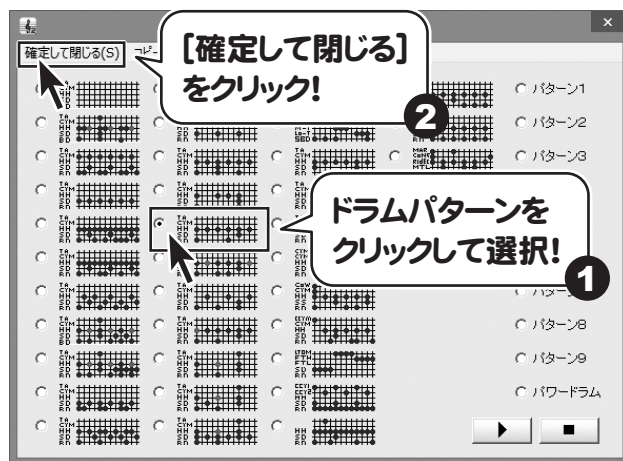
ここでは、[左から2列目の上から5番目のドラムパターン]を選択します。

変更するドラムパターンの○をクリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、ドラム1ページ画面に戻ります。

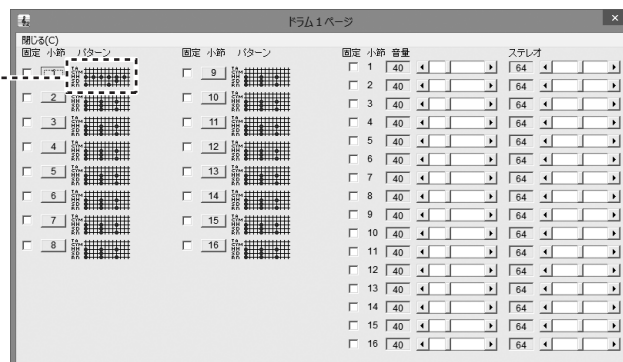
変更を確認するには、メイン画面に戻り、**作曲** ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。



ドラムパターンが設定されました



その他の機能・操作説明

曲全体のアルペジオパターンを設定する

曲全体にアルペジオパターンを設定します。

2小節ごとのアルペジオパターンを設定する方法は94～95ページをご覧ください。

ここでは48～68ページで作成した「ふるさと」4小節を例に説明します。

[曲全体の設定]メニュー → [アルペジオ]をクリックします。

アルペジオパターン画面が表示されます。

ここでは、[左から2列目の上から1番目のアルペジオパターン]を選択します。

変更するアルペジオパターンの○をクリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、メイン画面に戻ります。



その他の機能・操作説明

各小節ごとにアルペジオパターンを設定する

2小節ごとにアルペジオパターンを設定します。

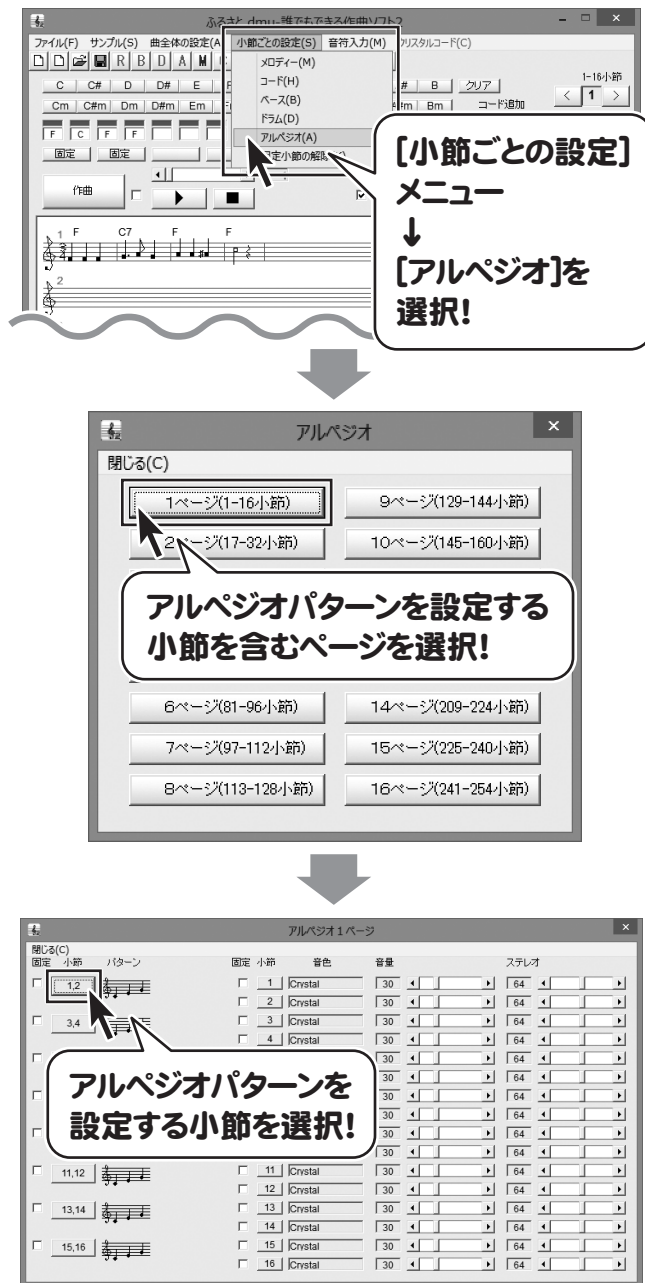
曲全体のアルペジオパターンを設定する方法は93ページをご覧ください。

ここでは48～68ページで作成した
「ふるさと」4小節を例に説明します。

まずは、[小節ごとの設定]メニューから
[アルペジオ]を選択して、アルペジオ画面を
表示します。

アルペジオ画面が表示されましたら、
アルペジオパターンを設定する小節のページを
クリックします。
ここでは、1、2小節目のアルペジオパターンを
設定しますので、[1ページ]をクリックして、
選択します。

アルペジオ1ページ画面が表示されましたら、
アルペジオパターンを設定する小節をクリック
します。
ここでは、1、2小節目のアルペジオパターンを
設定しますので、[1,2]をクリックして、
選択します。



その他の機能・操作説明

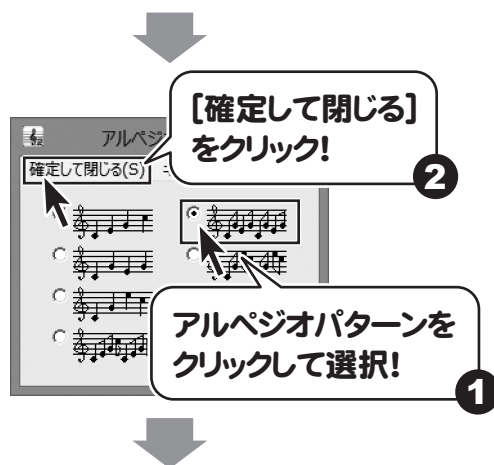
アルペジオパターン画面が表示されます。

ここでは、[左から2列目の上から1番目のアルペジオパターン]を選択します。
変更するアルペジオパターンの○をクリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、アルペジオ1ページ画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、**作曲** ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。



アルペジオパターンが設定されました

その他の機能・操作説明

ステレオの調節で曲全体の音の出る方向を設定する

曲全体の音の出る方向を設定します。

1小節ごと、または2小節ごとにステレオの調整を行う方法は97ページをご覧ください。

ここでは48～68ページで作成した
「ふるさと」4小節を例に説明します。

[曲全体の設定]メニュー → [メロディー] →
ステレオの調節を行うパートをクリックします。
ここでは、[メロディー]を選択します。

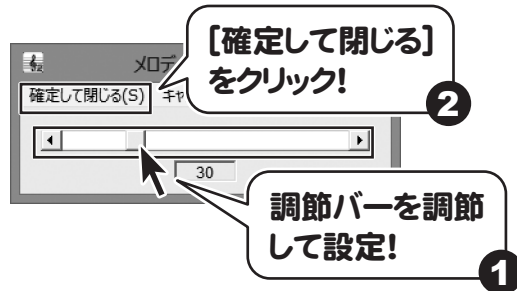
メロディーのステレオ画面が表示されましたら、
調節バーを調整して設定します。
ここでは、[20]に設定します。

[確定して閉じる]をクリックして、
メロディーのステレオ画面を閉じて、
メイン画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、
作曲 ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。



その他の機能・操作説明

ステレオの調節で各小節の音の出る方向を設定する

1小節ごと、または2小節ごとに音の出る方向を設定します。
曲全体のステレオの調整を行う方法は96ページをご覧ください。

ここでは48～68ページで作成した
「ふるさと」4小節を例に説明します。

[曲まずは、[小節ごとの設定]メニューから
ステレオの調節を行うパートを選択します。
ここでは、[メロディー]を選択します。

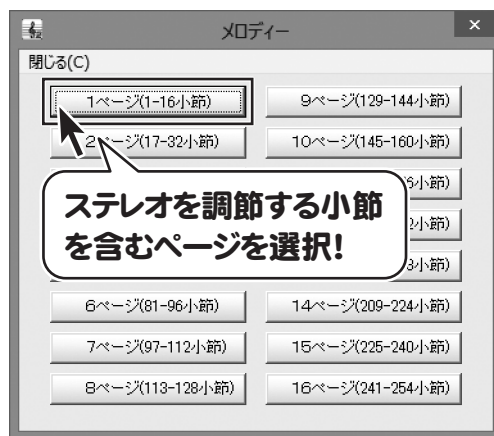
メロディー画面が表示されましたら、
ステレオの調節を行う小節のページをクリック
します。
ここでは、1小節目のステレオを調整しますので、
[1ページ]をクリックして、選択します。

メロディー1ページ画面が表示されましたら、
ステレオを調節する小節の調節バーを調整して、
ステレオの調節を行います。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、
作曲 ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。



その他の機能・操作説明

ドラムパターンを編集する

47種類の打楽器を組み合わせでドラムパターンを作ることができます。

[曲全体の設定]メニュー→[ドラム]をクリックします。

ドラムパターン画面が表示されます。

ドラムパターン画面が表示されましたら、
[ドラムパターンを編集]をクリックします。
ドラムパターンを編集画面が表示されます。

ドラムパターンは、パターン1～パターン3まで、
初期設定でサンプルのドラムパターンが設定
されています。

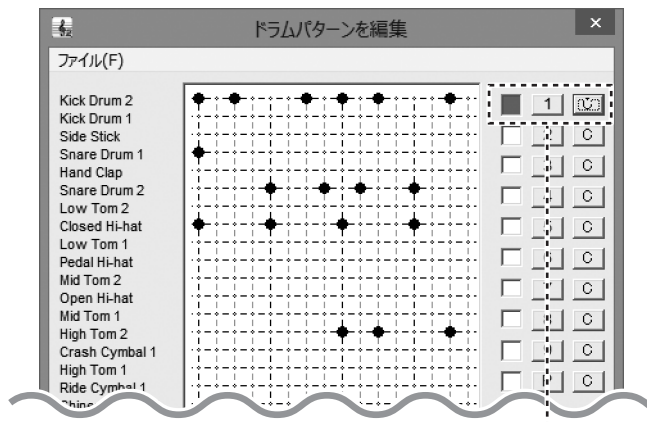
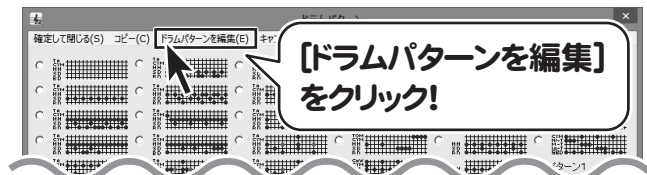
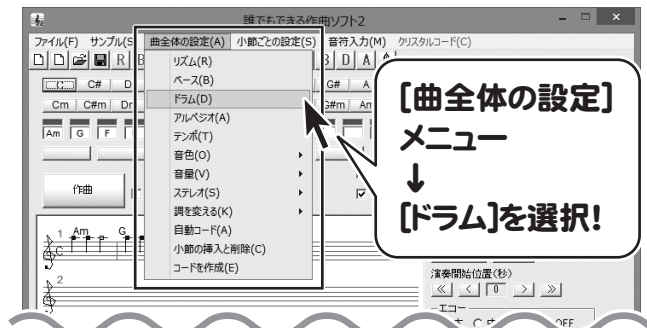
ここでは、パターン1をコピーして、
パターン4に貼り付け、コピーして貼り付けた
パターン1をアレンジして、オリジナルのドラム
パターンをパターン4に作成、保存します。

まずは、パターン1をコピーします。

1 ボタンをクリックして選択すると、
エディット表示エリアにパターン1に設定されて
いるサンプルのドラムパターンが表示されます。

パターン1のドラムパターンを選択したら、
C ボタンをクリックして選択したパターン1の
ドラムパターンをコピーします。

1 ボタンの左の枠内が赤い表示に変わり、
パターン1のドラムパターンがコピーされます。



① **1** ボタンをクリックして、パターン1を選択!

② **C** ボタンをクリックして、パターン1をコピー!



コピーされると、赤い表示になります。

その他の機能・操作説明

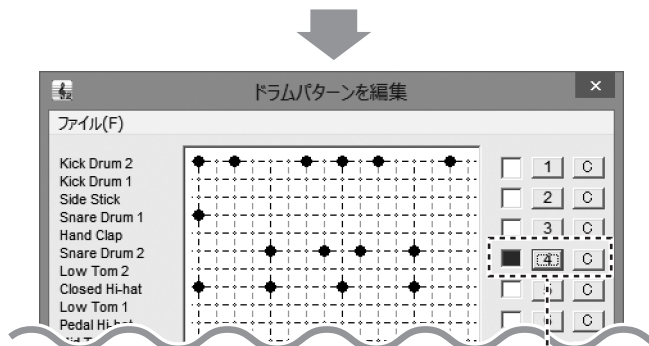
次に、
コピーしたドラムパターンをパターン4に
貼り付けます。

4 ボタンをクリックすると、左の枠内の表示
が青くなり、エディット表示エリアにパターン1の
ドラムパターンがコピーされました。

エディット編集エリアは、
縦軸が「楽器」で、横軸が「時間」を表しています。
交点をクリックすると、黒点が表示されます。
もう一度クリックすると、黒点が消えます。
黒点で音を設定します。

編集したドラムパターンを視聴したい時は、

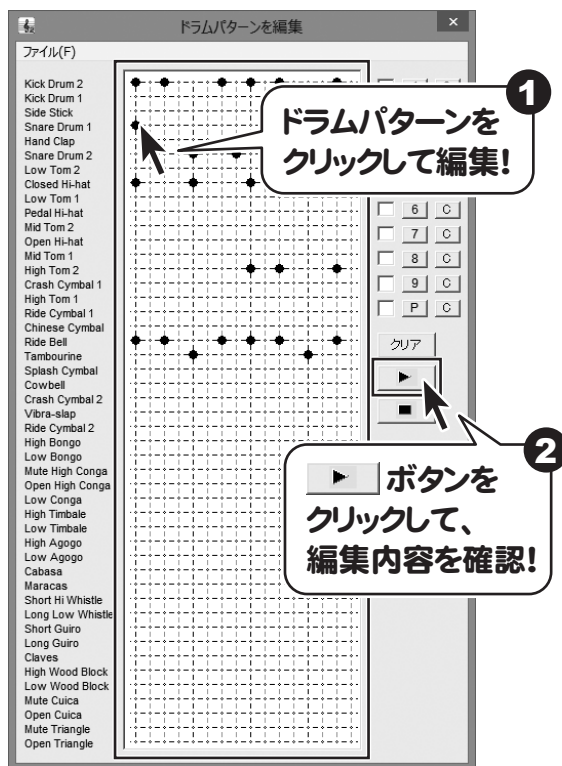
 ボタンをクリックして、
編集内容を確認します。



③ 4 ボタンをクリックして、コピーした
ドラムパターンを貼り付け!



貼り付けされると、青い表示になります。



その他の機能・操作説明

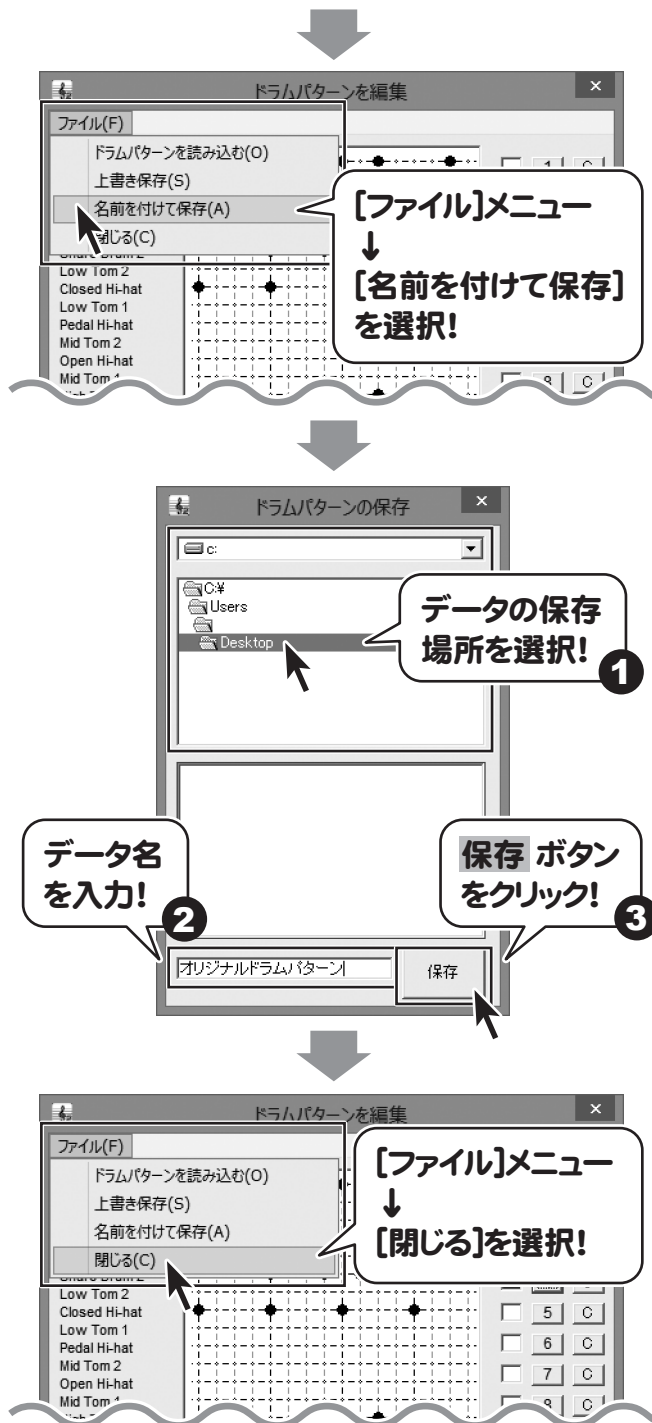
ドラムパターンを作成したら、
ドラムパターンを保存します。

[ファイル]メニュー →
[名前を付けて保存]を選択します。

ドラムパターンの保存画面が表示されますので、
データを保存する場所を選択して、
データ名を入力します。
保存の各設定が終わりましたら、
保存 ボタンをクリックしてください。

データの保存形式は「.de4」になります。

ドラムパターンの保存が終わりましたら、
[ファイル]メニュー→[閉じる]を選択して、
ドラムパターンの編集画面を閉じます。



その他の機能・操作説明

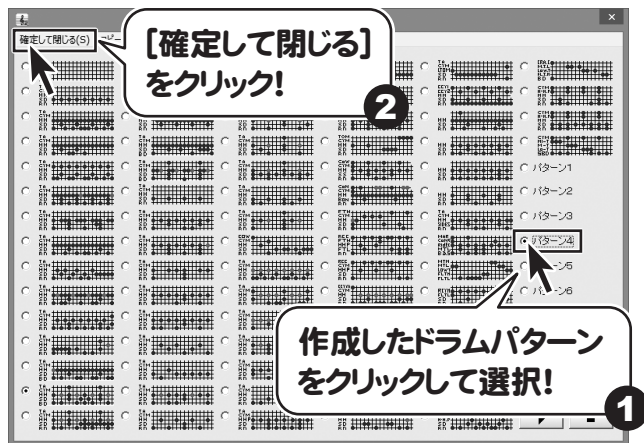
作成したドラムパターンを曲全体に設定する場合は、
作成したドラムパターンの○をクリックして
選択、[確定して閉じる]をクリックして、
画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、

作曲 ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。



その他の機能・操作説明

パワードラムを設定する

パワードラムとは、複雑なドラムパターンを自動的に作成する機能です。非常に強力なリズムを作ることができます。

[曲全体の設定]メニュー → [ドラム]をクリックします。

ドラムパターン画面が表示されます。

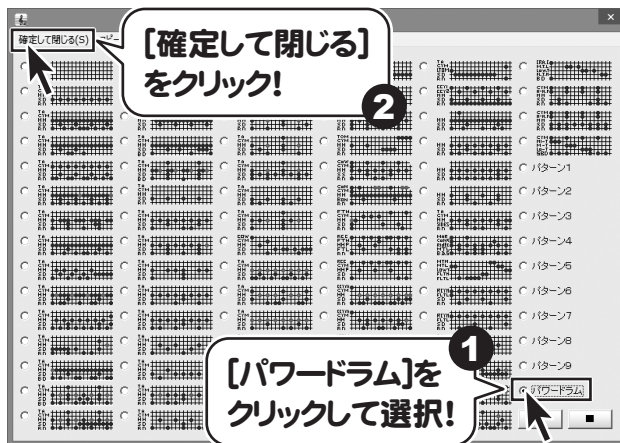
[パワードラム]の○をクリックして選択、
[確定して閉じる]をクリックして、
画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、
作曲 ボタンをクリックして、

 ボタンをクリックします。



**【曲全体の設定】
メニュー
↓
【ドラム】を選択!**



**【確定して閉じる】
をクリック!**

**【パワードラム】を
クリックして選択!**

その他の機能・操作説明

パワードラムをデータとして保存する

102ページの操作手順でパワードラムを設定して、自動作成されたパワードラムをデータとして保存することができます。新しい曲を作る場合などに、ここで保存したパワードラムのパターンデータを使用できます。

[曲全体の設定]メニュー → [ドラム]をクリックします。
ドラムパターン画面が表示されます。

ドラムパターン画面が表示されましたら、
[ドラムパターンを編集]をクリックします。
ドラムパターンを編集画面が表示されます。

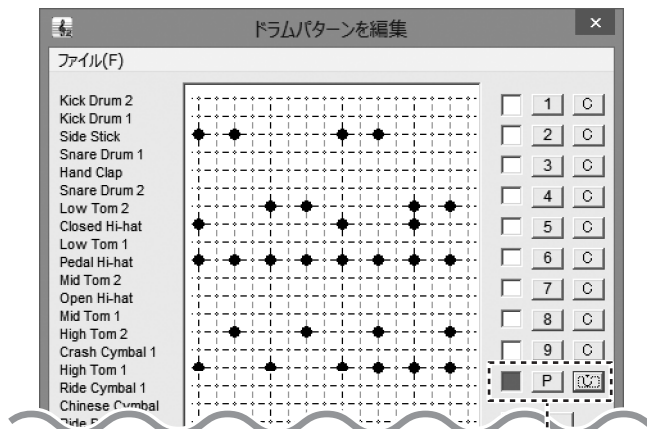
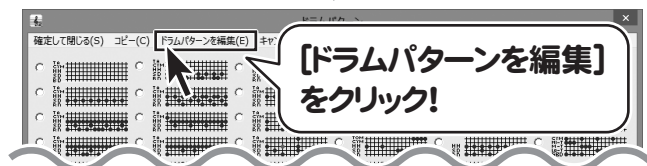
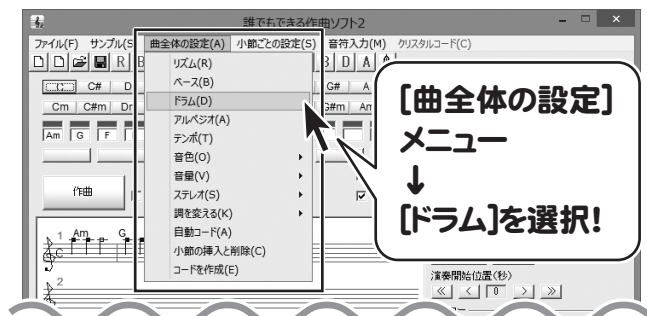
まずは、データとして保存するパワードラムパターンをコピーします。

P ボタンをクリックして選択すると、
エディット表示エリアにパワードラムパターン
に設定されているパワードラムパターンが表示
されます。

パワードラムパターンを選択しましたら、

C ボタンをクリックして選択した
パワードラムパターンをコピーします。

P ボタンの左の枠内が赤い表示に変わり、
パワードラムパターンがコピーされます。



① **P** ボタンをクリックして、パワードラムを選択!

② **C** ボタンをクリックして、パワードラムをコピー!



コピーされると、赤い表示になります。

その他の機能・操作説明

次に、
コピーしたパワードラムパターンをパターン5に
貼り付けます。

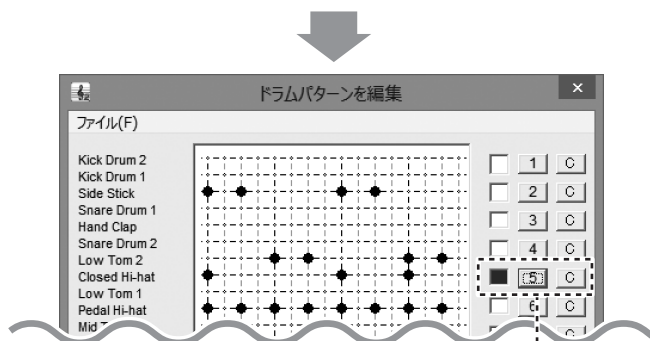
5 ボタンをクリックすると、左の枠内の表示が
青くなり、エディット表示エリアに
パワードラムパターンがコピーされました。

コピーしたパワードラムパターンを保存します。

[ファイル]メニュー →
[名前を付けて保存]を選択します。

ドラムパターンの保存画面が表示されますので、
データを保存する場所を選択して、
データ名を入力します。
保存の各設定が終わりましたら、
保存 ボタンをクリックしてください。

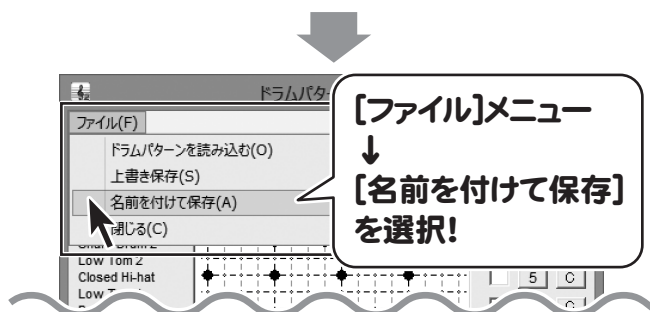
データの保存形式は「.de4」になります。



③ **5** ボタンをクリックして、コピーした
ドラムパターンを貼り付け!



貼り付けされると、青い表示になります。



その他の機能・操作説明

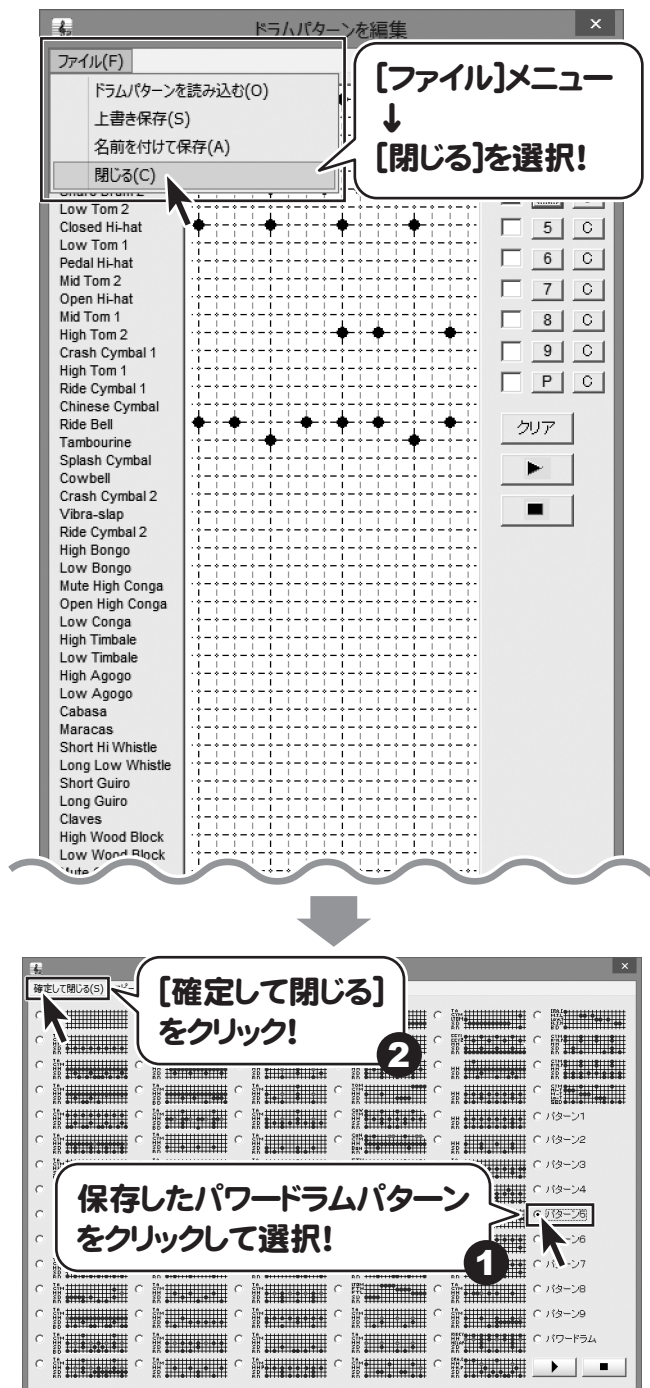
ドラムパターンの保存が終わりましたら、
[ファイル]メニュー→[閉じる]を選択して、
ドラムパターンを編集画面を閉じます。

保存したパワードラムパターンを曲全体に設定
する場合は、
作成したドラムパターンの○をクリックして
選択、[確定して閉じる]をクリックして、
画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、
作曲 ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。



その他の機能・操作説明

パワーベースを設定する

パワーベースとは、複雑なベースパターンを自動的に作成する機能で非常に強力なベースラインを作ります。

[曲全体の設定]メニュー → [ベース]をクリックします。

ベースパターン画面が表示されます。

[パワーベース]の○をクリックして選択、
[確定して閉じる]をクリックして、
画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、
作曲 ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。



その他の機能・操作説明

パワーベースをデータとして保存する

106ページの操作手順でパワーベースを設定して、自動作成されたパワーベースをデータとして保存することができます。新しい曲を作る場合などに、ここで保存したパワーベースのパターンデータを使用できます。

[曲全体の設定]メニュー → [ベース]をクリックします。

ベースパターン画面が表示されます。

ベースパターン画面が表示されましたら、
[ベースパターンを編集]をクリックします。
ベースパターンを編集画面が表示されます。

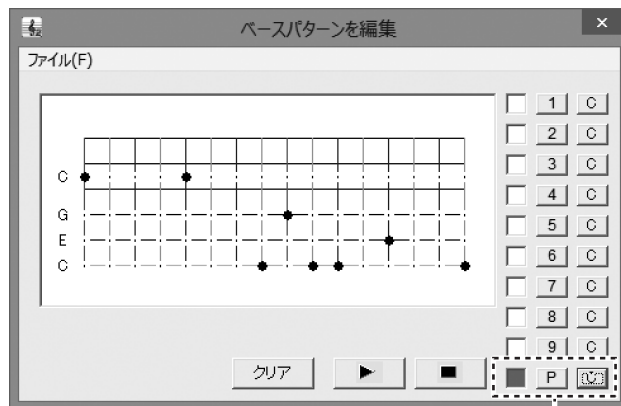
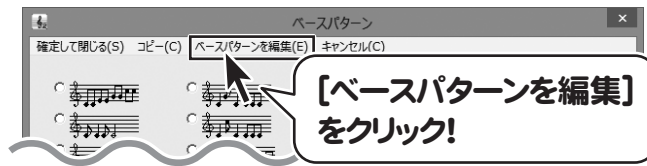
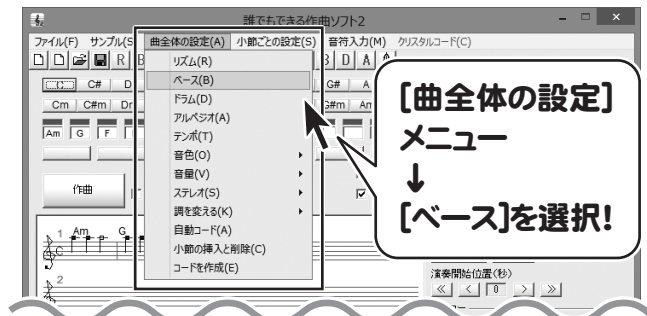
まずは、データとして保存するパワーベース
パターンをコピーします。

P ボタンをクリックして選択すると、
エディット表示エリアにパワーベースパターン
に設定されているパワーベースパターンが表示
されます。

パワーベースパターンを選択しましたら、

C ボタンをクリックして選択した
パワーベースパターンをコピーします。

P ボタンの左の枠内が赤い表示に変わり、
パワーベースパターンがコピーされます。



- ① **P** ボタンをクリックして、パワーベースを選択!
- ② **C** ボタンをクリックして、パワーベースをコピー!



コピーされると、赤い表示になります。

その他の機能・操作説明

次に、
コピーしたパワーベースパターンをパターン5に
貼り付けます。

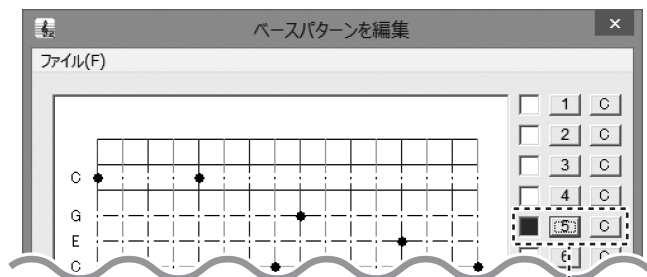
5 ボタンをクリックすると、左の枠内の表示
が青くなり、エディット表示エリアに
パワーベースパターンがコピーされました。

コピーしたパワーベースパターンを保存します。

[ファイル]メニュー →
[名前を付けて保存]を選択します。

ベースパターンの保存画面が表示されますので、
データを保存する場所を選択して、
データ名を入力します。
保存の各設定が終わりましたら、
保存 ボタンをクリックしてください。

データの保存形式は「.be4」になります。



③ **5** ボタンをクリックして、コピーした
ベースパターンを貼り付け!



貼り付けされると、青い表示になります。



その他の機能・操作説明

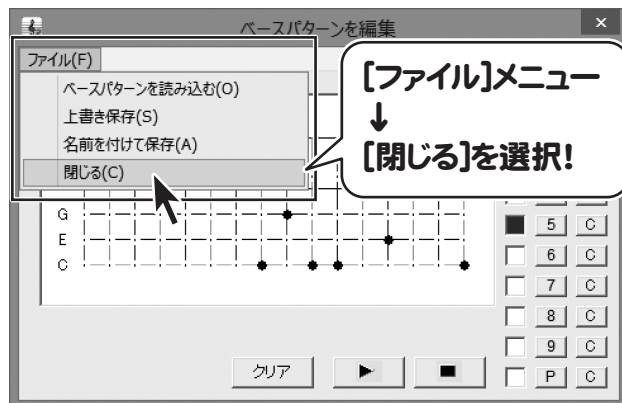
ベースパターンの保存が終わりましたら、
[ファイル]メニュー→[閉じる]を選択して、
ベースパターンを編集画面を閉じます。

保存したパワーベースパターンを曲全体に設定
する場合は、
作成したベースパターンの○をクリックして
選択、[確定して閉じる]をクリックして、
画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、
作曲 ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。



その他の機能・操作説明

歌詞を音符に1つずつ設定する

歌詞を入力する方法は、「歌詞2小節分を一度にすべて入力する方法」と「歌詞を音符に1つずつ入力する方法」の2つの方法があります。ここでは「歌詞を音符に1つずつ入力する方法」を説明します。
「歌詞2小節分を一度にすべて入力する方法」の詳細は60～63ページをご覧ください。

ここでは48～68ページで作成した「ふるさと」4小節を例に説明します。

[音符入力]メニューをクリックして、音符入力画面を表示します。

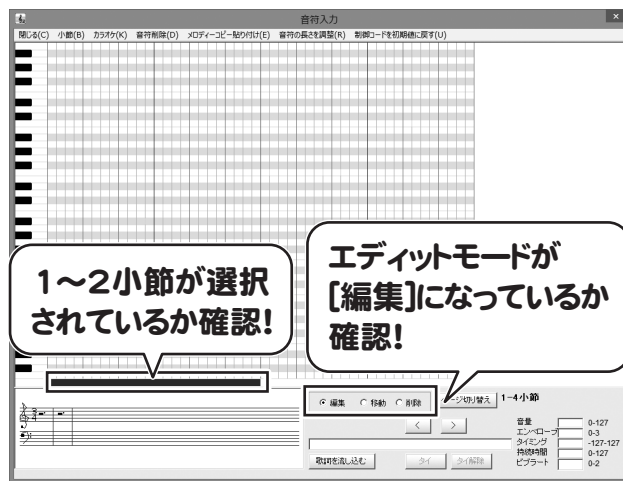
ここでは、1～2小節の歌詞を入力します。

歌詞を入力する前に、以下の点を確認します。

- 1～2小節の音符が編集できるように、
1～2小節が選択されているか
1～2小節の欄の下に青いバーが表示されて
いれば、選択されています。
- エディットモードが[編集]になっているか

次に、各音符に歌詞を入力します。

歌詞を入力したい音符をダブルクリックします。
歌詞の入力部分が水色に変わりましたら、
水色の部分をにカーソルが点滅していることを
確認して、歌詞を入力します。
入力が完了しましたら、エディット表示エリア
の音符が入力されていない部分をダブルクリック
しますと、歌詞の入力を完了します。



音符をダブルクリックして、歌詞入力部分を水色に!



音符に歌詞を入力!



音符が入力されていない部分をダブルクリック!

その他の機能・操作説明

クリスタルコードを作成する

クリスタルコードは、曲に透明感のあるダイナミックなコード(和音)をつけることができる機能です。

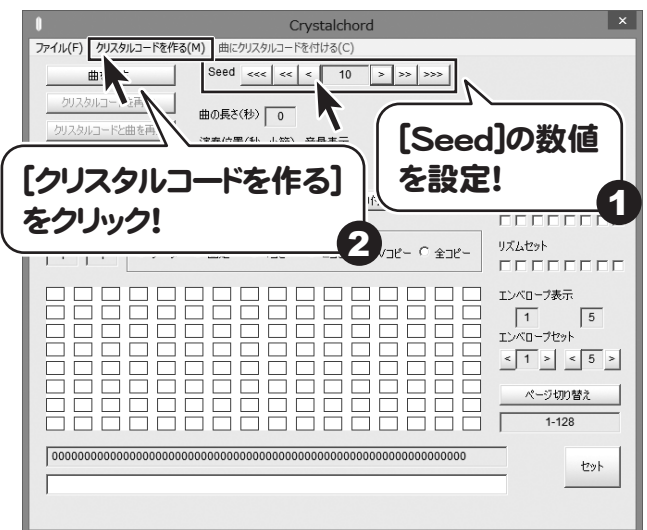
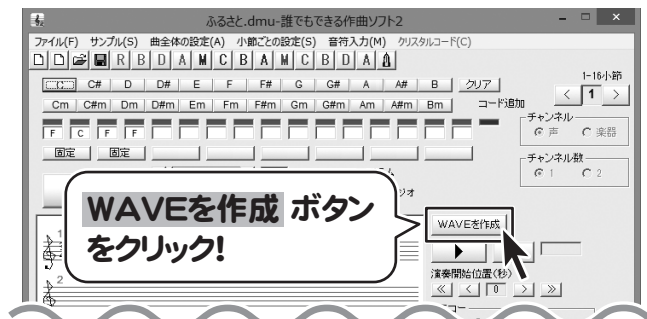
ここでは48～68ページで作成した「ふるさと」4小節を例に説明します。

作曲が終わりましたら、**WAVEを作成** ボタンをクリックしますと、WAVEファイルが作成され、クリスタルコードが使用できるようになります。

メイン画面の[クリスタルコード]メニューをクリックして、Crystalchord画面を表示します。

クリスタルコードの音色は無数あり、[Seed]の数値を変更していくことで、クリスタルコードの音色を変更することができます。音色は小節ごとにセットされ、4小節の場合は4つの音色が作成されます。

まずは、曲につけるクリスタルコードを選択します。
[Seed]の数値を設定して、(ここでは、[5]を使用します)
[クリスタルコードを作る]をクリックします。
クリスタルコードの作成が終わると、自動で作成したクリスタルコードが再生されます。



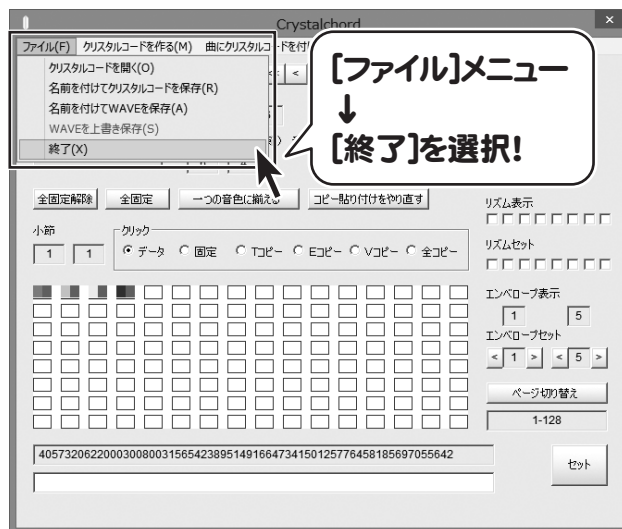
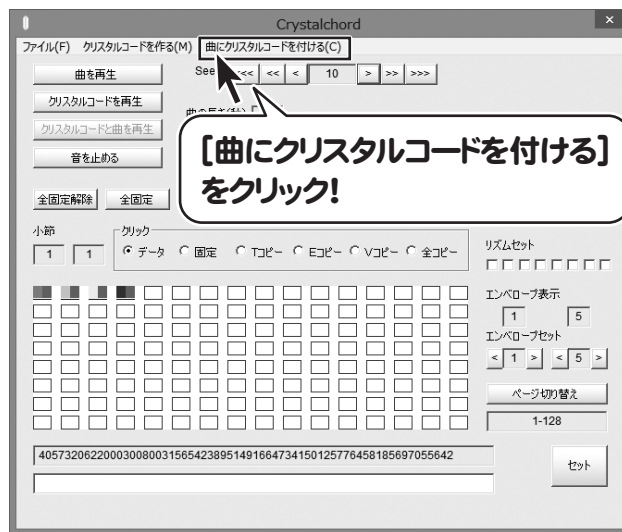
その他の機能・操作説明

クリスタルコードを作成しましたら、
曲にクリスタルコードを設定します。

[曲にクリスタルコードを付ける]をクリックしてください。

クリスタルコードが曲に設定されると、自動で作成した曲とクリスタルコードが再生されます。

クリスタルコードのすべての設定が
終わりましたら、[ファイル]メニュー→[終了]を
クリックして、Crystalchord画面を閉じて、
メイン画面に戻ります。



その他の機能・操作説明

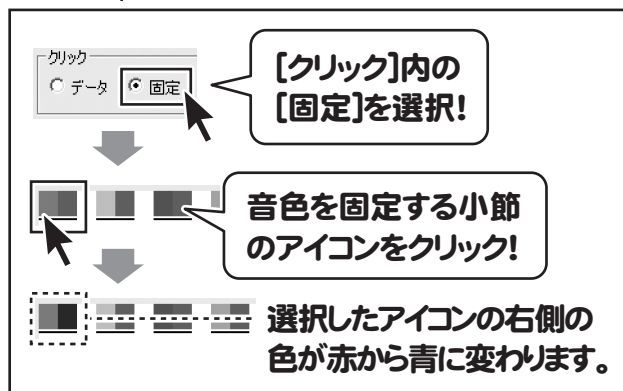
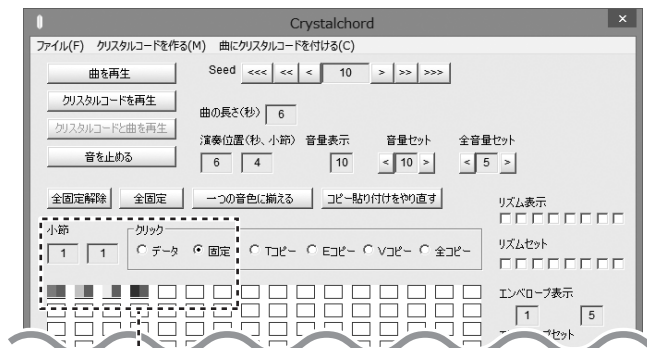
現在表示されている クリスタルコードの音色を固定する

例として、1小節目の音色を固定します。

[クリック]内の[固定]にチェックを入れて、
1小節目のアイコンをクリックします。

1小節目のアイコンの右側の色が赤から青に
変わります。
(赤色は固定されてない状態、青色は固定された
状態を表します)

1小節目を固定して、[Seed]の数値を変更、
[クリスタルコードを作る]をクリックすると、
1小節目の音色は固定されているので、変更され
ません。
2小節目以降は音色が変更されます。



その他の機能・操作説明

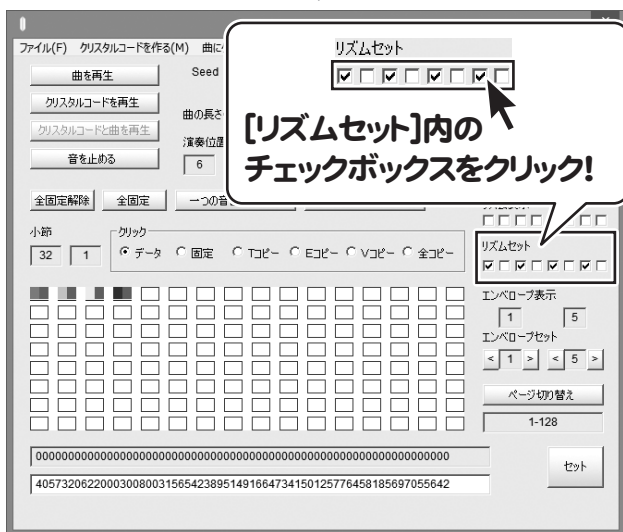
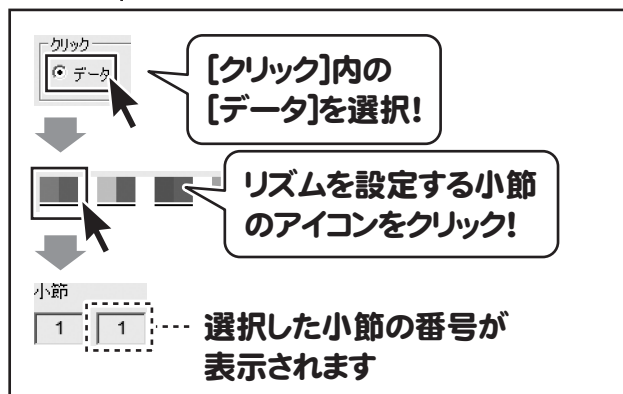
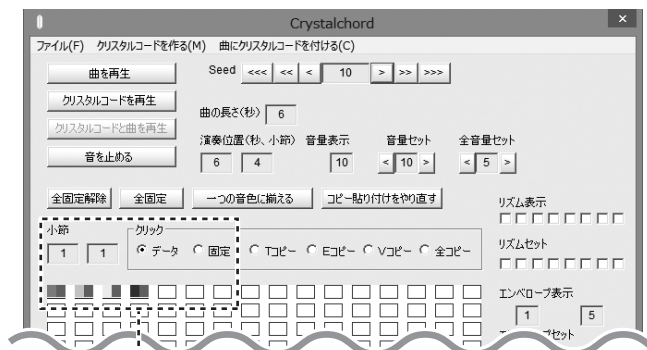
クリスタルコードのリズムを設定する

例として、1小節目のリズムを設定します。

[クリック]内の[データ]にチェックを入れて、1小節目のアイコンをクリックします。

リズムを設定するアイコンを選択したら、リズムを設定します。

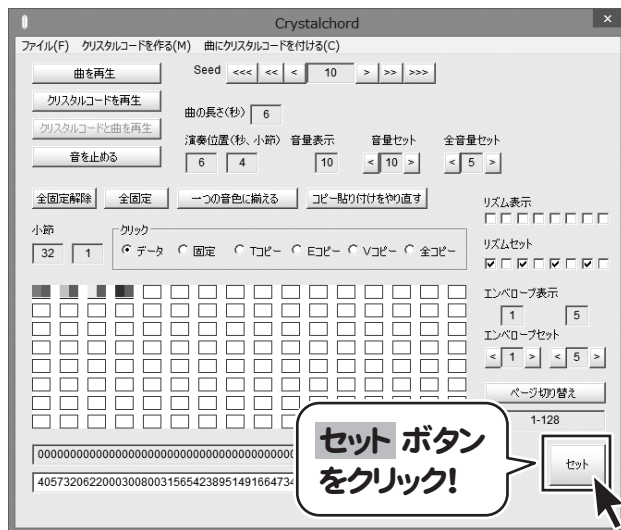
[リズムセット]内のチェックボックスをクリックして、チェックの有無でリズムを設定します。



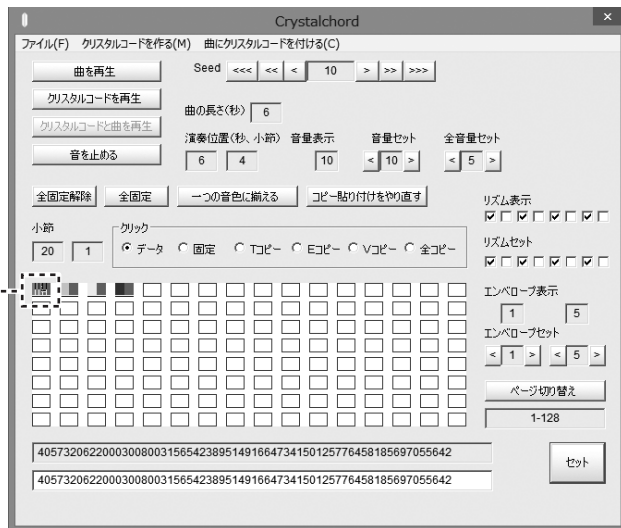
その他の機能・操作説明

リズムの設定が終わりましたら、**セット** ボタンをクリックします。

最後に[クリスタルコードを作る]をクリックしてクリスタルコードに設定を適用します。



選択した小節にリズムが設定されました



その他の機能・操作説明

クリスタルコードのエンベロープを設定する

例として、1小節目のエンベロープを設定します。

[クリック]内の[データ]にチェックを入れて、1小節目のアイコンをクリックします。

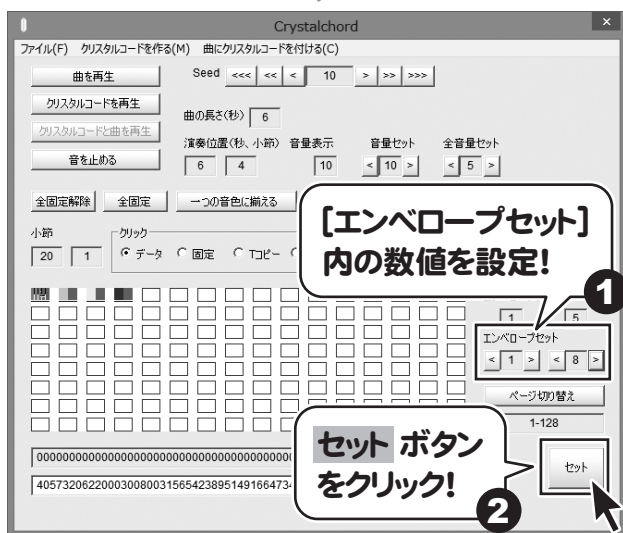
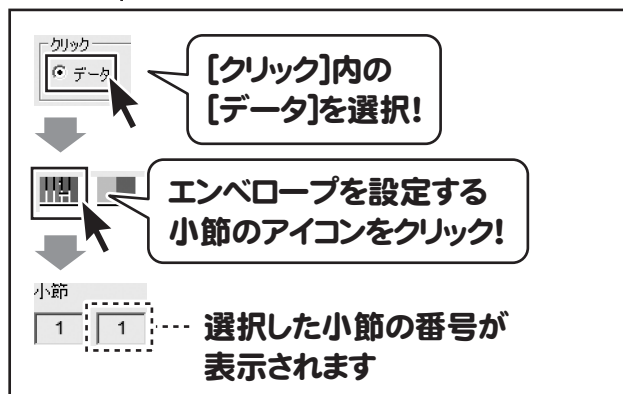
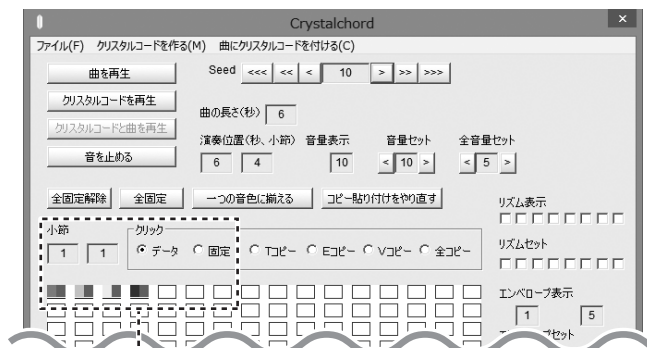
エンベロープを設定するアイコンを選択しましたら、エンベロープを設定します。

[エンベロープセット]内の数値を変更して、エンベロープを設定します。

エンベロープの設定が終わりましたら、**セット** ボタンをクリックします。

最後に[クリスタルコードを作る]をクリックしてクリスタルコードに設定を適用します。

※エンベロープは、リズムが設定されている場合に有効になります。



その他の機能・操作説明

楽器チャンネルを設定する

メロディーとして[声]とあわせて、[楽器]を設定することができます。
48～68ページで作成した「ふるさと」の[声]のメロディーの楽譜です。

♩=80

F C7 F F

う さ ぎ お い し か の や ま

これから、下図の楽譜を[楽器]のメロディーとして設定します。

F C7 F F

ここでは48～68ページで作成した
「ふるさと」4小節に[楽器]チャンネルを設定
する方法を説明します。

まず、**作曲** ボタンをクリックして、
MIDIファイルを作成します。

次に、[楽器]チャンネルを設定する画面に
切り替えます。

メイン画面で[チャンネル数]内の[2]をクリック
して選択し、[チャンネル]内の[楽器]をクリック
します。

作曲 ボタン
をクリック!

[チャンネル]内の
[楽器]を選択!

[チャンネル数]内の
[2]を選択!

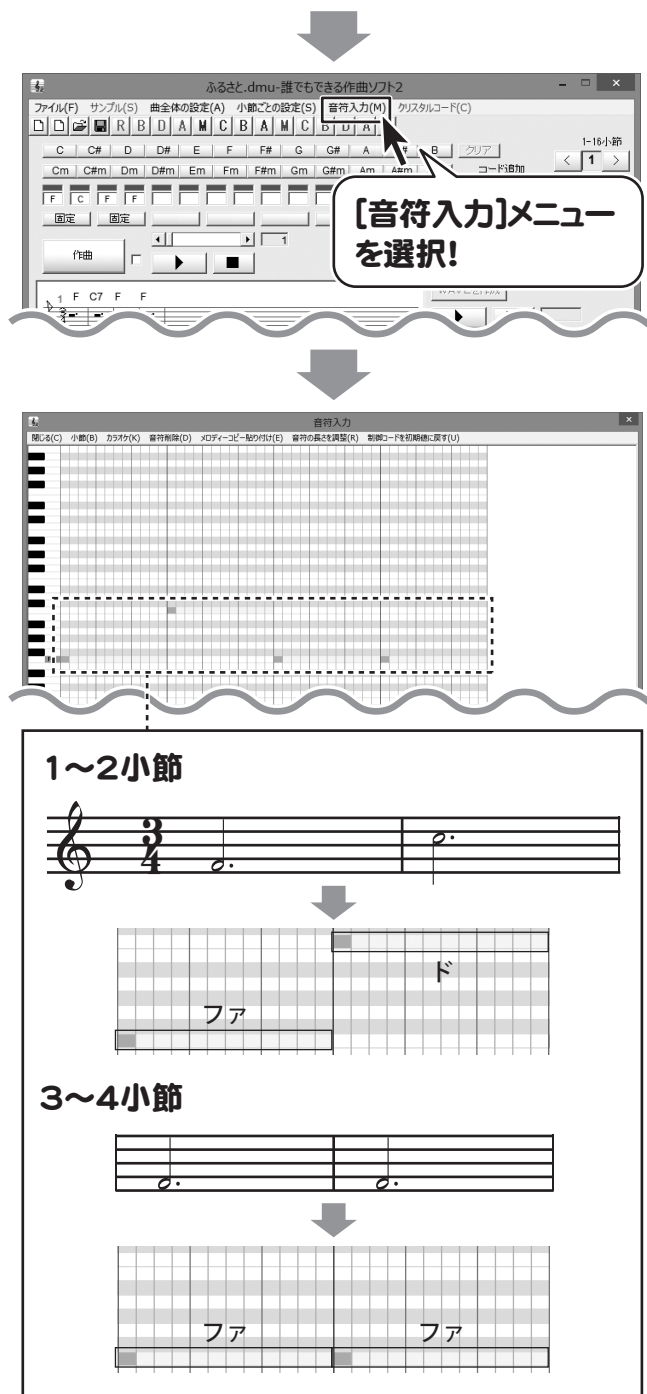
その他の機能・操作説明

[楽器]チャンネルを設定する画面に切り替わりましたら、音符画面を表示します。

[音符入力]メニューをクリックします。

音符画面が表示されましたら、
[楽器]チャンネルの音符を入力します。

52～56ページの操作手順で右図のように音符を入力します。



ふるさと.dmu-誰でもできる作曲ソフト2

ファイル(F) サンプル(S) 曲全体の設定(A) 小節ごとの設定(S) **音符入力(M)** クリスタルコード(C)

C C# D D# E F F# G G# A B クリア

Cm C#m Dm D#m Em Fm F#m Gm G#m Am A#m

コード追加

1-16小節

固定 固定

作曲

1 F C7 F F

[音符入力]メニューを選択!

音符入力

閉じる(C) 小節(B) カラオケ(K) 音符削除(D) メロディーボードをリセット(E) 音符の長さを調整(L) 初期コードを初期値に戻す(U)

1～2小節

3～4小節

ファ

ファ

ファ

ファ

上記のように音符を入力します。

その他の機能・操作説明

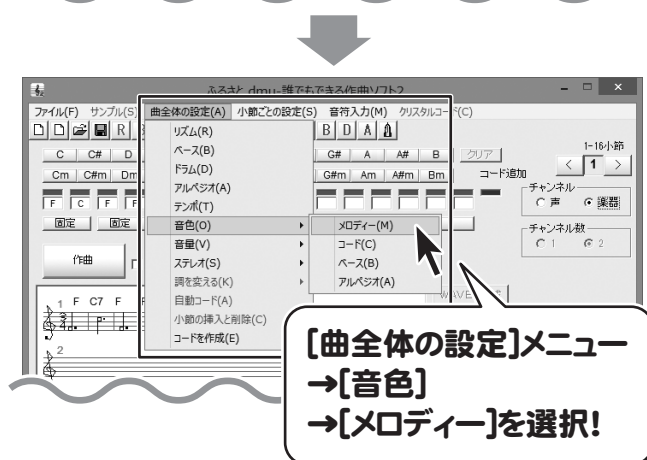
すべての音符入力が終わりましたら、
[閉じる]をクリックして、音符入力画面を閉じます。
入力した音符がメイン画面の楽譜に
反映されます。

音符入力が終わりましたら、
[楽器]チャンネルの音色を設定します。

[曲全体の設定]メニュー → [音色] → [メロディー]
をクリックします。
メロディーの音色画面が表示されます。

ここでは、[Jazz Gt.]を選択します。

変更する音色の○をクリックして選択、
[確定して閉じる]をクリックして、
画面を閉じて、メイン画面に戻ります。



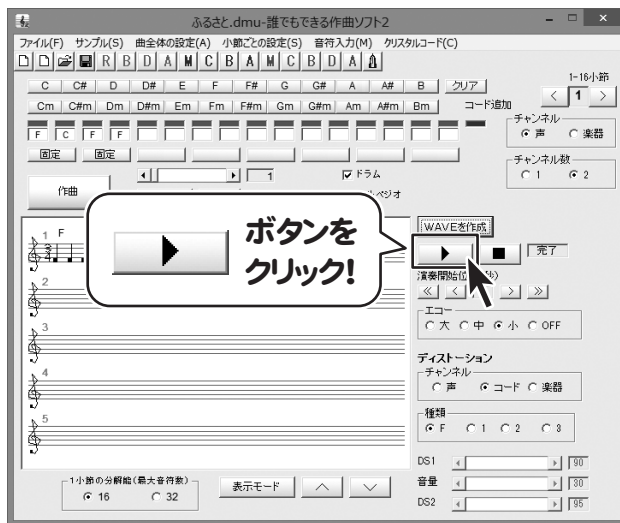
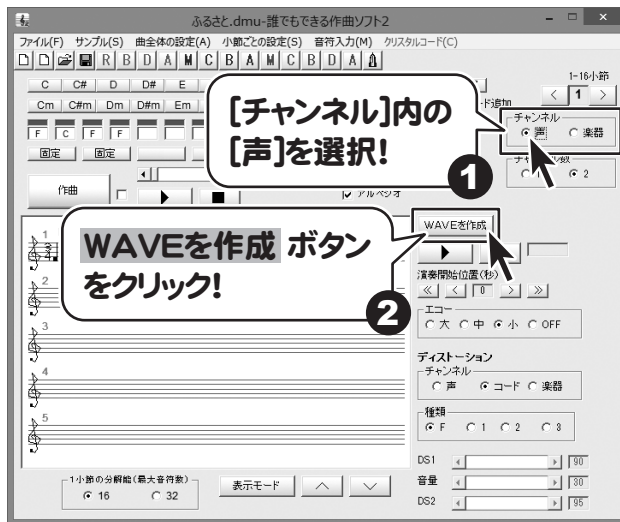
その他の機能・操作説明

メイン画面に戻りましたら、
作成した[楽器]チャンネルを適用した
WAVEファイルを作成して、曲を確認します。

[チャンネル]内の[声]を選択し、
WAVEを作成 ボタンをクリックして、
WAVEファイルが作成されましたら、



ボタンをクリックします。



その他の機能・操作説明

連続した小節の音色をまとめて変更する

連続した小節の音色を一度に変更することができます。

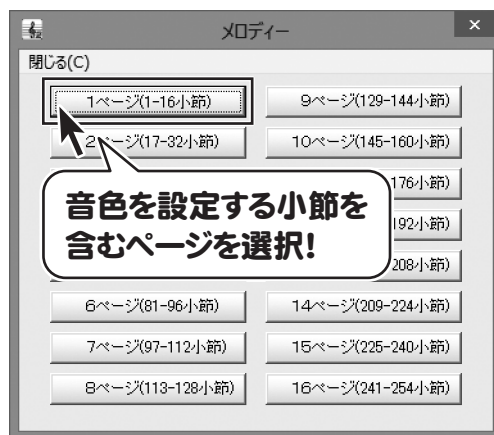
ここでは48～68ページで作成した「ふるさと」4小節を例に説明します。

まずは、[小節ごとの設定]メニューから音色を設定するパートを選択します。
ここでは、[メロディー]を選択します。

メロディー画面が表示されましたら、音色を設定する小節のページをクリックします。
ここでは、2～4小節目の音色を設定しますので、[1ページ]をクリックして、選択します。

メロディー1ページ画面が表示されましたら、音色を変更する最初の小節をクリックし、次に最後の小節をクリックします。
小節をクリックして選択すると、[音色の枠内]が水色で表示されます。
音色を変更する小節の範囲を設定できましたら、選択した小節の範囲内の[小節]ボタンをクリックします。

ここでは、2～4小節目の音色を設定しますので、[2]をクリックした後、[4]をクリックして選択後、[小節]の **2** ボタンをクリックします。



その他の機能・操作説明

メロディーの音色画面が表示されます。

初期設定では、[Piano 2]が選択されています。
ここでは、[Jazz Gt.]を選択します。

変更する音色の○をクリックして選択、
[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、
メロディー1ページ画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、
作曲 ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。



音色が設定されました



その他の機能・操作説明

コードを作成する

最初から登録されているコード以外に、コードを自由に作成して使用することができます。

[曲全体の設定]メニュー → [コードを作成]をクリックします。

コードを作成画面が表示されます。

コードは、初期設定でコード番号0～1にサンプルのコードが設定されています。

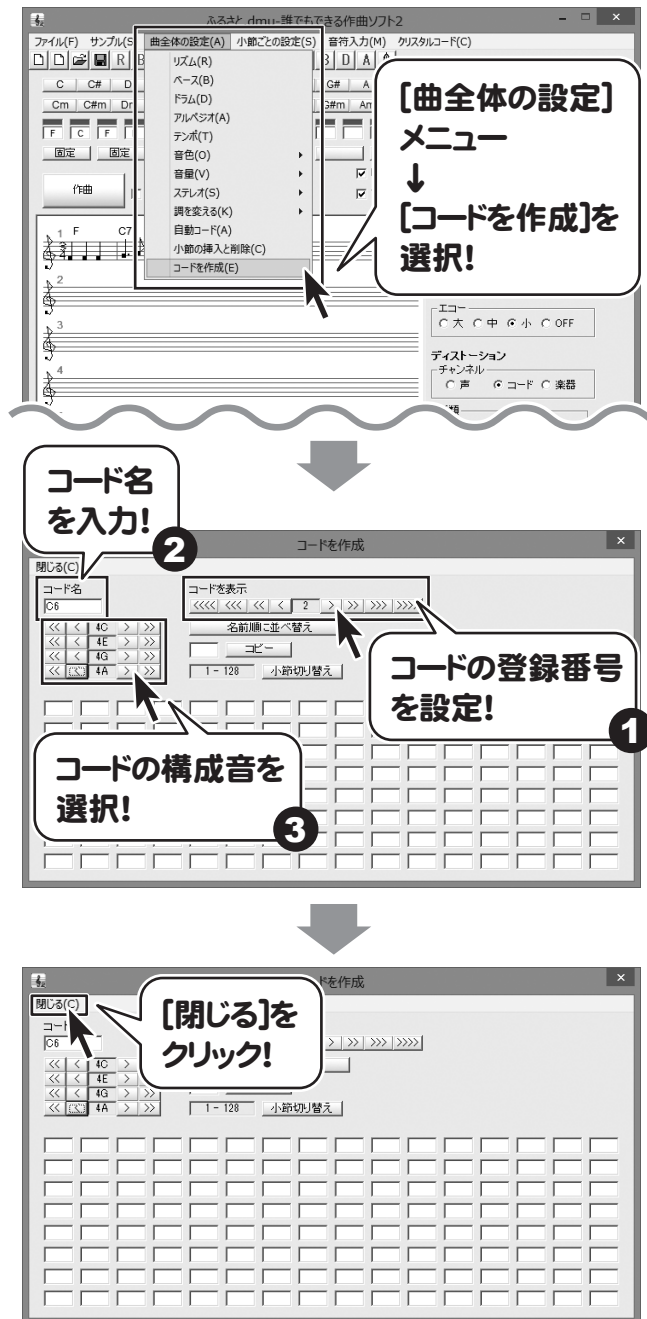
ここでは、例として、コード番号[2]にコード「C6」を作ります。

[コードを表示]内の◀ ▶ ボタンをクリックして、コードを登録する番号を選択します。
ここでは、コード番号[2]を選択します。

コード番号を選択したら、
[コード名]にコードの名前を入力します。
ここでは、コード「C6」を入力します。

コード名を入力できたら、
コードの構成音を
◀ ▶ ボタンをクリックして設定します。
ここでは、「4C、4E、4G、4A」を設定します。

コードが作成できたら、
[閉じる]をクリックすると、メイン画面に戻ります。



その他の機能・操作説明

作成したコードを楽譜に設定する

ここでは、作成したコード「C6」を1小節目に設定する方法を説明します。

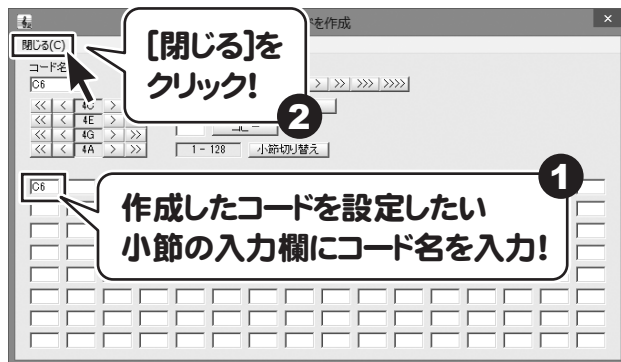
図のように、1小節の入力欄に「C6」を入力します。

入力欄にマウスカースルをあわせると、マウスカースルの位置にある入力欄の小節番号が表示されます。

入力したコードは、メイン画面で設定したコードと置き換わります。

入力欄内のコード名を削除すると、メイン画面で設定したコードで演奏されます。

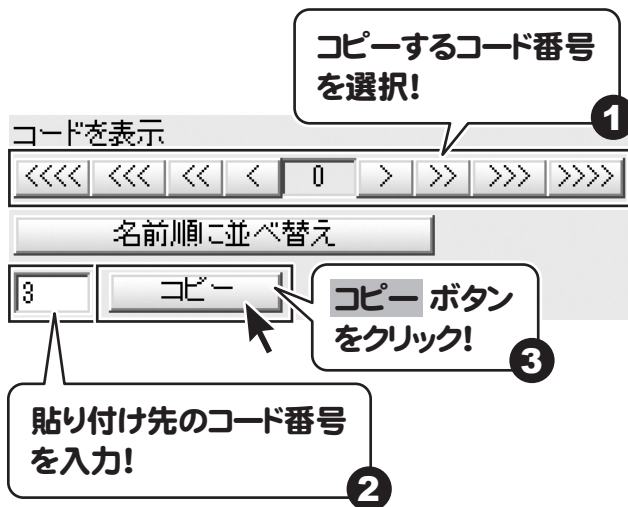
設定が終わりましたら、
[閉じる]をクリックしますと、メイン画面に戻ります。



作成したコードをコピーする

作成したコードをコピーして、別のコード番号に貼り付けすることができます。

[コードを表示]欄で ◀ ▶ ボタンをクリックして、コピーするコード番号を選択したら、貼り付け先の番号を入力欄に入力して、コピー ボタンをクリックしますと、表示されているコード番号のコードがコピーされ、入力したコード番号に貼り付けされます。



その他の機能・操作説明

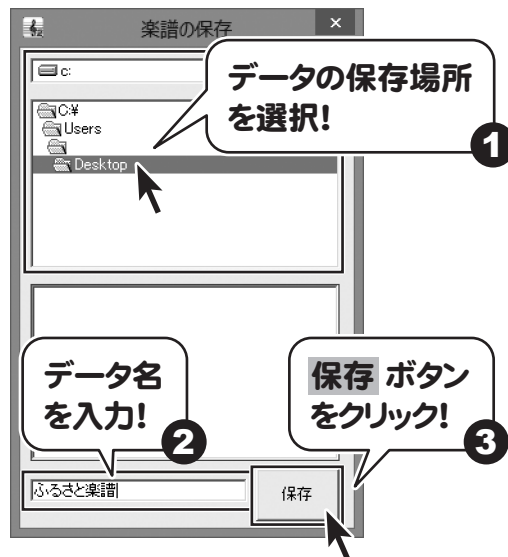
楽譜を画像として保存する

ここでは48～68ページで作成した
「ふるさと」4小節を例に説明します。

[ファイル]メニュー →
[楽譜を画像として保存]を選択します。

楽譜の保存画面が表示されますので、
データを保存する場所を選択して、
データ名を入力します。
保存の各設定が終わりましたら、
保存 ボタンをクリックしてください。

データの保存形式は「.bmp」になります。

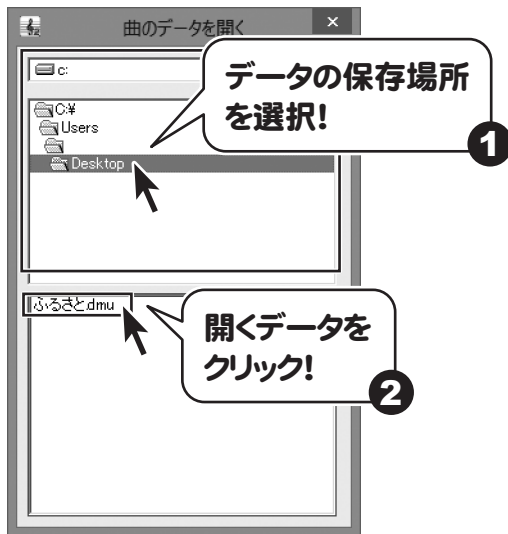
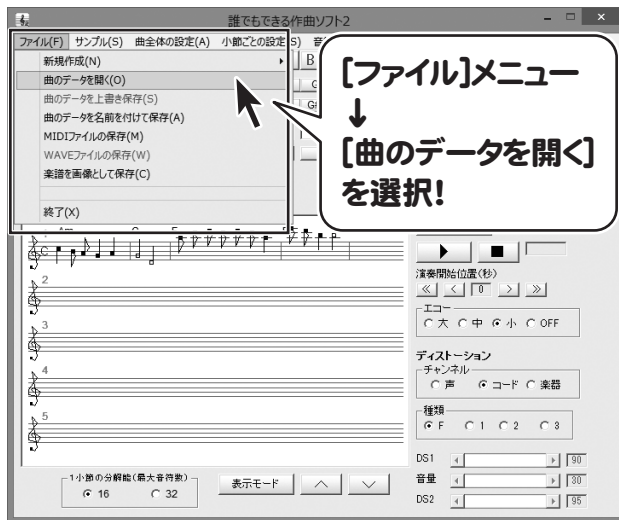


その他の機能・操作説明

作成、保存した曲のデータを開く

[ファイル]メニュー →
[曲のデータを開く]を選択します。

曲のデータを開く画面が表示されますので、
データが保存されている場所を選択して、
開くデータをクリックしますと、
メイン画面に曲のデータが表示されます。



その他の機能・操作説明

三連符を作成する

音符の長さを調整画面の機能を使って、音符の長さを少しだけ短く、または長くすることで、三連符を作ることができます。

下記のように1小節分の音符を入力して、三連符を作成します。



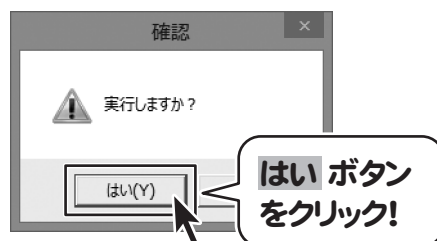
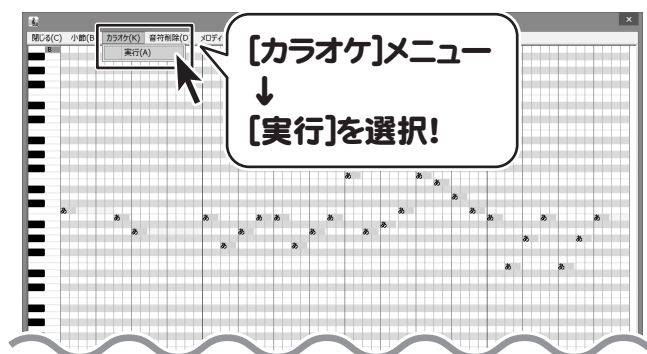
まずは、音符入力画面を表示します。

[音符入力]メニューをクリックします。

音符入力画面が表示されましたら、楽譜に入力された自動で作曲したサンプルの音符をすべて削除します。

[カラオケ]メニューから[実行]をクリックします。確認画面が表示されますので、内容を確認してはい ボタンをクリックします。

入力されていた音符がすべて削除されます。



その他の機能・操作説明

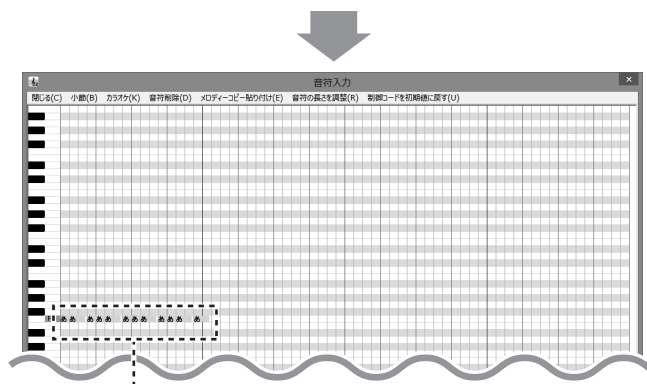
音符画面に入力されていた音符がすべて削除されましたら、三連符を作成する音符を入力します。

52～56ページの操作手順で右図のように音符を入力します。

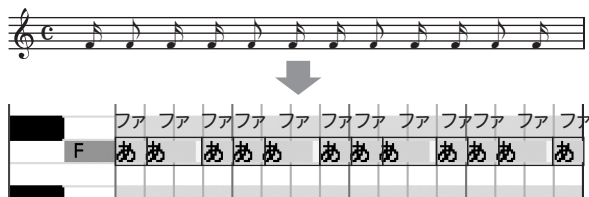
すべての音符入力が終わりましたら、音符入力画面の[音符の長さを調整]をクリックして、音符の長さを調整画面を表示します。

音符の長さを調整画面で音符1つ1つの長さ（音符の音の再生位置）を微妙に調整することで、三連符を作成することができます。

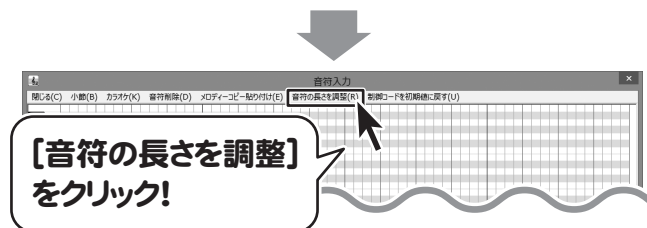
ここでは右図のように、最初の8分音符を右に長くして、（音符の再生が少し遅くなります）次の16分音符を左に長く設定することで、（音符の再生が少し速くなります）並んだ3つの音符で三連符を作成します。その操作を繰り返して、三連符を連続して作成していきます。



1小節



上記のように音符を入力します。

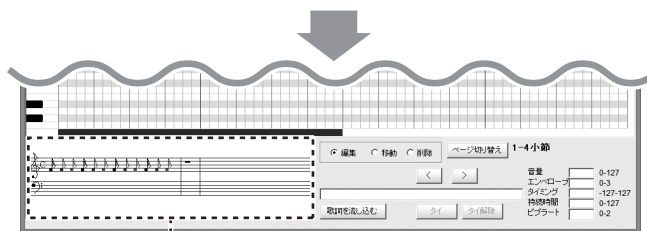
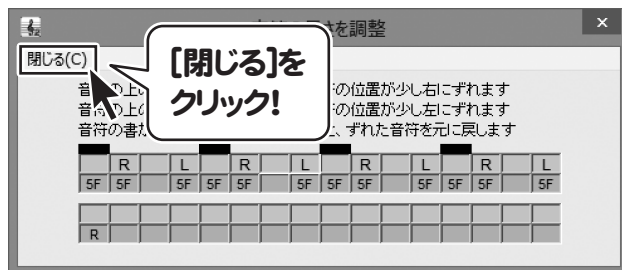


上記のように、隣り合った8分音符と16分音符を近付ける感じで、音符の長さを調整します！

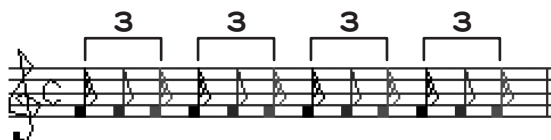
その他の機能・操作説明

すべての音符の長さの調整が終わりましたら、
[閉じる]をクリックして、音符の長さを調整画面
を閉じます。
設定した音符の長さが音符入力画面の五線譜
に反映されます。

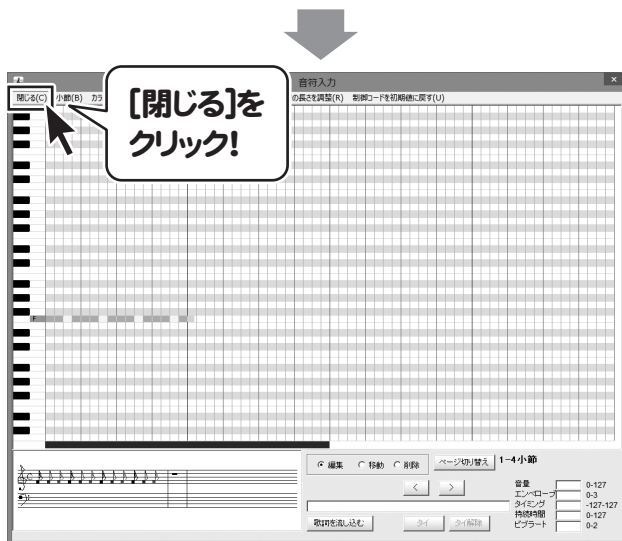
すべての設定が終わりましたら、
[閉じる]をクリックして、音符入力画面を
閉じます。
入力した音符がメイン画面の楽譜に
反映されます。



設定した音符の長さが適用されました!



左に調整した音符は紫、
右に調整した音符は緑で表示されます。



よくあるお問い合わせ

インストール・起動について

Q: インストールができない

A: 以下の項目をご確認ください。

- ウイルス対策などのソフトが起動していないか。
- HDD(ハードディスク)の空き容量は十分にあるか。
- 管理者権限でログインしているか。
- Windowsを最新の状態にアップデートしてあるか。

Q: 管理者権限を持っていないユーザーアカウントでパソコンを起動し、インストールしようとする

「続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[はい]をクリックしてください。」「(8)

「続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[OK]をクリックしてください。」「(Vista)」「(7)

「インストールプログラムにはディレクトリ ~ にアクセスする権限がありません。インストールを継続できません。

管理者としてログインするか、またはシステム管理者にお問い合わせください。」「(XP)と表示されてインストールができません

A: 本ソフトをご利用の際には管理者権限を持ったユーザーアカウント上でご利用ください。

Q: ソフトの起動ができません

A: 以下の項目をご確認ください。

- インストールは完了しているか。
- 管理者権限でログインしているか。
- 外付けの機器(ハードディスクやUSBメモリ等)にソフトをインストールしている場合、それらの機器がパソコンに接続され、パソコン上で認識されているか。

Q: 完全アンインストールの方法を教えてください

A: OS毎に異なりますので以下の内容をご確認ください。

Windows XPの場合

1. 「アンインストール方法(5ページ)」より、アンインストール作業を行います。
2. マイコンピュータ→CDドライブ→Documents and Settings→All Users→Application Data(※)→IRT→dare_music2フォルダーを削除します。

Windows Vista、7、8の場合

1. 「アンインストール方法(5ページ)」より、アンインストール作業を行います。
2. コンピューター (Windows Vistaは[コンピュータ]) → CDドライブ → ProgramData(※) → IRT → dare_music2フォルダーを削除します。

※初期設定では隠しフォルダーになっている為、表示されていない場合があります。

隠しフォルダーの表示方法

[Windows 8の場合]

設定→コントロールパネル→[デスクトップのカスタマイズ]→[フォルダオプション]→[表示]タブ→

詳細設定:[隠しファイル、隠しフォルダー、および隠しドライブを表示する]を選択→[適用]→[OK]をクリック

[Windows 7の場合]

コントロールパネル→[フォルダオプション]→[表示]タブ→詳細設定: ファイルとフォルダーの表示

[隠しファイル、隠しフォルダー、および隠しドライブを表示する]を選択→ [適用]→[OK]をクリック

[Windows Vistaの場合]

コントロールパネル→[フォルダオプション]→[表示]タブ→ 詳細設定: ファイルとフォルダの表示

[全てのファイルとフォルダを表示する]を選択→[適用]→[OK]をクリック

[Windows XPの場合]

コントロールパネル→[フォルダオプション]→[表示]タブ→ 詳細設定: ファイルとフォルダの表示

[全てのファイルとフォルダを表示する]を選択→[適用]→[OK]をクリック

操作について

Q: 数字や文字が入力できません 入力しているのに登録されない

A: 次の内容をご確認ください。

- ・入力する欄でカーソルが点滅しているか(例: 名前を入力する場合は、名前欄の枠の中でカーソルが点滅)
- ・キーボードの設定(NumLockキーのオン/オフ等)
- ・入力した文字が確定された状態であるか(文字を入力したら、ENTERキーを押して確定してください)
- ・日付や数字を入力する際、半角で入力しているか
- ・漢字やひらがなを入力する際、全角で入力しているか

よくあるお問い合わせ

Q:小節はいつまで作成できますか

A:254小節まで作成できます。

Q:歌詞にアルファベットを入れたい

A:歌詞はひらがなのみになります。

Q:保存できる形式は?

A:MIDI / WAVEです。楽譜はBMPで保存できます。

Q:小節ごとにコード数が異なるコード作成はできますか

A:小節ごとにコード数が異なるコード作成を行うことはできません。

Q:コードを作成したい

A:「曲全体の設定」の「コードを作成」で作成できます。作成できるコードの数は1,000個です。

詳細については取扱説明書123～124ページをご覧ください。

Q:「作曲」ボタンを押しても自動作曲ができない

A:コードが固定になっている場合に、自動でメロディーが表示されません。固定を外して「作曲」ボタンを押してください。

Q:曲のデータを名前を付けて保存ができない

A:「作曲」ボタンを押してから保存してください。

その他

Q:CDやDVDに保存をするにはどうすればいいの?

A:本ソフトはCD、DVD等へ直接保存する機能はありません。

CD、DVDに保存する際には対応OSで動作するライティングソフトが必要です。

Q:複数のユーザーで使用できますか?

A:本ソフトは、『1ソフト・1PC』でご利用いただくソフトです。1つのパソコン内に二重インストール等を行うことはできません。

Q:他のパソコンとの共有はできますか?

A:本ソフトは、インストールを行ったパソコン上で操作していただく仕様です。

ネットワーク等でご利用いただくことはできません。

Q:入力した文字が文字化けしてしまいます

A:ご利用パソコンの言語設定をご確認ください。また併せて日付の設定もご確認ください。

Q:画面の一部が切れた状態で表示される

A:画面解像度を推奨サイズ以上に変更してください。

Windows XPの場合

1. デスクトップ画面の何も無い所を右クリックします。
2. 「プロパティ」をクリックし、設定タブをクリックします。
3. 画面の解像度のバーを動かし、1280×1024以上に設定します。
4. 「OK」をクリックすれば設定完了です。

Windows Vistaの場合

1. デスクトップ画面の何も無い所を右クリックします。
2. 「個人設定」をクリックし、画面の設定をクリックします。
3. 解像度を1280×1024以上に設定し「OK」をクリックで設定完了です。

Windows 7の場合

1. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「デスクトップのカスタマイズ」をクリックし、「画面の解像度の調整」をクリックします。
3. 解像度を1280×1024以上に設定し「OK」をクリックで設定完了です。

Windows 8の場合

1. デスクトップの何も無い所で右クリック→画面の解像度をクリックします。
2. 解像度を1280×1024以上に設定し「OK」をクリックで設定完了です。

※機種によっては推奨解像度が表示できないものもあります。

よくあるお問い合わせ

Q:ボタンをクリックしても反応しない、また画面が正常に表示されていない

A:お使いのパソコンのDPI設定が標準以外(96以外)に変更されている可能性があります。

以下の手順にてDPI設定を変更してください。

Windows XPの場合

1. デスクトップ画面の何も無い所を右クリックします。
2. 「プロパティ」を左クリックし、「設定」タブをクリックします。
3. 「詳細設定」をクリックし、「全般」タブの「DPI設定」を「96DPI」に設定します。
4. 「OK」をクリックし、パソコンを再起動すれば設定完了です。

Windows Vistaの場合

1. デスクトップ画面の何も無い所を右クリックします。
2. 「個人設定」を左クリックし、「フォントサイズ(DPI)の調整」をクリックします。
3. 「あなたの許可が必要です」と許可を求められますので「続行」をクリックします。
4. 「規定のスケール(96DPI)」にチェックを付け、「OK」をクリックします。
5. パソコンが自動的に再起動されますので、再起動したら設定完了です。

Windows 7の場合

1. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「デスクトップのカスタマイズ」をクリックし、「テキストやその他の項目の大きさを変更します」をクリックします。
3. 小-100%(規定)にチェックを入れ「適用」をクリックします。
4. 「これらの変更を適用するには、コンピューターからログオフする必要があります。」と確認を求められますので、「今すぐログオフ」をクリックします。
5. パソコンからログオフされますので、再度ログインすると設定完了です。

Windows 8の場合

1. マウスポインタを右下の角に移動し、「設定」をクリックします。
2. 右側に設定画面が表示されましたら「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「デスクトップのカスタマイズ」をクリックし、「テキストやその他の項目の大きさを変更します」をクリックします。
4. 小-100%(規定)にチェックを入れ「適用」をクリックします。
5. 「これらの変更を適用するには、コンピューターからサインアウトする必要があります。」と確認を求められますので、「今すぐサインアウト」をクリックします。
6. パソコンからサインアウトされますので、再度サインインすると設定完了です。

よくあるお問い合わせ

Q:「2013 ****」は日付ではありません…というエラーメッセージが表示される

A:Windowsの日付形式の設定が標準のもの以外になっているとアプリケーションソフトが正常に動作(表示等)がされない場合があります。以下の手順で設定をご確認の上、標準の設定にて本ソフトをご使用ください。

【Windows XPの場合】

1. 本ソフトを含め、起動している全てのソフトを終了させます。
2. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「日付・時刻・地域と言語のオプション」→「地域と言語のオプション」をクリックします。
4. 「地域オプション」タブを選択して、「日本語」に設定されていることを確認後、「カスタマイズ」をクリックします。
5. 「日付」タブをクリックして、表示されている設定項目を以下の通りに変更します。
「カレンダーの種類」 西暦(日本語)
「短い形式」 短い形式(S) yyyy/MM/dd
区切り記号 /
「長い形式」 長い形式(L) yyyy'年'M'月'd'日'
6. 「適用」→「OK」の順にクリックし、パソコンを再起動させます。

【Windows Vistaの場合】

1. 本ソフトを含め、起動している全てのソフトを終了させます。
2. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「時計・言語・および地域」→「地域と言語のオプション」をクリックします。
4. 「形式」を選択して、「日本語」に設定されていることを確認後、「この形式のカスタマイズ」をクリックします。
5. 「日付」をクリックして、表示されている設定項目を以下の通りに変更します。
「データ形式」 短い形式(S) yyyy/MM/dd
長い形式(L) yyyy'年'M'月'd'日'
- 「カレンダーの種類」 西暦(日本語)
6. 「適用」→「OK」の順にクリックし、パソコンを再起動させます。

【Windows 7の場合】

1. 本ソフトを含め、起動している全てのソフトを終了させます。
2. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「時計・言語・および地域」→「地域と言語」をクリックします。
4. 「形式」タブを選択して、「Japanese(Japan)」に設定されていることを確認後、「追加の設定」をクリックします。
5. 「日付」タブをクリックして、表示されている設定項目を以下の通りに変更します。
「データ形式」 短い形式(S) yyyy/MM/dd
長い形式(L) yyyy'年'M'月'd'日'
- 「カレンダーの種類」 西暦(日本語)
6. 「適用」→「OK」の順にクリックし、パソコンを再起動させます。

【Windows 8の場合】

1. 本ソフトを含め、起動している全てのソフトを終了させます。
2. マウスポインタを右下の角に移動し、設定ボタンをクリックします。
3. 右側に設定画面が表示されましたら「コントロールパネル」をクリックします。
4. 「時計、言語および地域」→「地域」をクリックします。
5. 言語が「日本語」に設定されていることを確認後、「形式」タブを選択して「追加の設定」をクリックします。
6. 「日付」タブをクリックして、表示されている設定項目を以下の通りに変更します。
「データ形式」 短い形式(S) yyyy/MM/dd
長い形式(L) yyyy'年'M'月'd'日'
- 「カレンダー」 西暦(日本語)
7. 「適用」→「OK」の順にクリックし、パソコンを再起動させます。

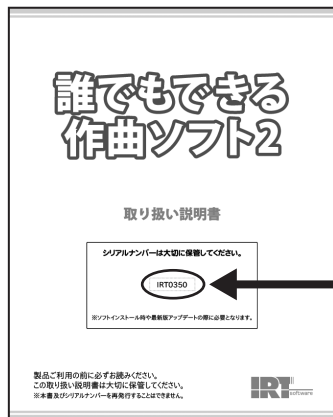
Windows OSやパソコン本体・プリンターなどの周辺機器に関する詳細は、各メーカー様へお問い合わせください。
弊社では一切の責任を負いかねます。

お問い合わせ窓口

本ソフトに関する、ご質問・ご不明な点などございましたら、パソコンの状況など具体例を参考に出来るだけ詳しく書いていただき、メール・電話・FAX等でユーザーサポートまでご連絡ください。

○ソフトのタイトル・バージョン
例:「誰でもできる作曲ソフト2」

○ソフトのシリアルナンバー
本書の表紙に貼付されています。



**シリアルナンバーシール
貼付場所**

○ソフトをお使いになられているパソコンの環境

・OS及びバージョン

例:Windows 8

Windows Updateでの最終更新日〇〇年〇月〇日

・ブラウザのバージョン

例:Internet Explorer 10

・パソコンの仕様

例:SONY XXXX-XXX-XX

Pentium III 1GHz HDD 500GB Memory 2GB

・プリンターなど接続機器の詳細

例:プリンター EPSONのXXXX(型番)を直接ケーブルで接続している
インクジェットプリンター、ドライバーソフトは更新済み

○お問合せ内容

例:~の操作を行ったら、~というメッセージがでてソフトが動かなくなった
□□□部分の操作について教えてほしい…etc

○お名前

○ご連絡先など

※メールの場合、お客様のメールサーバーのドメイン拒否設定により、弊社からのメールが受信されない場合がありますので、その際は設定をご確認ください。

お問い合わせ窓口



ご質問・ご不明な点がございましたら、サポート専用番号へご連絡ください。コンピューターのスペックや周辺機器などの状況を詳しくお調べの上、お伝えください。

メールでのお問い合わせ

E-mail info@irtnet.jp

サポート時間：10:00～17:30（土・日、祭日を除く）

※通信料はお客様負担となります。

お電話・FAXでのお問い合わせ

TEL 048-640-2582

FAX 03-6701-7474

サポート時間：10:00～17:30（土・日、祭日を除く）

※通信料はお客様負担となります。

IRTホームページ

URL <http://irtnet.jp/>

ホームページでは、**ソフトウェアの最新情報、アップデート情報**をお知らせしております。最新版のソフトウェアをダウンロードしてお使いいただけます。

■ご注意

お客様よりいただいたお問合せに返信できない現象が多発しております。

FAX及びe-mailでのお問合せの際には、ご連絡先を正確に明記の上、サポートまでお送りくださいますようお願い申し上げます。

また、お問い合わせいただく前に、プリンター等の設定などを今一度ご確認ください。

時間帯等によっては、混雑等により一時的に電話が繋がりにくい場合があります。

その際はお手数ですが、時間をずらしておかけ直してください。



株式会社アイアールティー